NTT docomo

AQUOS R7

SH-52C

取扱説明書

はじめに

「SH-52C」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■ クイックスタートガイド（本体付属品）

各部の名称と機能やご利用にあたっての注意事項などについて説明しています。

■ 取扱説明書アプリ（eトリセツ）（本端末のアプリ）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。



ご利用方法

ホーム画面で[⋮⋮]▶[取扱説明書]

- はじめてご利用になる場合は、画面の指示に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。
- 「my daiz」から取扱説明書アプリ（eトリセツ）を呼び出すこともできます。

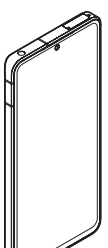


■ 取扱説明書（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

- 本書においては、「SH-52C」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。
  詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- お客様のご契約内容により、ドコモへのお問い合わせ先が異なります。
  お問い合わせ先について詳しくは、裏表紙をご覧ください。
- 本書は端末カラーが「Black」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品



SH-52C本体



クイックスイッチ
アダプター（試供品）



SIM取り出しツール
（試供品）

■ クイックスタートガイド

- 本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
  https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

目次

取扱説明書について……H2
本体付属品……1

注意事項

本端末のご利用について……5
おすすめ機能……6
安全上のご注意(必ずお守りください)……7
取り扱い上のご注意……19
防水／防塵性能……27

ご使用前の準備

各部の名称と機能……34
SIMについて……37
microSDカード……39
充電……41
電源を入れる／切る……44
初期設定……45
本端末で利用する暗証番号について……47

基本操作

基本操作……49
文字入力……53
画面表示／アイコン……54
アプリ使用履歴……57
マルチウィンドウ……58
スグアプ……59
アプリの権限を設定する……62

ホーム画面

ホーム切替……64
docomo LIVE UX……64
AQUOS Home……71
アプリ一覧……74

電話／電話帳

電話について……79
電話をかける……79
電話を受ける……82
通話中の操作……83
通話履歴……84
通話音声・伝言メモ……86
通話設定／その他……87
電話帳……90

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール……93
＋メッセージ……93
Gmail™……99
緊急速報「エリアメール」……99
Chrome……100

カメラ／フォト

カメラについて……104
フォト……113

アプリ

dメニュー……117
dマーケット……117
Play ストア……117
おサイフケータイ……119
radiko+FM……122
GPS／ナビ……122
時計……124
スケジュール……126
メモ……128
エモパー……128
からだメイト……132
ドコモデータコピー……134

本体設定

設定メニュー……137
ネットワークとインターネット……138
接続済みのデバイス……144
アプリ……145
通知……146
バッテリー……147
ストレージ……148
音……149
ディスプレイ……151
壁紙……154
AQUOSトリック……154
ユーザー補助……161
セキュリティ……162
プライバシー……168
位置情報……169
緊急情報と緊急通報……169
ドコモのサービス／クラウド……170
パスワードとアカウント……171
Digital Wellbeing と保護者による使用制限……172
Google™……172
システム……173
デバイス情報……178
お困りのときは……178

ファイル管理

ストレージ構成……180
ファイル操作……180

データ通信

Bluetooth®機能……182
NFC通信……186

外部機器接続

パソコンなどとの接続……187

プリントサービスによる印刷／保存 189
USBホスト機能 189
キャスト 189
VPN(仮想プライベートネットワーク) 190

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要 191
海外で利用可能なサービス 191
海外でご利用になる前に 191
海外で利用するための設定 192
滞在先で電話をかける／受ける 194
国際ローミングの設定 196
帰国後の確認 198

付録

試供品 199
トラブルシューティング(FAQ) 201
ソフトウェアアップデート 210
保証とアフターサービス 213
主な仕様 216
携帯電話機の電波防護への適合性について 219
Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Phones 221
CAUTION 226
Inquiries 227
輸出管理規制 229
知的財産権について 229

索引

名前から探す 233
目的から探す 245

注意事項

本端末のご利用について

- 本端末は、5G・LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しているSIMロックが設定されていない端末です。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリアおよび LTEサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態は[ ]を表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、5G・LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 初期設定にて、ドコモが提供するアプリが自動的にインストールされる場合があります。その際、モバイル ネットワークをご利用の場合にはパケット通信料が発生する可能性があります。アプリはお客様から事前に同意をいただき当社に提供いただいたお客様の情報及びその他の当社が保有しているお客様の情報を用いてお客様のニーズを推測し自動的に選定されます。お客様の情報の取り扱いについては当社プライバシーポリシーに定める通り適正に管理します。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。

- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play™などのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末は有機ELディスプレイを使用しています。長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止のため、長時間同じ画像を表示し続けないようにしてください。
- ディスプレイの明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変化する場合があります。また、見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

おすすめ機能

■ 1インチセンサー搭載カメラ

多彩なシーンを明るく、美しく撮影することができます。また、高速のオートフォーカスが動きのある人物や動物などにも素早くピントを合わせます。

☞P.104「カメラについて」

■ Pro IGZO OLED

高性能モバイルディスプレイのPro IGZO OLED搭載で、いつもの動画をより美しく、なめらかな映像で楽しむことができます。

■ 5G SA※対応の高速通信と大容量電池

5G SA対応とミリ波アンテナ搭載による高速通信と大容量電池の搭載で、外出先でも動画のアップロードやオンラインゲームをあんしんしてご利用いただけます。

※5G SAとは、5G専用のコアネットワーク設備である5GC（5G-Core）と、5G基地局を組み合わせて通信をする方式。スマートフォンでの5G SAサービスは2022年夏以降を予定しております。ご利用には別途お申し込みが必要です。

- 機能の詳細については、シャープ株式会社のホームページ（https://jp.sharp/products/aquos-r7/index.html）をご覧ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- **ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。**
- **ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。**
- **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

⚠危険	**この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。**
⚠警告	**この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容です。**
⚠注意	**この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷(※2)を負う可能性が想定される場合および物的損害(※3)の発生が想定される」内容です。**

※1　重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2　軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3　物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- **次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、nanoSIMカード、クイックスイッチアダプター(試供品)の取り扱いについて(共通)

⚠危険


禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水/防塵性能については以下をご参照ください。
☞P.27「防水/防塵性能」


禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.27「防水/防塵性能」


禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む


禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

本端末の背面カバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.27「防水／防塵性能」


水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.27「防水／防塵性能」


指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告


禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。


禁止

ワイヤレスチャージャーや本端末に金属製のもの(金属を含む材質のシールなど)を貼り付けないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


禁止

ワイヤレスチャージャーと本端末の間に、金属製のもの(金属を含む材質のストラップやクリップなど)を置かないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


水濡れ禁止

お手入れの際は、消毒液や水分がすき間、送話口／マイク、受話口／スピーカー、マイク、スピーカー、USB Type-C®接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き部(カメラ飾り)に入らないようにしてください。
本端末の破損により、けが、感電などの原因となります。


指示

ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、本端末に装着しているカバーなどは取り外してください。
カバーの材質や厚み、本端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。


指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。


指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。


指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意


禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。


禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水／防塵性能については以下をご参照ください。

☞P.27「防水／防塵性能」

禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。

禁止

乳幼児やペットが届く場所に置かないでください。nanoSIMカードトレイやクイックスイッチアダプター、SIM取り出しツールなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。

指示

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となりますので、衣類のポケットに入れたり就寝時などはご注意ください。

本端末の取り扱いについて

⚠危険

禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止

本端末内のnanoSIMカードトレイやmicroSDカードの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片(カッターの刃やホチキスの針など)、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

近接センサーをのぞきこまないでください。
一時的に視力に影響を与え、事故につながる可能性があります。



禁止

アラームを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。
難聴など耳への障害の原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。


指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。


指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意


禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。


禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。


指示

nanoSIMカードの取り外しの際は、指などの身体の一部を傷つけないよう、SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端にご注意ください。

SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。


指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

☞P.18「材質一覧」


指示

本端末の受話口／スピーカー部、スピーカー部、カメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。


指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

アダプタ、ワイヤレスチャージャーの取り扱いについて

⚠警告


禁止

アダプタやワイヤレスチャージャーのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

雷が鳴り出したら、アダプタやワイヤレスチャージャーには触れないでください。

感電などの原因となります。


禁止

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

アダプタやワイヤレスチャージャーのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

ACアダプタに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。


禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。
また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、ワイヤレスチャージャーに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ:AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ:AC100V～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
DCアダプタ:DC12V・24V(マイナスアース車専用)


指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。


指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意


禁止

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠注意


指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

クイックスイッチアダプター（試供品）の取り扱いについて

⚠警告


禁止

本端末につないだ状態で端子をショートさせないでください。また、端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

本端末にクイックスイッチアダプターを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

本端末にクイックスイッチアダプターを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


濡れ手禁止

濡れた手でクイックスイッチアダプターに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

端子についたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

クイックスイッチアダプターを本端末に差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意


禁止

本端末につないだ状態でクイックスイッチアダプターに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。


指示

クイックスイッチアダプターの使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
☞P.18「材質一覧」

SIM取り出しツール(試供品)の取り扱いについて

⚠警告


禁止

SIM取り出しツールの先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
けがや失明などの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス／AFコート
外装(金属部)	アルミニウム／アルマイト処理
外装(樹脂部)	PBT樹脂(ガラス入り)／なし
背面	強化ガラス／AFコート
電源キー	アルミニウム／アルマイト処理
音量UP／DOWNキー	アルミニウム／アルマイト処理
カメラパネル	強化ガラス／AFコート、ARコート
カメラ飾り	アルミニウム／アルマイト処理
カメラ飾りの周囲	アルミニウム／アルマイト処理
イヤホンマイク端子の周囲(内側側面)	PBT樹脂(ガラス入り)／なし
USB Type-C接続端子の周囲(内側側面)	PBT樹脂(ガラス入り)／なし
nanoSIMカードトレイ(外装部)	アルミニウム／アルマイト処理
nanoSIMカードトレイ	POM樹脂、アルミニウム／アルマイト処理

使用箇所	材質／表面処理
nanoSIMカードトレイのパッキン	シリコンゴム／なし

クイックスイッチアダプター（試供品）

使用箇所	材質／表面処理
Type-Cプラグ（金属部）	ステンレス／ニッケルメッキ
Type-Cプラグ（樹脂部）	LCP樹脂／なし
USB接続端子（金属部）	SPCC／ニッケルメッキ
USB接続端子（樹脂部）	LCP樹脂／なし
本体（金属部）	アルミ合金／アルマイト処理
本体（樹脂部）	PBT樹脂／なし

SIM取り出しツール（試供品）

使用箇所	材質／表面処理
本体	ステンレス／なし

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **SH-52Cは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**
  アダプタ、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「保証とアフターサービス」（☞P.213）をご確認ください。
- **端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
  また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。

- **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
  指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **本端末はアルコール除菌シートを使用することができます。**
  耐薬品機能のチェックのため、一般的なアルコール除菌シートに使用される下記の薬品を布に含ませ、拭き取り試験を実施しています。
  - エタノール70%

  アルコール除菌シート での拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色・剥がれのないことを確認しています。
  ただし、すべての変色や塗装の剥がれ、変形しないことを保証するものではありません。
- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
  風呂場でのご使用については以下をご参照ください。
  ☞P.27「SH-52Cが有する防水／防塵性能でできること」
- **家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はnanoSIMカードトレイを閉じた状態でご使用ください。**
  水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
  指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。

- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、交通系ＩＣカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
  また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- **本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。**
  近接センサー、明るさセンサー、指紋センサーを使用する各種機能が動作しない、ワイヤレスチャージャーで充電できないなど、正常に動作しない場合があります。
  近接センサー、明るさセンサー、指紋センサーの位置は、以下をご参照ください。
  ☞P.34「各部の名称と機能」
- **内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。**
  内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
  十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」(☞P.213)をご確認ください。
- **充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**
  - フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
  - 電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管

  なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

- **本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。**

アダプタ、ワイヤレスチャージャーについてのお願い

- **お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)の近く
- **充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。
- **毛布などを被せた状態でワイヤレスチャージャーを使用しないでください。**
- **指定の機器や専用ACアダプタ以外は、ワイヤレスチャージャーに使用しないでください。**
- **本端末にアダプタやUSB接続ケーブルを接続している状態でワイヤレスチャージャーに置かないでください。**
- **磁気カードや磁気を帯びたものをワイヤレスチャージャーに近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、交通系ＩＣカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
  また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。

nanoSIMカードについてのお願い

- **nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のＩＣカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **ＩＣ部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  ＩＣ部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったnanoSIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ＩＣを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。

- **nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

クイックスイッチアダプター(試供品)についてのお願い

- **水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物を付着させないでください。**
  クイックスイッチアダプターは防水/防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
- **端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
  また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **強い衝撃を与えないでください。また、端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。

SIM取り出しツール(試供品)についてのお願い

- **無理な力がかからないように使用してください。**
  故障、破損の原因となります。
- **廃棄の際は、それぞれの地域ルールに従って分別廃棄を行ってください。**
- **SIM取り出しツールは本書に記載の使用目的以外では使用しないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **SIM取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。**
  携帯端末の故障、破損の原因となります。
- **SIM取り出しツールを、nanoSIMカードトレイ取り出し用の穴以外の穴などに挿入しないでください。**
  故障、破損の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- **本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

● **周波数帯について**

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で[□□□]▶[設定]▶[デバイス情報]▶[規制ラベル]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② FH:変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
④ XX:変調方式がその他の方式であることを示します。
⑤ 8:想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
⑥ ■■■■■:2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● **Bluetooth機器使用上の注意事項**

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

■ **無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。**

■ **無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

● **無線LANについて**

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● **周波数帯について**

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で[□□□]▶[設定]▶[デバイス情報]▶[規制ラベル]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ■■■■■■:2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャネルは1～13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● **2.4GHz機器使用上の注意事項**

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

● **5GHz機器使用上の注意事項**

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz／5.3GHz／5.6GHz帯(W52／W53／W56)の3種類の帯域を利用することができます。

- W52(5.2GHz帯／36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯／52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch)

5.2GHz／5.3GHz帯無線LAN(W52／W53)の屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く)。

電波障害自主規制について

● **本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。**

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。

ホーム画面で[□□□]▶[設定]▶[デバイス情報]▶[規制ラベル]

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター, P2P機能は電波法に規定する誘導式読み書き通信設備の型式指定を受けています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター, P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。**
  また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- **航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。**
- **型式指定は、次の手順でご確認いただけます。**
  ホーム画面で[□□□□]▶[設定]▶[デバイス情報]▶[規制ラベル]

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク㊣」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
  ホーム画面で[□□□□]▶[設定]▶[デバイス情報]▶[規制ラベル]
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。**
  海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

SH-52Cは、nanoSIMカードトレイをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

※1　IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。

※2　IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。

※3　IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SH-52Cが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流（6L/分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。nanoSIMカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（☞P.32「水に濡れたときの水抜きについて」）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- **風呂場で使用できます。**
  - **常温の水道水以外の液体（温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水など）を付着させたり、湯船に浸けたりしないでください。**
    故障の原因となります。万が一、水道水以外の液体が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流してください。
  - **風呂場では、室温は5℃～40℃、湿度は99%以下、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。**
    なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
  - **水に濡れたあとは、必ず所定の方法（☞P.32「水に濡れたときの水抜きについて」）で水抜き・自然乾燥を行ってください。**
    風呂場での使用後やカメラのレンズ内側などに結露が発生した場合も自然乾燥を行ってください。

- **急激な温度変化は、結露の原因となります。**
  寒い場所から暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
  また、風呂場で暖まった本端末に冷たい水をかけないでください。故障の原因となります。
- **風呂場では絶対に充電を行わないでください。**
- **風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、通話、データ通信ができない場合があります。**
- **濡れた手で操作をする場合、反応しなかったり、誤動作したりする可能性があります。**
- **風呂場で、イヤホンや外部接続機器を接続して使用しないでください。**

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- nanoSIMカードトレイをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- nanoSIMカードトレイが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、nanoSIMカードトレイはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて端末をお預かりして有料にて承ります。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

■ nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付けかた

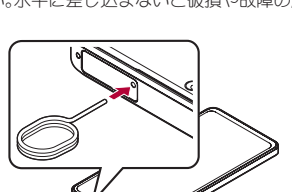
- 取り外し／取り付けは、必ず電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。
- 取り外し／取り付けは、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

取り外すとき

- 取り外しには、付属のSIM取り出しツール（試供品）が必要です。

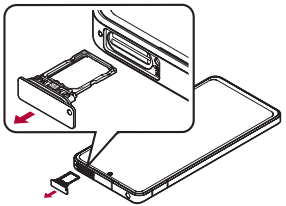
1 SIM取り出しツールの先端をnanoSIMカードトレイ取り出し用の穴に差し込む

- カードトレイが出てくるまで、しっかりと水平に差し込んでください。水平に差し込まないと破損や故障の原因となります。



2 nanoSIMカードトレイを本体から引き出す

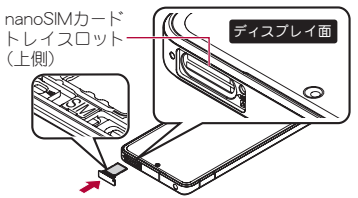
- カードトレイをゆっくりと水平に引き出してください。カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。



取り付けるとき

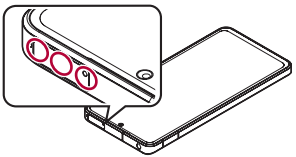
1 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカードトレイをnanoSIMカードトレイスロット（上側）に本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- microSDカードをご利用の場合は、あらかじめmicroSDカードスロット（下側）に差し込んでおいてください。microSDカードの取り付け方法について詳しくは、「取り付けかた」（☞P.40）をご参照ください。
- カードトレイは「SIM」の刻印を上向きにして、ゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。

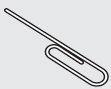


2 ○部分をしっかりと押し、本体とnanoSIMカードトレイにすき間がないことを確認する

- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。



- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。



ペーパークリップの例

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、nanoSIMカードトレイの開閉はしないでください。
- nanoSIMカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- nanoSIMカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。対処については、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- nanoSIMカードトレイと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて部品をお取り替えください。端末の状態によっては有料での修理となる場合がございますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードトレイのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用（キー操作を含む）しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（6L/分を超える）を直接当てないでください。SH-52CはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温（5℃～35℃）の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。

- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
  乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 本端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、マイク、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、マイク、スピーカー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子などを先の尖ったものでつつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態で外部接続機器を挿さないでください。故障の原因となります。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん／洗剤／入浴剤　海水　プール



温泉　砂／泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

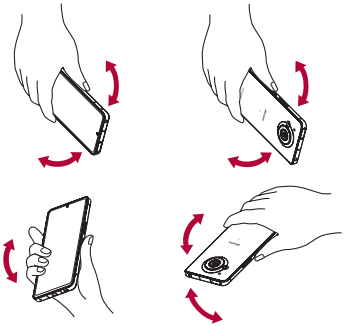
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

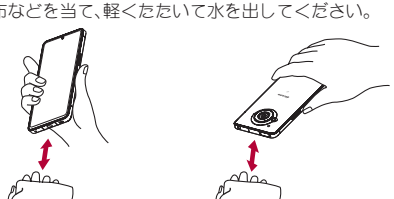


送話口／マイク、スピーカーの水抜きのために送話口／マイク、スピーカーを下にして振る

受話口／スピーカー、マイクの水抜きのために受話口／スピーカー、マイクを下にして振る

3 送話口／マイク、受話口／スピーカー、マイク、スピーカー、キー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き部（カメラ飾り）などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいことがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、自然乾燥させてから充電してください。

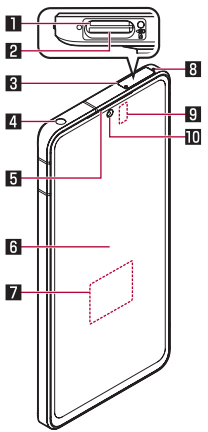
警告

端末に水滴や異物が付着している状態では、Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水／防塵性能を有しておりますが、ACアダプタ（別売）は防水／防塵性能を有しておりません。濡れたり汚れたりしている状態でType-Cプラグを挿入すると、端末やType-Cプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



1 nanoSIMカードトレイスロット（上側）
- nanoSIMカードについては☞P.37「SIMについて」

2 microSDカードスロット（下側）
- microSDカードについては☞P.39「microSDカード」

3 nanoSIMカードトレイ

4 イヤホンマイク端子

5 受話口／スピーカー

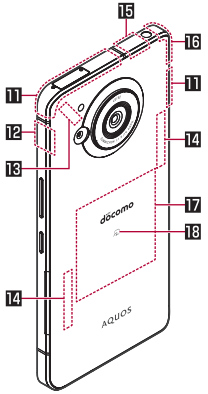
6 ディスプレイ／タッチパネル
- タッチパネルの操作については☞P.49「タッチパネルの操作」

7 指紋センサー※1
- 指紋認証による、タッチパネルのロック解除などに利用します。
- 指紋センサーの利用については☞P.165「指紋認証」

8 マイク
- ハンズフリー通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。
- 動画撮影時の録音にも使用します。

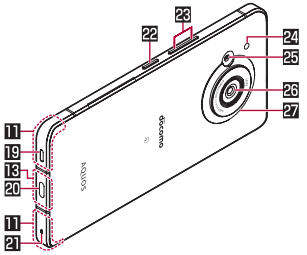
9 近接センサー／明るさセンサー※1
- 通話中に顔の接近を検知して誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。

10 インカメラ
- カメラの利用については☞P.104「カメラについて」



11 LTE／5Gアンテナ※2
12 Wi-Fiアンテナ※2
13 LTEアンテナ※2
14 5Gアンテナ※2
15 LTE／5G／GPSアンテナ※2
16 LTE／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※2
17 ワイヤレス充電位置
- ワイヤレス充電を行うときは、こちらの位置を合わせてください。

18 マーク
- ＩＣカードが搭載されています（取り外しはできません）。
- マークの利用については☞P.119「おサイフケータイ」



19 スピーカー
- 着信音や音楽などがここから聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。

20 USB Type-C接続端子
- 充電時などに使用します。
- USB Power Deliveryに対応しています。
- 外部機器との接続については☞P.41「充電」、P.187「パソコンなどとの接続」、P.189「USBホスト機能」、P.199「クイックスイッチアダプター」

21 送話口／マイク
- 通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。
- 動画撮影時の録音やエモパー利用時の音声認識にも使用します。

㉒ ▯:電源キー

- 電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使用します。
- 長押しすると、設定したアプリが起動します。
- ▯(+)と同時に押すとメニューが表示され、[緊急通報][電源を切る][再起動][故障かな？と思ったら]の操作ができます。
- 詳しくは下記をご参照ください。
  - 電源を入れる／切るについては☞P.44「電源を入れる／切る」
  - 長押しでアプリ起動については☞P.159「クイック操作」
  - 緊急通報については☞P.81「緊急通報」
  - 「故障かな？と思ったら」については☞P.179「セルフチェック」

㉓ ▯(+)／▯(−):音量UP／DOWNキー

- 各種音量の調節やカメラ撮影、マナーモードの設定などに使用します。

㉔ モバイルライト

㉕ 測距用センサー

- ポートレートモードで印象的なボケ効果を実現する深度測定センサーです。

㉖ 標準カメラ

- 静止画／動画撮影ができるアウトカメラです。
- カメラの利用については☞P.104「カメラについて」

㉗ 空気抜き部(カメラ飾り)

- 性能を保つための空気抜き部となっています。

※1　センサー部分にはシールなどを貼らないでください。
※2　本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

- 本端末の背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

モバイルライトについて

- 端末の温度が高くなった場合、モバイルライトが自動的に消灯することがあります。また、端末の温度が高い状態では、モバイルライトが利用できないことがあります。

マイクについて

- マイクを利用する機能を使用する場合は、マイクの穴をふさがないようにしてください。

イヤホンマイクについて

- イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

測距用センサーについて

- 測距用センサー単体での撮影はできません。

本端末の強制終了について

- ▯(電源キー)＋▯(+)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。バイブレータが動作したあとに指を離すと、電源が切れます。強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

SIMについて

本端末はnanoSIMカードとeSIM(ダウンロード型SIM)に対応しています。nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、電話、パケット通信などの機能にどちらのSIMを使うか選択できます。ただし、nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

- nanoSIMカードを取り付けていない、かつeSIMを設定していない場合は、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けていない、かつeSIMを設定していない場合は、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- SIMには、PINコードという暗証番号があります(☞P.47「PINコード」)。

nanoSIMカード

nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているＩＣカードです。

- 本端末では、nanoSIMカードのみご利用になれます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

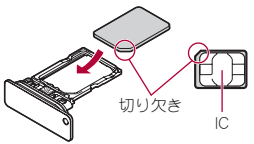
■ 取り付けかた

- nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付けかた」(☞P.28)をご参照ください。
- nanoSIMカードは必ずnanoSIMカードトレイに取り付けてから本体に差し込んでください。

1 nanoSIMカードトレイを本体から取り外す

2 nanoSIMカードのＩＣ面を下向きにして、nanoSIMカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- nanoSIMカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- nanoSIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



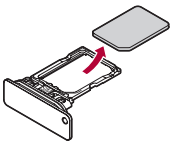
3 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付けかた」（☞P.28）をご参照ください。

1 nanoSIMカードトレイを取り外す

2 nanoSIMカードをnanoSIMカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカードトレイを本体に取り付ける

- nanoSIMカードやnanoSIMカードトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でnanoSIMカードトレイを引き出すと、取り付けられているnanoSIMカードが外れ、紛失する可能性があります。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、ＩＣに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、nanoSIMカードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

eSIM

本端末は、お客様の電話番号などの情報を登録するeSIMに対応しています。

- eSIMのご利用には設定が必要です（☞P.141「eSIMのSIM情報を設定する」）。

- お客様ご自身で、eSIMに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- eSIMについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-52Cでは市販の2Gバイトまでのmicro SDカード、32Gバイトまでのmicro SDHCカード、1Tバイトまでのmicro SDXCカードに対応しています。また、スピードクラス※は最大クラス10、UHSスピードクラス※はクラス3（SDR104）まで使用できます（2022年7月現在）。
  ※スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

  microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh52c/peripherals/microsd.html
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後（端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります（☞P.149「microSDカード／USBメモリのフォーマット」）。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

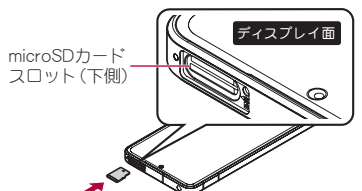
■ 取り付けかた

- nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付けかた」（☞P.28）をご参照ください。

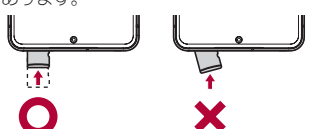
1 nanoSIMカードトレイを取り外す

2 microSDカードの金属端子面を下向きにして、microSDカードスロット（下側）にゆっくりと挿入する

- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。



- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。



3 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカードトレイを本体に取り付ける

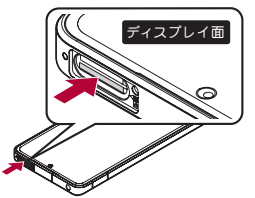
■ 取り外しかた

- nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付けかた」（☞P.28）をご参照ください。

1 nanoSIMカードトレイを取り外す

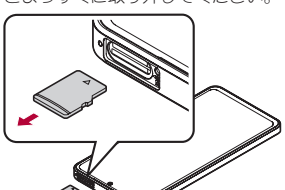
2 microSDカードを軽く押し込む

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、端末やmicroSDカードを破損させる恐れがあります。



3 microSDカードを取り外す

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



4 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカードトレイを本体に取り付ける

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
  https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安については☞P.216「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます（通電中は電池マークに［ϟ］が重なって表示されます）。
- 充電中にロック画面や設定画面に表示される充電完了までの時間は、目安です。
- 充電完了後、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）を長時間挿したままにしたり、ワイヤレスチャージャー（別売）に置いたままにすると、充電量が減少します。この場合、ACアダプタやDCアダプタ、ワイヤレスチャージャーから再び充電を行いますが、ACアダプタやDCアダプタ、ワイヤレスチャージャーを端末から取り外すタイミングによっては、内蔵電池が本来の充電量より少ない場合があります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少していることがあります。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。ただし、ワイヤレスチャージャーによっては、充電時温度が下がっても自動的には充電を再開しないものがあります。本端末の温度が下がったあと、ワイヤレスチャージャーからいったん離して、やり直してください。

■ 内蔵電池の寿命

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」（☞P.213）をご確認ください。
- 充電しながら動画の視聴などを長時間行うと内蔵電池の寿命が短くなることがあります。

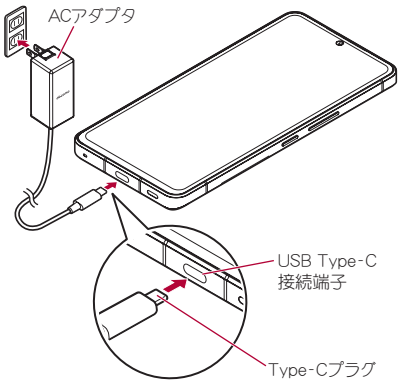
Li-ion00

ACアダプタで充電

ACアダプタ 08（別売）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

1 ACアダプタのType-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、Type-CプラグをUSB Type-C接続端子から水平に抜く

- 詳しくはACアダプタ 08の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 08は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 無理に差し込んだり抜いたりすると、USB Type-C接続端子やType-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

DCアダプタで充電

DCアダプタ（別売）は、自動車のアクセサリーソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。詳細については、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

- DCアダプタはマイナスアース車専用です（DC12V・24V両用）。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズは消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

ワイヤレスチャージャーで充電

ワイヤレスチャージャー04（別売）で充電する場合は、製品に付属されている取扱説明書をご覧ください。

■ ワイヤレス充電時のご注意

- 充電時は、本端末のワイヤレス充電位置とワイヤレスチャージャーの位置を正しく合わせてください。ワイヤレス充電位置についてはP.34「各部の名称と機能」
- 本端末にカバー（市販品）などを取り付けている場合は、取り外してから充電してください。
- 充電中は、設定などで本端末が振動しないようにしてください。振動により本端末が動くと、充電が完了しなかったり、落下したりする恐れがあります。
- 充電中にテレビやラジオから雑音が聞こえる場合は、テレビやラジオから離れた場所で充電してください。
- 周辺に他の無接点充電対応機器がある場合は、30cm以上離してください。本端末が正しく検出されず、充電ができない場合があります。
- 充電中は通話やデータ通信、テレビの受信状態が悪くなることがあります。
- 本端末とワイヤレスチャージャーの間に金属の異物が入らないようにご注意ください。異物が発熱する恐れがあります。
- 本端末とワイヤレスチャージャーの間にICカードなどを挟まないでください。ICカードが故障する恐れがあります。
- 充電中にカメラを使用すると、画像にノイズが入る場合があります。
- 本端末の動作状況により、本端末の温度上昇を避けるために、充電速度が遅くなったり、充電が停止したりする場合があります。

USBケーブルで充電

端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02(別売)などで接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンなどとの接続方法については☞P.187「パソコンなどとの接続」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 (電源キー)(3秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときは初期設定を行ってください(☞P.45「初期設定」)。

■ 電源を切る

1 (電源キー)+(音量キー−)

2 [電源を切る]

■ ディスプレイの表示／非表示

(電源キー)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。
ディスプレイが消えているときに(電源キー)を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。
[]が表示されている場合は、画面を上にスワイプして画面ロックを解除します。[]が表示されている場合は、画面を上にスワイプして[画面ロック]で設定したパスワードなどを入力して画面ロックを解除します。

- [ロックフォトシャッフル]をONに設定すると、ロック画面の壁紙がランダムに切り替わるよう設定できます(☞P.155「ロック・ホームフォトシャッフル」)。



タッチパネルのロック画面の操作

- カメラの起動:[📷]を左上にスワイプ
- ステータスパネルの表示:画面を下にドラッグ
- ステータスパネルを展開して表示:ステータスバーを下にドラッグ

- タッチパネルのロック画面には通知が表示されます。通知の表示については☞P.146「通知」
- エモパーをONにしている場合、画面の下部にエモパーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。情報によっては2回タッチすると、関連情報や詳細を確認できます。
  また、[エモパーメモ]がONのときは、タッチパネルのロック画面でエモパーメモが利用できます。
  • エモパーについては☞P.128「エモパー」

初期設定

本端末の電源を入れたあとに[ようこそ]と表示されたときは、画面の指示に従って初期設定をしてください。

- はじめてのご利用時にeSIMを設定する場合は、初期設定の完了後に行ってください。eSIMの設定については☞P.141「eSIMのSIM情報を設定する」
- 設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。
  - ■ 言語の設定
  - ■ モバイルデータに使用するSIMの選択※1
  - ■ 通話の発信に使用するSIMの選択※1
  - ■ テキストメッセージの送信に使用するSIMの選択※1
  - ■ ネットワークの選択
  - ■ アプリとデータのコピー※2
  - ■ Googleアカウントの設定(☞P.46「Googleなどのアカウントの設定を行う」)
  - ■ Google サービス
  - ■ 端末のロック
  - ■ Google アシスタント™

  ※1 nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合に表示されます。
  ※2 付属のクイックスイッチアダプター(試供品)を利用して、以前のスマートフォンから簡単にデータを引き継ぐことができます(☞P.199「クイックスイッチアダプター」)。

■ ドコモ初期設定

1 ドコモ初期設定画面が表示されたら内容を確認▶[次へ]

2 初期設定を行う

- 設定項目は次のとおりです。設定しない場合は[今は設定しない]／[いいえ]をタッチします。設定が完了した場合は[設定完了]をタッチします。
  - ■ 機能の利用確認
  - ■ dアカウント
  - ■ かんたん一括設定　あんしん・便利
  - ■ その他の設定項目

Googleなどのアカウントの設定を行う

- Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[パスワードとアカウント]▶[アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[パスワードとアカウント]で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。

- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ アカウントの削除

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[パスワードとアカウント]

2 アカウントを選ぶ▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]

- アカウントにより操作方法が異なります。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

1 ホーム画面で[Chrome]

2 URL入力欄に「https://www.google.co.jp」を入力▶[→]▶[ログイン]

3 メールアドレスを入力▶[次へ]▶[パスワードをお忘れの場合]▶画面の指示に従って操作

- 利用状況により操作方法が異なります。

dアカウントの設定を行う

- dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケットなどのドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID／パスワードです。
- 端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。

1 ホーム画面で[□□□]▶[設定]▶[ドコモのサービス／クラウド]▶[dアカウント設定]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。

■ 画面ロック用PIN/パスワード

本端末の[画面ロック]を使用するための暗証番号です。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ PINコード

nanoSIMカード／eSIMには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（☞P.48「PINコードを変更する」）。PINコードは、第三者によるnanoSIMカード／eSIMの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカード／eSIMをお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカード／eSIMが完全にロックされます。その場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[SIM カードロック]▶[SIM カードをロック]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、画面上部のタブをタッチして、設定するSIMを選択してください。

2 PINコードを入力▶[OK]

- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けていない、かつeSIMを設定していない場合は、PINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 設定はnanoSIMカード／eSIMに保存されます。

PINコードを変更する

[SIM カードをロック]を設定しているときのみ変更できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[SIM カードロック]▶[SIM PINの変更]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、画面上部のタブをタッチして、設定するSIMを選択してください。

2 現在のPINコードを入力▶[OK]

3 新しいPINコードを入力▶[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力▶[OK]

PINロックの解除

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

2 新しいPINコードを入力

3 もう一度、新しいPINコードを入力

基本操作

タッチパネルやナビゲーションバーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作※
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

※[グローブモード]がONの場合、手袋を装着したまま使用できます(☞P.151「ディスプレイ」)。

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)/ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違って触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



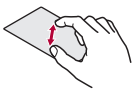
■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト／ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる（ピンチアウト）／狭める（ピンチイン）ように指を動かすと、画面の拡大／縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションバー

画面下部のナビゲーションバーに表示されるキーなどを使って基本的な操作を行うことができます。



1 ◀／▼：戻るキー／閉じるキー

- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 ●：ホームキー

- ホーム画面を表示します。
- ロングタッチすると、アシスト機能を利用できます（☞P.51「アシスト機能の利用」）。

3 ■／▬：アプリ使用履歴キー／マルチウィンドウキー

- アプリ使用履歴を表示します（☞P.57「アプリ使用履歴」）。
- マルチウィンドウ利用中であることを表します（☞P.58「マルチウィンドウ」）。

■ アシスト機能の利用

アシスト機能に対応したアプリをすばやく起動することができます。

1 [ ]をロングタッチ

- お買い上げ時はGoogle アシスタントが起動します。
- 起動するアプリの設定：ホーム画面で[ ]▶[設定]▶[アプリ]▶[デフォルトのアプリ]▶[デジタル アシスタント アプリ]▶[デフォルトのデジタル アシスタント アプリ]▶アプリを選ぶ

■ メニューを呼び出す

[ ]／[ ]などのメニューキーのタッチや画面の左端を右にスワイプ、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能（メニュー）が表示されます。

例：電卓画面



■ 設定の切替

設定項目の横にトグルスイッチなどが表示されているときは、タッチすることで設定のON／OFFを切り替えることができます。

例：Wi-Fi 設定画面

- [ ]はON、[ ]はOFFの状態です。



■ 縦／横表示

端末を回転させた場合、利用中のアプリによってはナビゲーションバーに[ ]／[ ]が表示されます。[ ]／[ ]をタッチして、画面の縦／横表示を切り替えることができます。

- [画面の自動回転]をONにすると、本端末の傾きに合わせて、縦／横表示が自動的に切り替わります（☞P.151「ディスプレイ」）。
  - ステータスパネルからも設定できます（☞P.56「ステータスパネルの利用」）。

- 縦表示から横表示にした場合、アプリによっては全画面表示されることがあります。

[画面の自動回転]について

- アプリや表示画面によっては、端末の向きを変えても、縦／横表示が切り替わらない場合や、特定の向きに表示が固定される場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦／横が正しく表示されない場合があります。

スクリーンショットの撮影

表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、フォトなどで確認することができます。
- Clip Nowを利用してもスクリーンショットを撮影することができます(☞P.156「Clip Now」)。
- アプリ使用履歴を利用してもスクリーンショットを撮影することができます(☞P.57「アプリ使用履歴」)。

1 (電源キー)＋(ー)

- []をタッチすると、撮影した画像を共有できます。
- []をタッチすると、撮影した画像を編集できます。
- スクロール可能な画面でスクリーンショットを撮影すると、[キャプチャ範囲を拡大]が表示される場合があります。タッチすると、スクロールして表示される画面の全体が表示され、保存する範囲を調整できます。
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

スクリーン レコード

表示中の画面を動画として録画できます。

- 撮影した動画は本体メモリに保存され、フォトなどで確認することができます。

1 ステータスパネルで機能ボタンの[スクリーン レコード 開始]をタッチ

2 項目を選ぶ

- 録音:録音する音声について設定します。
- 画面上のタップも記録する:録画中のタッチ操作を白い丸で記録するか設定します。

3 [開始]

- ステータスバーにカウント ダウンが表示され、録画を開始します。

4 ステータスパネルで[停止]

- ステータスパネルで機能ボタンの[スクリーン レコード 停止]をタッチしても、録画を停止できます。

- アプリによっては録画できない場合があります。

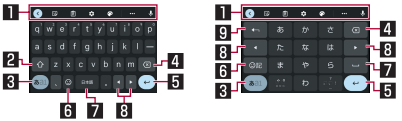
文字入力

文字入力には、連絡先の登録時やメールの作成時などの文字入力画面で入力欄をタッチすると画面に表示されるキーボードを使用します。

- 複数の入力ソフトをインストールしている場合は、文字入力時に画面下部の[ ]をタッチして、使用する入力ソフトを設定することができます。
- お買い上げ時は、「Gboard」が設定されています。

Gboard

- ここでは、QWERTYと12 キーの基本的な操作について説明します。操作方法などは、Gboardのアップデートにより、本書の内容から変更されることがあります。



QWERTY　　12 キー

※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 ツールバー
- クリップボードを利用したり、文字入力に関する設定などができます。

2 シフトキー
- 大文字／小文字を切り替えます。

3 入力モード切替キー
- 入力モードを変更します。

4 削除キー
- 文字を削除します。

5 確定／改行キー
- 入力中の文字の確定や、カーソル位置での改行を行います。

6 絵文字キー
- 絵文字や記号などを表示します。

7 スペースキー
- スペースを入力します。

8 カーソルキー
- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

9 逆トグル／戻すキー
- 入力した文字から逆回しで文字を入力したり、直前に確定した文字を未確定状態に戻したりできます。

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
  - お知らせアイコン：不在着信や新着メールなどをお知らせします。
  - ステータスアイコン：電池残量や電波状態など端末の状態を表します。



- お知らせや端末の状態を表すアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は、[・]が表示されます。ステータスパネルを表示して確認してください。

■ 主なお知らせアイコン一覧

:電池残量が約15%以下

:不在着信あり（☞P.84「通話履歴」）

:新着＋メッセージあり（☞P.93「＋メッセージ」）

:新着Gmailあり（☞P.99「Gmail™」）

:エラー表示
- 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

:dアカウントの認証失敗（☞P.170「ドコモのサービス／クラウド」）

:データ通信が無効（☞P.142「データ使用量の警告と制限」）
- データ使用量が上限に達した場合に表示されます。

:アラーム情報あり（☞P.124「アラーム」）

:カレンダーのスケジュール通知あり

電話表示（☞P.79「電話／電話帳」）
:発信中／着信中
:通話中
:保留中

:伝言メモあり（☞P.86「通話音声・伝言メモ」）

:留守番電話の伝言メッセージあり（☞P.89「ネットワークサービス」）

:microSDカード表示（☞P.148「ストレージ」）

:本体メモリの空き容量低下（☞P.148「ストレージ」）

:おまかせロック設定中

Bluetooth表示（☞P.182「Bluetooth®機能」）
:Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり
:データ受信要求あり

データ送受信表示
:送信表示
:受信表示

:アプリのアップデートあり

:パブリック ネットワークあり(☞P.139「Wi-Fiの設定」)

:ソフトウェアアップデート情報あり(☞P.210「ソフトウェアアップデート」)

:[グローブモード]がON(☞P.151「ディスプレイ」)

■ 主なステータスアイコン一覧

:アラーム設定中(☞P.124「アラーム」)
- ステータスバーを下にドラッグしたときに表示されます。

～:電池残量表示(☞P.147「バッテリー」)
- 通電中は電池マークに[ ]が重なって表示されます。
- 電池マークの右に電池残量がパーセント で表示されます。パーセントの表示／非表示はバッテリーの[バッテリー残量]で切り替えられます。

電波状態表示

～:レベル表示(5段階)

:圏外
- データ受信中は[ ]、データ送信中は[ ]が電波マークに重なって表示されます。
- 5G／4G(LTE)使用可能時は、電波マークの左側に[5G]／[4G+]が表示されます。
- LTE接続時は常に[4G+]が表示されます。
- 国際ローミング中は、電波マークの左上に[R]が小さく表示されます。
- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、電波状態表示がそれぞれのSIMに対して表示されます。左側がnanoSIMカード、右側がeSIMに関する表示です。

Wi-Fi電波状態表示(☞P.138「Wi-Fi」)

～:レベル表示(5段階)

:インターネット 接続されていないアクセスポイントに接続中
- データ受信中は[ ]、データ送信中は[ ]がWi-Fi電波マークに重なって表示されます。

:機内モード中(☞P.138「ネットワークとインターネット」)

:[Wi-Fiテザリング]が有効(☞P.143「テザリング」)

マナーモードのモード表示(☞P.150「マナーモード」)

:マナーモード(バイブ)

:マナーモード(ミュート)
- [ ]はステータスバーを下にドラッグしたときに表示されます。

:サイレント モード設定中(☞P.151「サイレント モード」)

通話中表示(☞P.83「通話中の操作」)

:ハンズフリー通話中

:ミュートに設定中

:Bluetooth通信中(☞P.182「Bluetooth®機能」)

:位置情報をGPSで測位中(☞P.169「位置情報」)

／:カメラ／マイク利用表示
- カメラ／マイクの利用開始時に表示されます。カメラ／マイクを利用中は緑色の点で表示されます。

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを下にドラッグ

- ステータスパネルが表示されます。
- ステータスパネルをさらに下にドラッグすると、ステータスパネルが展開され、隠れていた機能ボタンなどが表示されます。
- ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグすると、ステータスパネルが展開された状態で表示されます。

2 ステータスパネルを利用する

■ ステータスパネルの見かた



ステータスパネル



ステータスパネル
（展開時）

1 機能ボタン

- マナーモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用などについて設定できます。
- ロングタッチすると詳細を設定できる場合があります。
- ステータスパネルを展開しているときは、表示エリアを左右にフリックするとページを切り替えられます。

2 通知詳細情報

- 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
- 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
  - 対応するアプリの起動や操作：詳細情報や機能をタッチ
  - 詳細表示／簡易表示の切替：詳細情報を2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト／ピンチイン
  - 詳細情報の消去：詳細情報を左右にフリック
  - アプリの通知について設定：詳細情報をロングタッチ▶画面の指示に従って操作

3 管理

- アプリの通知について設定します。

4 すべて消去

- 通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。通知詳細情報の内容によっては消去されない場合があります。

5 明るさ調整バー

- ドラッグすると画面の明るさを調整できます。

6 インジケータ

- 機能ボタン表示エリアのページ枚数と現在の表示位置を表します。

7 編集

- 機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。

8 電源メニュー

- [緊急通報][電源を切る][再起動][故障かな？と思ったら]の操作ができます。

9 通信事業者名

- 接続している通信事業者名が表示されます。

10 設定

- 「設定」アプリを起動します。

- アプリによっては、通知を受信した際に、ステータスパネルで発信や返信操作などを行えるものがあります。通知詳細情報を詳細表示にし、画面の指示に従って操作してください。

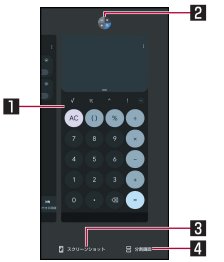
アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 [□]

2 履歴を利用する

- [□]をタッチすると、1つ前に使用していたアプリが起動します。



1 アプリの使用履歴

- タッチするとアプリを起動できます。
- 上にフリックすると履歴を削除できます。
- 履歴を右にフリックし、[すべてクリア]をタッチすると、アプリの使用履歴をすべて削除できます。

2 アプリアイコン

- タッチするとアプリ情報の確認や分割画面(☞P.58「マルチウィンドウ」)が利用できます。また、選択したアプリ以外を使用できないように、画面を固定することもできます。
  - 画面固定を利用する場合は、あらかじめ[アプリ固定]をONに設定しておいてください(☞P.162「セキュリティ」)。
  - 画面固定:アプリアイコンをタッチ▶[固定]
  - 画面固定の解除:[◀]+[■]をロングタッチ

3 スクリーンショット

- 表示しているアプリの使用履歴を画像として撮影できます。

4 分割画面

- 分割画面(☞P.58「マルチウィンドウ」)が利用できます。

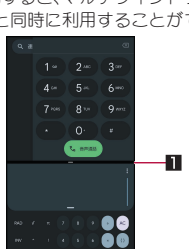
- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
- 起動中のアプリの履歴を消去すると、アプリを終了することができます。

マルチウィンドウ

上下に分割された画面で、2つのアプリを同時に利用することができます。

1 [■]▶[分割画面]

- [■]▶各履歴のアプリアイコンをタッチ▶[分割画面]と操作しても、マルチウィンドウを利用することができます。
- 画面が上下に分割され、[■]の表示が[▬]に変わり、選択したアプリが上側に配置されます。
  別のアプリを起動すると、マルチウィンドウの下側に配置され、上側のアプリと同時に利用することができます。



1 セパレータ

- 画面上端／下端までドラッグすると、下側／上側のアプリが全画面になります。マルチウィンドウは終了します。
- 表示サイズ（☞P.151「ディスプレイ」）を［小］／［デフォルト］に設定している場合は、上／下にドラッグして上下の画面サイズを変更することができます。

2 マルチウィンドウキー

- マルチウィンドウ利用中であることを表します。操作方法は［■］と同様です。

- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。

スグアプ

スマホを振るなどの直感操作で、スグにアプリの起動や電話の操作ができる「スグアプ」の設定を行います。

1 ホーム画面で［⋮⋮］▶［設定］▶［ドコモのサービス／クラウド］▶［スグアプ設定］

2 項目を選ぶ

■ スグアプ：2種類のアプリを設定しておくことで、振るだけでアプリを起動することができます。
また、端末を振ってアプリを起動した画面上に他のアプリアイコンを表示することができます。

- 1回振り：本端末を1回振ることで起動するアプリを設定できます。
- アイコン同時表示（1回振り）：1回振り機能を使用時に同時に画面上に表示するアプリを設定できます。
- 2回振り：本端末を2回振ることで起動するアプリを設定できます。
- アイコン同時表示（2回振り）：2回振り機能を使用時に同時に画面上に表示するアプリを設定できます。
- スグアプ動作抑止：スグアプによるアプリ起動を抑止するアプリを設定できます。

■ スグ電設定：スグ電設定については☞P.60「スグ電設定」

- 次の場合は、スグアプが正しく動作しません。
  - ■ 通話中にさらに発信／着信を行う場合
  - ■ 寝ている体勢の場合
  - ■ 走る、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしている場合

- 1回振りには「d払い」アプリが初期設定されています。
- 画面消灯中、ロック画面、および通話中にはスグアプの機能を利用することができません。
- ディスプレイを表示させたまま端末をかばんやポケットに入れると、まれにモーションが実行されたとみなされ、アプリが起動する場合があります。
- スグアプの機能が利用可能な状態であるときに、[ ]を表示しています。
  - ステータスパネル内から通知詳細情報を確認することができます。
- [スグアプ]とスグ電設定の[発信]は片方の機能しか利用できません。
- スグアプの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 1回振り、2回振りに設定したアプリによってはアイコン同時表示が利用できない場合があります。

スグ電設定

モーションおよび音声キーワードだけで電話の操作ができる「スグ電」の設定を行います。

1 ホーム画面で[ ]▶[設定]▶[ドコモのサービス／クラウド]▶[スグアプ設定]▶[スグ電設定]

- ホーム画面で[ ]▶[ ]▶[設定]▶[通話アカウント]▶[スグ電設定]でもスグ電設定を起動できます。

2 項目を選ぶ

- 応答：端末を耳に当てることで応答できます。
- 切断：モーションや音声で切断できます。
  - モーション：通話中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで切断できます。
  - 音声：通話中に切断キーワードを発したあとに端末を耳から離すことで切断できます。
- 発信：ホーム画面で端末を1回振ってから耳に当てることで、あらかじめ登録した相手に発信できます。
- 消音・拒否：着信中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで消音・拒否できます。「消音」、「拒否」、「拒否してSMS送信」から選択して設定できます。
- ローミング時スグ電無効：海外渡航時にスグ電機能を自動的にOFFにできます。

- 次の場合は、スグ電が正しく動作しません。
  - ハンズフリー通話中
  - イヤホンマイク、ヘッドセット利用中
  - 通話機能を持つBluetooth機器と接続中の場合（切断（音声）、発信（モーション））
  - 通話中にさらに発信／着信を行う場合
  - 寝ている体勢の場合
  - 走る、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしている場合
  - ブックタイプのスマートフォンケースなどでディスプレイを覆っている場合
- 着信中、ディスプレイを表示させたまま端末をかばんやポケットに入れると、まれにモーションが実行されたとみなされ、応答または切断される場合があります。

- 近接センサーは黒いものに反応しにくい特性があります。
  - ■ 応答する際:髪の毛の上から受話口を当てている場合、近接センサーが正常に動作しにくいため、電話に応答できない場合があります。その場合は耳に直接受話口を当ててください。
  - ■ 切断(モーション)/消音・拒否する際:黒い机などの上で端末を裏返すと反応しない(切断(モーション)/消音・拒否されない)場合があります。その場合は机などに直接置かず、1cm程度浮かせるように端末を裏返すと反応(切断(モーション)/消音・拒否)します。
- スグ電の機能が利用可能な状態であるときに、[ ]を表示しています。
  - ステータスパネル内から通知詳細情報を確認することができます。
- スグ電の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

[切断](モーション)について

- モーションが実行されると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
  - ■ 相手が保留中の場合
  - ■ 伝言メモ起動中の場合(応答メッセージ再生中/伝言メモ録音中)
- 切断する際に、端末を下向きに置く動作が速いと反応しない(切断できない)場合があります。その場合は、動作をゆっくり行うと反応(切断)します。
- 端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、切断される場合があります。

[切断](音声)について

- 切断キーワードを発すると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
  - ■ 相手が保留中の場合
  - ■ 相手が伝言メモ起動中の場合(応答メッセージ再生中/伝言メモ録音中)
- [切断](音声)をONにしている状態で通話しているときは、他のマイクを利用するアプリや通話中の音声を利用するアプリ(例:通話録音アプリ)は使用できないことがあります。通話中にご利用になりたい場合は、通話終了後に[切断](音声)の機能をOFFにすることで利用可能になります。
- 伝言メモ、通話音声メモの起動中(応答メッセージの再生中/伝言メモ、通話音声メモの録音中)は、音声での切断ができません。伝言メモ、通話音声メモの録音中に電話に出た場合には、音声での切断が可能になります。
- 「はなして翻訳」を利用した通話の場合は、音声での切断はできません。
- スグ電音声機能の提供には音声認識技術や言語処理技術を用いておりますが、当社はそれらの技術の精度などについて何らの保証をするものではありません。
- 通話時に声量が小さすぎたり、騒音下で通話したり、または、発話のしかたによっては、音声認識ができない場合があります。

[発信]について

- ホーム画面やタッチパネルのロック画面(画面ロックを[スワイプ]に設定している場合のみ)表示中に発信が可能です。
- [スグアプ]とスグ電設定の[発信]は片方の機能しか利用できません。

[消音・拒否]について

- 端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、消音・拒否で設定している機能が実行される場合があります。

[ローミング時スグ電無効]について

- スグ電機能は海外では自動で無効になります。海外でご使用の場合はスグ電設定より、[ローミング時スグ電無効]をOFFにしてからお使いください。

アプリの権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリ／機能をはじめて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

- アプリ／機能によって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。
- アプリによっては、特定の機能をはじめて利用するときに確認画面が表示される場合があります。また、バックグラウンドで起動しているアプリについての確認画面が表示される場合もあります。

例：スケジュールを起動したとき

1 アクセス権限の許可をリクエストする確認画面で[許可]／[許可しない]



- 通常は機能の利用を許可してください。機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。
- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能の設定

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

アプリごとに利用する機能を設定

1. **ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[アプリ]**
2. **[XX個のアプリをすべて表示]▶アプリを選ぶ**
   - [権限を削除して空き容量を増やす]をONにすると、アプリが数か月使用されていない場合に権限が取り消され、アプリの強制停止とキャッシュの削除が行われます。数か月使用されていないアプリの確認については☞P.145「アプリ」
3. **[権限]**
4. **機能を選ぶ**
5. **設定を選ぶ**

機能ごとに利用を許可するアプリを設定

1. **ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[プライバシー]▶[権限マネージャ]**
2. **機能を選ぶ**
3. **アプリを選ぶ**
4. **設定を選ぶ**

■ 他のアプリの上に重ねて表示

アプリ／機能によっては、他のアプリの上に重ねて表示する許可が必要な場合があります。

1. **ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[アプリ]**
2. **[XX個のアプリをすべて表示]▶アプリを選ぶ**
3. **[他のアプリの上に重ねて表示]**
4. **[他のアプリの上に重ねて表示できるようにする]をONにする**

ホーム画面

ホーム切替

利用するホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
  - ■ docomo LIVE UX
    ドコモのスマートフォン向けに使いやすく最適化されたホームアプリです。
  - ■ AQUOS Home
    ホーム画面(デスクトップシート／お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。
  - ■ AQUOSかんたんホーム
    アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。
    - ウィジェット／ショートカットを配置するホーム画面、アプリが表示されるアプリ一覧画面で構成されます。
    - ホーム画面右下の[アプリ一覧]をロングタッチすると、壁紙変更／ウィジェット追加／ホームの設定を行うメニューを利用できます。
    - よく連絡する相手をホーム画面下部の楽ともリンクに登録することができます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ホーム切替]▶ホームアプリを選ぶ

- AQUOS Homeを使用する場合は、ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[AQUOS Home]▶[AQUOS Homeを使ってみる]と操作しても、設定することができます。

- my daizを音声起動できない場合は、ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[Google]▶[Google アプリの設定]▶[検索、アシスタントと音声]▶[音声]▶[Voice Match]から、[Ok Google]をOFFにしてください。

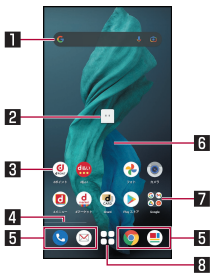
docomo LIVE UX

ドコモが提供するホームアプリです。ホーム画面を直感的にカスタマイズすることができます。
docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で[⊞]▶[⋮]▶[ヘルプ]を参照するか、以下のホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。
すべてのアプリはアプリ一覧に格納されており、アプリアイコン(ショートカット)がホーム画面に配置されます。

- ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上にドット(点)または数字が表示される場合があります。



1 ウィジェット

- ウィジェット(Google™ 検索)を起動できます。
- ウィジェットによってはロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行できます。

2 マチキャラ

- タッチすると知りたいことに対話で応えてくれます。
- お買い上げ時の状態だと、ホーム画面上にマチキャラが表示されません。表示するには、「my daiz」アプリを他のアプリの上に重ねて表示する許可が必要です(☞P.63「他のアプリの上に重ねて表示」)。

3 アプリアイコン(ショートカット)

- タッチすると、アプリを起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。[═]が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

4 インジケータ

- ホーム画面の現在の表示位置を示します。

※画面をフリックするときのみ表示されます。

5 ドック

- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

6 カスタマイズエリア

- アプリアイコン、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

7 フォルダ

- 複数のアプリアイコンなどが格納されています。

8 アプリ一覧ボタン

- すべてのアプリを表示します。アプリを検索、おすすめアプリ(☞P.68「おすすめアプリを利用」)も利用できます。

ホーム画面の管理

■ アプリアイコンなどの移動

1 ホーム画面で移動するアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグ

- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
- 他のアイコンと重なる位置にドラッグ▶[作成する]と操作すると、フォルダを作成できます。

■ アプリアイコンを追加

1 ホーム画面で[⊞]

2 ホーム画面にアイコンを追加したいアプリをロングタッチ

3 [ホーム画面に追加]

- 同じアイコンを複数貼り付けることも可能です。

■ ウィジェットを追加

1 ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ▶[ウィジェット]

2 アプリをタッチ▶ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ

3 貼り付けたい位置までドラッグ

■ アプリアイコンなどをホーム画面から削除

1 ホーム画面で削除するアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ

2 画面上部の[削除]までドラッグ

- アプリアイコンやウィジェットなどをドラッグすると、画面上部に[削除]が表示されます。
- ホーム画面からアプリアイコンを削除しても、アプリ自体はアンインストールされません。

■ アプリのアンインストール

1 ホーム画面でアンインストールするアプリのアイコンをロングタッチ

- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタッチしてからアンインストールするアプリのアイコンをロングタッチします。

2 画面上部の[アンインストール]までドラッグ▶[OK]

- アプリのアイコンをドラッグすると、画面上部に[アンインストール]が表示されます。
  - アプリをアンインストールできない場合、[アンインストール]は表示されません。
- アンインストールすると、アプリ一覧からもアプリが削除されます。

■ フォルダ名の変更

1 ホーム画面でフォルダを選ぶ

2 フォルダ名をタッチ

3 フォルダ名を入力

- キーボードに表示される[ ]をタッチします。

■ ホーム画面の設定

1 ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ▶[ホーム設定]

2 項目を選ぶ

■ 通知ドット:アプリの通知があるときのドット(点)を表示するか設定できます。
- [アプリアイコン上の通知ドット]でON/OFFを設定できます。

■ ホーム画面にアプリのアイコンを追加:新しいアプリをインストールした際に、ホーム画面に自動でアプリアイコンを貼り付けるか、アプリ一覧画面のみに表示するか選択できます。
- デフォルトではインストールしたアプリのアプリアイコンはアプリ一覧画面のみに表示されます。

■ ホーム設定アイコン:ホーム画面に[ホーム設定]のアプリアイコンを表示するか設定できます。

■ 壁紙設定:ホーム画面とロック画面の壁紙を変更できます。
- ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ▶[壁紙]と操作しても、壁紙を変更できます。

■ マチキャラ設定:マチキャラのON/OFFや、キャラ変更などマチキャラに関する設定ができます。
- マチキャラを表示するには、「my daiz」アプリを他のアプリの上に重ねて表示する許可が必要です(☞P.63「他のアプリの上に重ねて表示」)。

■ おすすめアプリ設定:アプリ一覧画面に表示される「あなたにおすすめ」に関する設定ができます。

■ my daiz NOW表示設定:ホーム画面の一番左にあるmy daiz NOWを表示するか設定できます。

■ マイマガジン起動設定:マイマガジンの上フリック起動のON/OFFができます。

■ ホームの使い方:ホーム画面のチュートリアルを確認できます。

■ ヘルプ:ホーム画面の詳しい使いかたを確認できます。

アプリ一覧画面

ホーム画面で[⋯]をタッチすると表示されます。アプリ一覧画面ではアプリを使用した順やインストールした順に一覧で探したり、アプリ名でアプリを検索することができます。また、今のあなたにおすすめのアプリを厳選してみることができます。



1 アプリ検索バー

- タッチすると文字入力でアプリを検索することができます。

2 あなたにおすすめ

- おすすめアプリから、厳選したアプリを最大4つ表示します（☞P.68「おすすめアプリを利用」）。

3 すべてのアプリ

- 端末にインストールされているすべてのアプリが表示されます。タッチするとアプリが起動します。

4 もっと見る

- おすすめアプリの一覧画面へ遷移します（☞P.68「おすすめアプリを利用」）。

5 プルダウン

- アプリ一覧上のすべてのアプリを、つかった順、アプリ名順、インストール順に並べ替えができます。

おすすめアプリを利用

お客様の利用状況に合わせて、アプリやサービスをおすすめします。

1 ホーム画面で[⋯]

- アプリ一覧画面の[あなたにおすすめ]には、おすすめアプリ一覧の抜粋版が表示されています。おすすめアプリをもっと見たい場合は[もっと見る]をタッチすると、おすすめアプリの一覧画面が表示されます。
- はじめて利用するときに[おすすめアプリ]が表示される場合があります。その場合は、[おすすめアプリ]をタッチして、画面の指示に従って操作してください。

2 利用するアプリやサービスを選ぶ

- アプリの紹介画面またはサービスページが表示されます。

- おすすめアプリの一覧画面で[⚙]▶各設定の[●]／[○]をタッチすると、設定をON／OFFに切り替えることができます。

マイマガジン

マイマガジンは、世の中で話題になっているニュース・記事から、お客様一人ひとりの趣味・嗜好に沿った記事、そしてお得なクーポンや、暇つぶしに最適なマンガまでをまとめて閲覧できる、あんしん・あんぜんのニュースアプリです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。表示ジャンルやお知らせの通知、星座や天気の地域など、お好みの設定にカスタマイズすることもできます。

■ 記事の見かた

1 ホーム画面で[ ]

- 初期画面が表示された場合は、[規約に同意して利用を開始]をタッチします。
- ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタッチ

- 記事一覧画面で記事をタッチすると、その記事の詳細を読むことができます。

■ ジャンル追加

1 ホーム画面で[ ]

2 [≡]▶[ジャンル追加]

- 表示されるジャンルの一覧から追加したいジャンルをタッチすることで、記事一覧画面に追加することができます。

■ ジャンル削除・並べ替え

1 ホーム画面で[ ]

2 [≡]▶[ジャンル削除・並べ替え]

- 表示されるジャンルの一覧から、ジャンルの削除・並べ替えをすることができます。

my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や交通情報、グルメ情報などの生活に便利な情報が簡単にチェックできます。

■ 画面の見かた



1 ホーム画面で右にフリック

- 上下スワイプで表示するカードを切り替えることができます。
- 左にフリックするとホーム画面に戻ります。

2 読みたいカードをタッチ

- カードをタッチすると、より詳細な情報が閲覧できます。
- 画面左上に表示されるmy daiz(キャラクター)をタッチすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

■ 表示設定

1 ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ▶[ホーム設定]

2 [my daiz NOW表示設定]

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[⋮]

2 [アプリ情報]

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合には、アプリケーション情報画面に[今すぐアップデート]が表示され、タッチするとdocomo LIVE UXをアップデート できます。

AQUOS Home

AQUOS Homeは、ホーム画面（デスクトップシート／お気に入りトレイ）とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。
ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ／機能のショートカット／ウィジェット、お気に入りトレイにはアプリ／機能のショートカットを登録することができます。アプリ一覧画面にはインストールされているアプリやおすすめのアプリが表示されます。

AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上にスワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。



ホーム画面



アプリ一覧画面

1 ウィジェット
- 時計エモパーウィジェットでは、日付や時刻、天気と合わせて、コメントが表示されます。タッチするとエモパーを起動できます。

2 デスクトップシート
- 左右にフリックするとページを切り替えることができます。

3 フォルダ
- フォルダをタッチ▶フォルダ名を選ぶと、フォルダ名を変更できます。
  フォルダをタッチしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。

4 ページインジケータ
- デスクトップシートの現在の表示位置を表示します。

※画面をフリックするときのみ表示されます。

5 お気に入りトレイ

- お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。

6 マチキャラ

- タッチすると知りたいことに対話で応えてくれます。
- お買い上げ時の状態だと、ホーム画面上にマチキャラが表示されません。表示するには、「my daiz」アプリを他のアプリの上に重ねて表示する許可が必要です（☞P.63「他のアプリの上に重ねて表示」）。

7 アプリ

8 Google 検索バー

- Google 検索やGoogle Lens™を起動できます。

9 アプリを検索

- インストールされているアプリの検索などができます。［他のアプリを検索］をタッチすると、Google Playで検索できます（☞P.117「Play ストア」）。

10 おすすめアプリ

- 本端末の使用状況などに応じて、おすすめのアプリを表示します。

ホーム画面の管理

■ アプリ／ウィジェット／フォルダの移動

1 ホーム画面／アプリ一覧画面でアプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

- 各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
- 他のアイコンと重なる位置にドラッグすると、フォルダを作成できます。
- ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダを［削除］までドラッグするとホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリを［アンインストール］までドラッグするとアンインストールできます。

- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- アプリ一覧画面のアプリをロングタッチしてドラッグすると、画面上部に［ホーム画面に追加］が表示されます。［ホーム画面に追加］までドラッグして指を離すと、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットの追加

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ▶［ウィジェット］

2 アプリをタッチ▶ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ

- ホーム画面が表示されます。

3 追加する位置にドラッグして、指を離す

機能のショートカットの利用

1 ホーム画面／アプリ一覧画面でアプリをロングタッチして、指を離す

2 機能のショートカットを選ぶ

- 利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
- 機能のショートカットをロングタッチ▶登録する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙の設定

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ▶[壁紙]

2 アプリを選ぶ

- [ホームフォトシャッフル]をONに設定すると、ホーム画面の壁紙がランダムに切り替わるよう設定できます（☞P.155「ロック・ホームフォトシャッフル」）。

3 設定する壁紙を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

ホーム画面の設定

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ▶[ホームの設定]

2 項目を選ぶ

- 通知ドット：アプリの通知について設定します。
  - [アプリアイコン上の通知ドット]をONにすると、アプリに通知がある場合にアプリのアイコンの右上に通知ドットが表示されます。
- 通知ドットに件数表示：通知ドットに件数を表示するか設定します。
- ホーム画面にアプリのアイコンを追加：新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するか設定します。
- Google アプリの表示：ホーム画面の一番左のページを右にフリックしたときに、「Google」アプリを表示するか設定します。
- Google検索の表示：お気に入りトレイの下にGoogle 検索バーを表示するか設定します。
- おすすめのアプリを表示：アプリ一覧画面などにおすすめアプリを表示するか設定します。
- ホーム画面の回転を許可：AQUOS Homeを横表示でも利用するか設定します。

アプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。

アイコン	アプリ	概要
	＋メッセージ	携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます(☞P.93「＋メッセージ」)。
	アシスタント	Google アシスタントを起動します。
	あんしんセキュリティ	無料で使えるウイルス対策機能に加え、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策や、ダークウェブモニタリングをご利用いただけるアプリです。
	エモパー	あらかじめ登録したお客様の情報やお客様の日常の行動に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします(☞P.128「エモパー」)。

アイコン	アプリ	概要
	おサイフケータイ	複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます(☞P.120「おサイフケータイ対応サービス」の利用」)。
	おすすめアプリ※1	ドコモがおすすめするアプリが表示されます(☞P.68「おすすめアプリを利用」)。
	カメラ	カメラで撮影します(☞P.104「カメラについて」)。
	からだメイト	歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます(☞P.132「からだメイト」)。
	カレンダー	スケジュールを管理します。
	災害用キット	「災害用伝言板」や緊急速報「エリアメール」「どこでも災害・避難情報」「復旧エリアマップ」をご利用いただくためのアプリです(☞P.99「緊急速報「エリアメール」」)。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています(☞P.126「スケジュール」)。

アイコン	アプリ	概要
	スマホ診断 online	「電池がすぐなくなる」「おサイフケータイが使えない」など、故障かな？と思ったときに、いつでもどこでも簡単にスマホやタブレットの故障有無を診断できるアプリです。診断結果にもとづいた改善提案やお手続き方法もご案内します。
	設定	端末の各種設定をします（☞P.137「設定メニュー」）。
	通話音声・伝言メモ	通話音声・伝言メモの設定をします（☞P.86「通話音声・伝言メモ」）。
	データコピー	機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです（☞P.134「ドコモデータコピー」）。
	データ保管 BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
	電卓	電卓を利用します。
	電話	電話をかけたり、受けたりすることができます。海外に電話をかけるときも使用します。通話履歴を表示して発着信を確認したり、履歴から相手に発信することもできます（☞P.79「電話／電話帳」）。

アイコン	アプリ	概要
	時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチなどを利用します（☞P.124「時計」）。
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます（☞P.90「電話帳」）。
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます（☞P.93「ドコモメール」）。
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	ニュース	Google ニュース™は、あなたの関心に合わせて、世界中の出来事を整理してお届けするスマートなニュースアプリです。

アイコン	アプリ	概要
	はなして翻訳	お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。対面翻訳・電話翻訳・うつして翻訳・定型文機能を利用し言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。
	フォト	静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます(☞P.113「フォト」)。
	マイマガジン	マイマガジンは、日々新しい情報や驚きに触れあえる、あんしん・あんぜんの無料ニュースアプリです(☞P.69「マイマガジン」)。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます(☞P.123「マップ」)。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています(☞P.128「メモ」)。
	レンズ	カメラや写真を使って目の前にあるものを検索したり、作業を効率化したり、周囲のものについて調べたりすることができます。
	Amazon ショッピング	Amazonでよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。

アイコン	アプリ	概要
	Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます(☞P.100「Chrome」)。
	d払い	ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、簡単・便利・おトクにお買い物をすることができます。
	dフォト	スマホやパソコンにある写真・動画を「無料で5GBまで」ドコモのクラウドにお預かりするサービスです。撮影した写真をフォトブックにする「プリントサービス機能」のご利用には、別途お申し込みとdフォト プリントアプリのインストールが必要です。
	dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。
	dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトなどさまざまなサービスを提供しています(☞P.117「dマーケット」)。
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます(☞P.117「dメニュー」)。

アイコン	アプリ	概要
	dcard	dカードのご利用明細、たまったdポイント、おトクな情報のエントリーを簡単に確認できるアプリです。また、ドコモが提供する電子マネー「iD」の設定ができます。
	Disney DX	Disney DX（ディズニーDX）は、お得な特典や、ディズニープラスをもっと楽しむための豊富なコンテンツがお楽しみいただけるアプリです。 ドコモからディズニープラスに入会いただくことですべての機能のご利用が可能です。
	Duo	ビデオ通話を利用します。
	Facebook	Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。
	Files	本体メモリやmicroSDカードの画像・動画・オーディオ・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができるアプリです。
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます（☞P.99「Gmail™」）。
	Google	各種情報を検索できます。

アイコン	アプリ	概要
	Google One	Google One™はストレージを拡張するシンプルなプランです。Googleを有効に活用していただける特典も含まれています。
	Google Pay	Google Pay™では、買い物に必要な情報をスマートフォンに保存しておくことができます。
	Google TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
	Home	Google Home™は、さまざまな対応スマートホームデバイス（照明、カメラ、サーモスタットなど）の設定や管理、操作をすることができます。
	iDアプリ	ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます（☞P.121「iDアプリ」）。
	Kindle	Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。
	My AQUOS	AQUOSスマートフォン／タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリです。

アイコン	アプリ	概要
	my daiz	話しかけるだけで簡単に情報検索を行ったり、あなたに必要な情報を最適なタイミングでお届けするサービスです。天気や乗換えの他に、レシピ検索や宅配調整などの提携サービスを追加でき、便利にご利用いただくことができます。
	Photoshop Express	すばやくパワフルかつ簡単に写真を編集したりコラージュを作成したりできる無料のモバイルアプリケーションです。
	Play ストア	Google Playを利用します(☞P.117「Play ストア」)。
	Podcasts	Google ポッドキャストは、Android™ ユーザー向けの新しいポッドキャストプレーヤーです。
	radiko+FM	今いるエリアで放送しているラジオ番組をインターネット経由で聴くことができます。また、市販のイヤホンを本端末のイヤホンマイク端子に接続することで、FMラジオ放送を受信することもできます(☞P.122「radiko+FM」)。
	Smart home HUB※2	Smart home HUBを利用すると、スマートフォンで家の中や外出先からシャープ製のスマート家電を簡単に操作することができます。

アイコン	アプリ	概要
	YouTube	YouTube™は無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。
	YT Music※3	音楽を再生します。

※1　ホームアプリがdocomo LIVE UX以外の場合に表示されます。

※2　操作できるスマート家電について詳しくは、次のサイトをご確認ください。
https://k-tai.sharp.co.jp/support/smarthomehub/fitlist.html

※3　本端末はハイレゾオーディオの再生に対応しています。ハイレゾ音源を再生するには、ハイレゾに対応した市販のヘッドセットやスピーカーが必要です(イヤホンマイク端子からの出力に対応しています)。

- アプリによっては、初回起動時にダウンロードが必要な場合があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- インストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlay ストア(☞P.117「Play ストア」)などから再度ダウンロードできる場合があります。次のサイトをご確認ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/
- [なめらかハイスピード表示]をONにしている場合、アプリをなめらかに表示することができます(☞P.151「ディスプレイ」)。
- 本製品はQualcomm® aptX™ HD audio、Qualcomm aptX Adaptive AudioおよびLDAC™に対応しています。

電話／電話帳

電話について

電話や電話帳を利用したり、通話や通話音声・伝言メモ、着信時の動作などについて設定できます。

- 本端末の「電話」アプリは、お使いいただいている中で品質改善や機能の追加など様々なアップデートを行うことがあります。
  アップデートされた場合の変更点や機能について詳しくは、ホーム画面で[ ]▶[⋮]▶[ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。

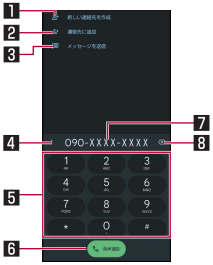
電話をかける

1 ホーム画面で[ ]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、[⋮]▶[設定]▶[通話アカウント]▶[発信先]で発信時に使用するSIMを設定できます。

2 [ ]▶電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知に設定して発信できます。



1 新しい連絡先を作成
- 入力した電話番号を電話帳に新規登録します。

2 連絡先に追加
- 入力した電話番号を電話帳に追加登録します。

3 メッセージを送信
- 入力した電話番号を宛先にしてSMS（＋メッセージ）を作成します。

4 メニュー
- 2秒間の停止や待機を追加できます。

5 キーパッド

6 発信
- 電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

7 電話番号入力欄

8 削除

- 最後に入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。電話番号入力欄をタッチしてカーソルを表示した場合は、カーソル左側の数字を1桁削除します。

3 [音声通話]

4 通話が終了したら[ ]

- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが正常に動作しないことがあります。画面が点灯したままとなり、誤って画面に触れることによって、通話が切れる場合があります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話を高品質で利用することができます。
- VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種であること
  - VoLTE利用可能エリア内であること
  - 優先ネットワークタイプが[5G／4G／3G／GSM]または[4G／3G／GSM]であること(☞P.192「優先ネットワークタイプ」)

VoLTE(HD+)について

- VoLTE(HD+)は、通話の音声をVoLTEよりさらに高音質で利用することができます。
- VoLTE(HD+)のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、本端末と通話相手の端末がVoLTE(HD+)対応機種である必要があります。

プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(,)／待機(;)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号と追加番号を同時に発信できます。

■ 2秒間の停止を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面で[ ]▶[ ]

2 電話番号を入力▶[ ]▶[2秒間の停止を追加]

3 送信する番号を入力▶[音声通話]

■ 待機を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[はい]をタッチすると追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面で[ ]▶[ ]

2 電話番号を入力▶[ ]▶[待機を追加]

3 送信する番号を入力▶[音声通話]

4 通話中に[はい]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けていない、かつeSIMを設定していない場合は、PINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 着信拒否の設定を行っている場合に緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信すると、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否の設定は自動的に解除されます。緊急通報番号への発信後、［ブロック中の電話番号］から解除された着信拒否の設定を元に戻すことができます（☞P.88「着信拒否の設定」）。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

国際電話(WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。
WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

[通話方法]

- 一般電話へかける場合:010▶国番号▶地域番号(市外局番)▶相手先電話番号▶[音声通話]
- 携帯電話へかける場合:010▶国番号▶相手先携帯電話番号▶[音声通話]

- 相手先の携帯電話番号、地域番号(市外局番)が「0」から始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域を除く)。
- 「010」の代わりに「+」や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

電話を受ける

※スグ電を利用すると、電話がかかってきたときに、端末を耳に当てるだけで電話を受けることができます(☞P.60「スグ電設定」)。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴る

2 電話を受ける



1 クイック返信

- タッチすると、着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信します。

2 応答

- 上にスワイプすると、電話を受けます。
- 下にスワイプすると、着信を拒否します。

3 メニュー

- 利用できる機能(メニュー)を表示します。

3 通話が終了したら[ ]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、着信が経由しているSIMが表示されます。

■ ディスプレイを表示中に電話を受ける

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってくると、着信通知が表示されます。通知を利用して電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると、画面上部に着信通知が表示される

2 [応答する]

- 着信通知をタッチすると、着信画面を表示できます。

■ 音声通話に伝言メモで応答

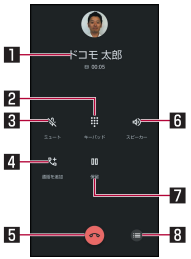
- 録音した伝言メモの再生方法については☞P.86「通話音声・伝言メモ」

1 音声通話がかかってくると、着信音が鳴る

2 音声通話着信画面で[ ]▶[伝言メモ]

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



1 相手の名前や電話番号

2 キーパッド

- プッシュ信号の入力ができます。

3 ミュート

- 通話中の電話をミュート／ミュート解除にします。

4 通話を追加／切り替え

- 通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。
- 通話を追加後、[切り替え]をタッチすると、通話相手を切り替えることができます。
- 通話を追加するには、キャッチホン契約が必要です。

5 終了

- 通話を終了します。

6 スピーカー／音声

- ハンズフリーで通話ができます。
- Bluetooth機器を接続している場合は音声の出力先を設定します。

7 保留

- 通話を保留します。保留を解除するには、もう一度タッチします。
- 保留をご利用いただく場合には、キャッチホン契約が必要です。

8 メニュー

- 利用できる機能（メニュー）を表示します。

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、通話中の画面に利用しているSIMが表示されます。
- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
  - 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
  - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
  - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。
- [通話を追加]をタッチして、通話を追加後に表示される[統合]はご利用になれません。

■ 通話音量調節

1 通話中に＋(+)／－(−)

■ 通話音声メモ

音声通話中に通話音声メモを録音します。

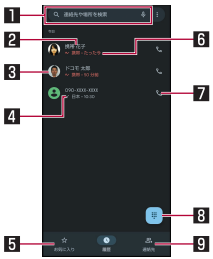
- 録音した通話音声メモの再生方法については☞P.86「通話音声・伝言メモ」

1 通話中に[≡]▶[通話音声メモ]

2 [停止]

通話履歴

1 ホーム画面で[📞]▶[履歴]



1 検索欄

- 連絡先や周辺のスポットを検索できます。
  - [🎤]をタッチすると、音声検索もできます。

2 相手の名前／電話番号
- タッチすると、電話帳への登録やメッセージの送信、通話履歴の詳細の確認などを行うことができます。
- ロングタッチすると、電話番号のコピーや電話番号を編集して発信などができます（☞P.85「通話履歴の利用」）。

3 電話帳に登録している画像
- タッチすると電話帳に登録している内容が表示されます。

4 発着信状態アイコン
- 発信：[↗]
- 着信：[↙]
- 不在着信／着信の拒否：[↙]

5 お気に入り
- タッチするとお気に入りの連絡先を表示します。

6 発着信日時

7 発信アイコン
- タッチすると発信します。

8 ダイヤルアイコン
- ダイヤル画面を表示します。

9 連絡先
- タッチすると連絡先一覧画面を表示します。

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、各履歴に使用したSIMが表示されます。

■ 通話履歴の詳細表示

すべての通話履歴一覧と不在着信の通話履歴一覧を切り替えて確認できます。また、通話履歴をすべて削除できます。

1 ホーム画面で[📞]▶[⋮]▶[通話履歴]

2 [すべて]／[不在着信]
- [⋮]▶[通話履歴を削除]▶[OK]と操作すると、通話履歴をすべて削除できます。

通話履歴の利用

1 ホーム画面で[📞]▶[履歴]

2 履歴（相手の名前／電話番号）をロングタッチ

3 項目を選ぶ
- ■ 電話番号をコピー：電話番号をコピーします。
- ■ 発信前に電話番号を編集：ダイヤル画面に電話番号が入力されます。番号を編集して発信などが行えます。
- ■ ブロックして迷惑電話として報告：設定した電話番号からの着信とメッセージを拒否します。また、迷惑電話として報告することもできます。
  - 設定した電話番号は[ブロック中の電話番号]で確認できます。詳しくは、「着信拒否の設定」（☞P.88）をご参照ください。
- ■ 削除：履歴を削除します。

通話音声・伝言メモ

通話音声・伝言メモの再生や設定ができます。伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに端末が応答して伝言を預かることができます。

- 保存可能件数や1件あたりの最大録音可能時間については☞P.216「主な仕様」

1 ホーム画面で[ ]▶[ ]▶[設定]▶[通話アカウント]▶[通話音声・伝言メモ]

- ホーム画面で[ ]▶[通話音声・伝言メモ]と操作しても、通話音声・伝言メモを利用できます。

2 [伝言メモ]／[通話音声メモ]

- 伝言メモ／通話音声メモリスト画面が表示されます。
  - 伝言メモ／通話音声メモをロングタッチすると、件名の編集や保護／解除、音声ファイルのエクスポート、削除ができます。

3 伝言メモ／通話音声メモを選ぶ

- 伝言メモ／通話音声メモが再生されます。



伝言メモリスト画面

1 シークバー
- ドラッグすると再生位置を変更できます。

2 再生／一時停止

3 伝言メモの状態を示すアイコン
- 未再生:[ ]
- 再生済み:[ ]
- 保護:[ ]／[ ]

4 スピーカーON／OFF

5 相手の名前／電話番号／非通知設定の着信

6 伝言メモが録音された日時

通話音声・伝言メモの設定

1 ホーム画面で[ ]▶[⋮]▶[設定]▶[通話アカウント]▶[通話音声・伝言メモ]

- ホーム画面で[ ]▶[通話音声・伝言メモ]と操作しても、通話音声・伝言メモを利用できます。

2 [設定]

3 項目を選ぶ

- 伝言メモ設定:伝言メモの動作について設定します。
- 空き容量確認:通話音声・伝言メモの空き容量や残り録音可能件数を確認できます。
- 応答メッセージ確認:伝言メモの応答メッセージを確認します。
- 応答時間設定:伝言メモの応答時間について設定します。

- 保存した伝言メモが保存可能件数を超えた場合は、再生済みの古い伝言メモから順に削除されます。伝言メモがすべて未再生のときは電話がかかってきても伝言メモで応答しません。
- 保存した通話音声メモが保存可能件数を超えた場合は、古い通話音声メモから順に削除されます。

通話設定／その他

留守番電話や着信拒否など、通話について設定します。

1 ホーム画面で[ ]

2 [⋮]▶[設定]

3 項目を選ぶ

- 発着信情報 ／ 迷惑電話:連絡先を登録していない相手の名前や会社名を表示したり、迷惑電話をブロックしたりできます。
- ダイヤル アシスト:ダイヤルアシストについては☞P.197「ダイヤルアシスト」
- ブロック中の電話番号:設定した電話番号からの着信とメッセージを拒否します。ブロック中の電話番号について詳しくは☞P.88「着信拒否の設定」
- 通話アカウント:通話アカウントについては☞P.88「通話アカウント」
- 表示オプション:「電話」アプリのモードを設定します。
- 周辺のスポット:周辺のスポットの検索について設定します。
- クイック返信:クイック返信に使用する文章を編集します。
- 音とバイブレーション:着信時の音やバイブレータなどについて設定します。
- 留守番電話:留守番電話について設定します。
- 発信者番号の通知:着信時の発信者の名前と電話番号の読み上げについて設定します。
- ふせるだけでサイレント モード:本端末の画面を下にして平らな場所に置くことで、着信通知をオフできるようにするか設定します。

着信拒否の設定

1 ホーム画面で[ ]

2 [⋮]▶[設定]▶[ブロック中の電話番号]

3 項目を選ぶ

- 登録外着信拒否:電話帳に登録されていない相手からの着信を受けないように設定します。
- 非通知着信拒否:電話番号が通知されない相手からの着信を受けないように設定します。
- 公衆電話着信拒否:公衆電話からの着信を受けないように設定します。
- 通知不可能着信拒否:電話番号の通知が不可能な相手からの着信を受けないように設定します。
- 番号を追加:設定した電話番号からの着信とSMSを拒否します。タッチすると、着信を拒否する番号を登録できます。
  - 登録済みの電話番号の[ ]▶[解除]と操作すると、登録済みの電話番号を解除できます。

通話アカウント

1 ホーム画面で[ ]

2 [⋮]▶[設定]▶[通話アカウント]

- 画面上部に利用中のSIMが表示されます。

3 項目を選ぶ

- 発信先:nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、発信時に使用するSIMを設定します。
- 通話音声・伝言メモ:通話音声・伝言メモについては☞P.86「通話音声・伝言メモ」
- スグ電設定:スグ電設定については☞P.60「スグ電設定」
- オフィスリンク設定:オフィスリンクの保留転送、プレフィックスに関する設定を行います。

[オフィスリンク設定]について

- オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

ネットワークサービス

ネットワークサービスや国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

● 海外設定については☞P.196「国際ローミングの設定」

1 ホーム画面で[ ]

2 [⋮]▶[設定]▶[通話アカウント]▶SIMを選ぶ

3 [ネットワークサービス・海外設定]

● 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

4 [ネットワークサービス]

5 項目を選ぶ

■ 留守番電話サービス：電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
■ 転送でんわサービス：電話を転送するサービスです。
■ キャッチホン：通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
■ 発信者番号通知：電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号を表示させることができます。
■ 迷惑電話ストップサービス：いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
■ 番号通知お願いサービス：電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
■ 着信通知：着信の情報をお知らせします。
■ 英語ガイダンス：各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。
■ 遠隔操作設定：留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
■ 公共モード（電源OFF）設定：電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

電話帳

ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。

電話帳の登録

1 ホーム画面で[▫▫]▶[ドコモ電話帳]

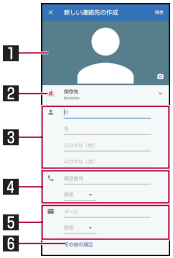
- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]／[利用しない]を選択してください。

2 [＋]

- 新しい連絡先のデフォルトアカウント選択画面が表示された場合は、デフォルトで設定されるアカウントを選択してください。
  - デフォルトで設定されるアカウントは[新しい連絡先のデフォルト アカウント]で変更することができます（☞P.92「電話帳を設定」）。

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。



1 画像
- 発着信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

2 アカウント
- 連絡先を登録するアカウントです。
- タッチして登録するアカウントを選択してください。

3 名前

4 電話番号

5 メールアドレス

6 その他の項目
- 住所や誕生日などの情報を登録します。

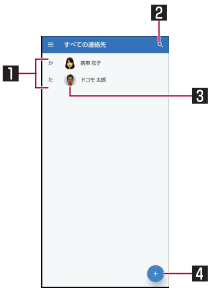
4 [保存]

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

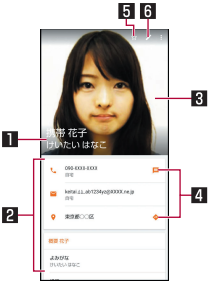
1 ホーム画面で[⋯]▶[ドコモ電話帳]

2 名前を選ぶ



1 連絡先
2 検索アイコン
3 画像
4 新規作成アイコン

3 登録情報を確認／利用する



1 名前
2 登録内容
- 登録内容を確認／利用できます。

3 画像
4 アクションアイコン
- [✉]：選択した電話番号を宛先としてSMS（＋メッセージ）を作成します。
- [➡]：現在地から選択した住所までの経路情報を表示します。

5 お気に入り
- お気に入りに設定した連絡先は、電話帳の上部に表示されます。

6 編集

■ **表示するラベルやアカウントを選択**

1 ホーム画面で[▦]▶[ドコモ電話帳]

2 [☰]

3 ラベルやアカウントを選ぶ

- ラベルの作成:[ラベルを作成]▶アカウントを選ぶ▶名前を入力▶[OK]

■ **連絡先の設定**

1 ホーム画面で[▦]▶[ドコモ電話帳]

2 名前を選ぶ▶[⋮]

3 項目を選ぶ

- 統合:複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめます。
- 削除:連絡先を削除します。
- 共有:連絡先のデータを別の端末に送信したり、クラウド上に保存したりできます。
- ショートカットを作成:ホーム画面に連絡先のショートカットを作成します。
- 着信音を設定:着信音を設定します。

電話帳を設定

1 ホーム画面で[▦]▶[ドコモ電話帳]

2 [☰]▶[設定]

3 項目を選ぶ

- ユーザー情報:ユーザー情報を入力します。
- クラウドメニュー:クラウドとの同期について、操作や設定を行います。
- dアカウント設定:ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。
- 海外利用設定:クラウドとの同期や設定など、通信を伴う機能を海外でも利用するか設定します。
- 利用状況レポート設定:ドコモ電話帳の機能向上のために、アプリ利用状況を収集して情報送信するか設定します。
  - クラウドの利用開始と連動して[ON]になります。情報送信しない場合は、[OFF]に設定してください。
- アカウント:アカウントについては☞P.46「Googleなどのアカウントの設定を行う」
- 新しい連絡先のデフォルト アカウント:連絡先を登録する際に、デフォルトで設定されるアカウントを選択します。
- 表示する連絡先:電話帳に表示する連絡先について設定します。
- フリガナ(名前):連絡先を登録する際の、フリガナ欄の表示について設定します。
- インポート:連絡先データを読み込みます。
- エクスポート:連絡先データを書き出します。書き出したデータを共有することができます。
- 番号指定拒否:着信拒否について設定します。着信拒否の詳細については☞P.88「着信拒否の設定」

メール／ウェブブラウザ

ドコモメールや＋メッセージ、Gmailなどを利用して、メッセージを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
  https://www.docomo.ne.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で[✉]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

＋メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

- ＋メッセージを利用していない相手とは、＋メッセージアプリでショートメッセージサービス（SMS）での送受信をすることができます。
  また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。
- ＋メッセージの詳細については、ホーム画面で[＋メッセージ]▶[マイページ]▶[ヘルプ]▶[使い方ガイド]を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。
  https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

- 画面下部のメニューより[連絡先]をタッチすると連絡先一覧画面が、[メッセージ]をタッチするとメッセージ一覧画面が表示されます。



連絡先一覧画面



メッセージ一覧画面

1 切替タブ

- タッチすることで、すべての連絡先を表示するか、＋メッセージの利用者([ ]のアイコンが表示されている連絡先)のみを表示するか、切り替えることができます。

2 マイプロフィール

- お客様の連絡先が表示されています。タッチすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

3 公式アカウントを探す

- タッチすると公式アカウントストアが表示されます。

4 お気に入りの連絡先

- お気に入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上段、[公式アカウントを探す]の下に表示されます。

5

- ＋メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプ等をやりとりしたりすることができます。

6 連絡先

- タッチすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

7

- タッチすることで連絡先を追加できます。

8 プロフィール画像

- 相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

9 メッセージ

- タッチするとメッセージ画面を表示することができます。

10 公式アカウント

- 企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角( )で表示されます。

11

- ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。

12

- サブメニューを表示します。
  - [すべて既読]:未読メッセージをすべて既読にします。
  - [メッセージの並べ替え]:メッセージの並べ替えを行います。

13

- 新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

メッセージを送信する

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]をタッチ▶[⊕]▶[新しいメッセージ]／[新しいグループメッセージ]

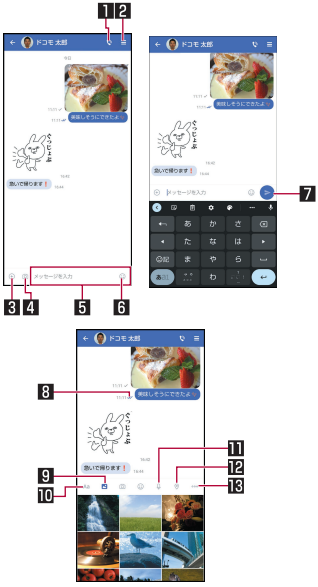
- グループメッセージとは、＋メッセージサービス利用者(連絡先に[👥]マークがついている人)複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選ぶ

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、[名前や電話番号を入力]をタッチし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、[OK]をタッチしてください。

4 メッセージ入力欄をタッチして文字を入力▶[➤]

- 宛先が＋メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。



1
- 電話アプリが起動し、発信できます。

2
- サブメニューを表示します。
  - 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。

3
- 写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。
  - シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。

4
- タッチするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。

5 メッセージ入力欄
- メッセージを入力することができます。

6
- スタンプ選択画面に切り替えます。

7
- 入力したメッセージを送信します。

8 メッセージ配信状態
- メッセージの配信状態を表示します。
  - [✓✓]：相手がメッセージを閲覧済み
    送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。
  - [✓]：相手が端末にメッセージを受信済み
  - [(アイコン表示なし)]：サーバにメッセージを送信済み
  - [✗]：メッセージ送信に失敗

9
- 画像選択画面に切り替えます。

10 Aa
- テキスト入力画面に切り替えます。

11
- 音声録音画面に切り替えます。

12
- 地図画面に切り替えます。

13
- 連絡先／スケッチ／ファイル共有が選択できます。

ショートメッセージサービス(SMS)についてのお知らせ
- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「#」または「★」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184／186を付与した場合はSMSを送信できません。

＋メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより＋メッセージアプリをご利用いただくには、＋メッセージアプリにて海外ローミング時の＋メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります（初期設定は「オフ」に設定されています）。
  また、端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で＋メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには＋メッセージアプリを起動し、＋メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]をタッチ▶読みたいメッセージのスレッドを選ぶ

- メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」（☞P.95）に記載している画面の説明をご参照ください。

メッセージを転送する

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]をタッチ▶スレッドを選ぶ

3 転送するメッセージをロングタッチ▶[転送]

4 宛先を選び、メッセージを入力▶[▷]

メッセージを削除する

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]をタッチ▶スレッドを選ぶ

3 削除するメッセージをロングタッチ▶[削除]▶[削除]

- 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。
  なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
- 画像選択時等、[削除]が表示されない場合があります。その場合は、[⋮]▶[削除]▶[削除]の順に操作ください。

スレッドを削除する

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]をタッチ▶削除するスレッドをロングタッチ

3 [削除]▶[削除]

- グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

＋メッセージの設定を変更する

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[マイページ]をタッチ▶[設定]

3 項目を選ぶ

- メッセージ:メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
- 公式アカウント:公式アカウントの通知音設定ができます。
- 写真や動画:送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
- テーマカラー・背景:テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
- 通知:通知に関する設定ができます。
- プライバシー:パスコードやブロックなどが設定できます。
- その他:[ユーザー情報引き継ぎ]や[＋メッセージサービスの初期化]などができます。

公式アカウント機能を利用する

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[公式アカウント]をタッチ

3 「公式アカウント」画面にて利用したいアカウントをタッチ

4 [利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します]のチェックボックスをタッチ

5 [利用する]

Gmail™

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Gmailについて詳しくは、Gmail画面で[≡]▶[ヘルプとフィードバック]と操作して、ヘルプを参照してください。

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ▶[Gmail]

2 [作成]

3 宛先を入力

- Cc／Bcc入力欄の追加：宛先入力欄の[∨]をタッチ

4 件名、本文を入力

- ファイルの添付：[📎]▶ファイルの添付方法を選ぶ▶添付するファイルを選ぶ

5 [▷]

メールの表示

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ▶[Gmail]

2 メールを確認する

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェアアップデート中
  - PINコード入力画面表示中
  - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

■ **受信したエリアメールをあとで確認する**

1 **ホーム画面で[⋯]▶[災害用キット]**

2 **[緊急速報「エリアメール」]▶[エリアメール]**

3 **メールを選ぶ**

■ **エリアメールを削除する**

- 削除したエリアメールは元には戻せません。

1 **ホーム画面で[⋯]▶[災害用キット]**

2 **[緊急速報「エリアメール」]▶[エリアメール]**

3 **メールをロングタッチ**

4 **[削除]▶[削除]**

Chrome

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

サイトの表示

1 **ホーム画面で[Chrome]**

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ **サイトの検索**

1 **URL入力欄をタッチ**



2 **キーワードを入力▶キーワードを選ぶ**

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して[→]でも検索できます。
- ページの再読み込み：Chrome画面で[⋮]▶[↻]

■ **新しいタブを開く**

1 **Chrome画面で[⋮]▶[新しいタブ]**

■ タブの切替

1 Chrome画面で[2]

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

2 タブを選ぶ

■ タブを閉じる

1 Chrome画面で[2]▶[×]

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。
- タブを左右にフリックしてもタブを閉じることができます。

■ タブをグループ化

- 複数のタブを開いている場合に利用できます。

1 Chrome画面で[2]

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

2 [⋮]▶[タブをグループ化]

3 タブを選ぶ▶[グループ化]

■ シークレット タブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で[⋮]▶[新しいシークレット タブ]

- シークレット タブで表示中はURL入力欄に[🕵]が表示されます。

2 URL入力欄をタッチ▶キーワードを入力▶[→]

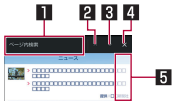
- シークレット タブを閉じる:Chrome画面で[1]▶[×]

- シークレット タブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません(☞P.103「履歴からのサイト表示」)。また、シークレットタブをすべて閉じると、Cookieなどの記録も削除されます。シークレットタブでもファイルのダウンロードやブックマークの登録は行えます。

■ ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[⋮]▶[ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄
- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー
- タッチした検索結果に移動できます。

■ 文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ
- コピー範囲の変更:[ ]/[ ]をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク/画像をロングタッチ▶利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[⋮]▶[設定]

2 項目を選ぶ
- 同期を有効にする:Googleアカウント でChromeにログインします。同じアカウント でChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- Google のサービス:Googleサービスを設定します。
- 検索エンジン:URL入力欄から検索するときに利用する検索エンジンを設定します。
- パスワード:パスワードの保存について設定します。
- お支払い方法:フォームに自動入力するお支払い方法について設定します。
- 住所やその他の情報:フォームに自動入力する住所やその他の情報について設定します。
- プライバシーとセキュリティ:利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- 安全確認:Chromeのバージョンや保護機能の設定状況などを確認できます。
- 通知:Chromeからの通知について設定します。
- テーマ:Chromeのテーマを設定します。
- トップページ:トップページについて設定します。

- ユーザー補助機能:文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- サイトの設定:サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- 言語:サイトを表示する言語を設定します。表示可能な場合、設定した言語で表示できます。
- ライトモード:データ使用量を抑えるようにするか設定します。
- ダウンロード:ファイルや記事のダウンロードについて設定します。
- Chrome について:Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

1 Chrome画面で[⋮]▶[☆]

■ ブックマークからのサイト表示

1 Chrome画面で[⋮]▶[ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

1 Chrome画面で[⋮]▶[履歴]

2 履歴を選ぶ

カメラ／フォト

カメラについて

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

- カメラの有効画素数や記録ファイル形式、ズームの最大倍率などについては☞P.216「主な仕様」

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、自動終了します。
- 電池残量が少ないときは、動画を撮影できません。また、動画の撮影中に電池残量が少なくなったときは、自動的に撮影を終了します。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なるときがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりするときがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- カメラの設定や撮影環境によっては、本端末の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- microSDカードへ保存中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- 起動中に約3分間何も操作しないと自動的に終了します。
  - ［省エネファインダー］がONの場合、一定時間何も操作しないと自動的に待機画面になります。省エネファインダーについては☞P.112「静止画撮影／動画撮影の共通設定」
- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影サイズ

設定できる撮影サイズは次のとおりです。

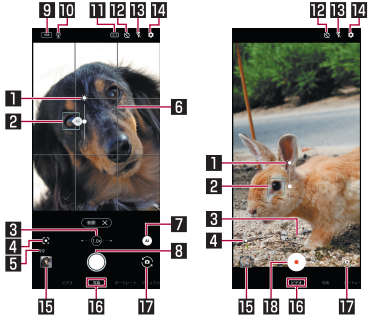
静止画撮影

標準カメラ	16:9	8.3M（4K）
	4:3	11.8M
	1:1	8.9M
インカメラ	16:9	2.3M
	4:3	12.3M、3M
	1:1	2.3M

動画撮影

標準カメラ	16:9	4K、フルHD
	4:3	1.6M
	1:1	1.2M
インカメラ	16:9	フルHD
	4:3	1.6M
	1:1	1.2M

撮影画面の見かた



写真（静止画）撮影画面　ビデオ（動画）撮影画面

1 明るさ調整バー

- 画面をタッチすると一定時間表示されます。調整バーを上下にスライドして、明るさを調整することができます。

2 フォーカスマーク

- 被写体をタッチすると一定時間表示されます。フォーカスが合っているときは、青色で表示されます。
  - 撮影モードによっては、[AE]をドラッグした箇所に合わせて、露出を自動で調整できます。
- 被写体をロングタッチすると、フォーカスをロックできます。フォーカスマーク以外をタッチすると、ロックは解除されます。
- 撮影モードによっては、認識した被写体の顔などに合わせて自動で表示されます。

3 ズーム倍率

- 左端／中央／右端の白丸をタッチすることで、ズーム倍率を切り替えることができます。
- ズーム倍率をタッチすると、ズーム倍率の調整バーが表示されます。調整バーをタッチしたり左右にスライドしたりすることで、倍率を調整できます。
  - 撮影画面をピンチアウト／ピンチインしても、ズーム倍率を調整できます。

4 Google Lens

- タッチすると、Google Lensを起動します。詳しくは、初回起動時に表示される内容をご確認ください。

5 撮影可能枚数

- 撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。

6 ガイド線

- [ガイド線]を設定している場合に表示されます（☞P.111「静止画撮影の設定」）。

7 認識アイコン

- 撮影モードを[写真]に設定している場合に表示されます。アイコンをタッチすると、ON／OFFの切り替えができます。
  - ON:[AI]
  - OFF:[AI]
- 認識アイコンが[AI]の場合、認識したシーンや被写体の内容が撮影画面の下に表示され、最適な画質やシャッタースピードで撮影します。
  - 黒板／白板を認識した状態で撮影した場合は、確認画面が表示されます。[補正する]をタッチすると、正面から見たような写真へ補正します。
  - 夜景を認識した場合は、本端末が動かないように固定して[夜]が表示されているときに撮影することで、よりきれいな夜景を撮影することができます。

8 写真(静止画)撮影

- 静止画を撮影します。

9 HDR

- HDR機能が動作中に表示されます。

10 本端末固定表示

- 本端末を固定しているときに表示されます。

11 写真サイズ

- 静止画の撮影サイズを切り替えます。

12 セルフタイマー

- [セルフタイマー表示]をONに設定していると表示されます(☞P.112「静止画撮影／動画撮影の共通設定」)。タッチするたびにセルフタイマーが5秒／10秒／OFFに設定されます。インカメラで撮影時はタッチするたびにセルフタイマーが3秒／5秒／OFFに設定されます。

13 フラッシュ

- モバイルライトを点灯して撮影できます。静止画撮影時には撮影の瞬間に点灯するように設定することもできます。

14 設定

- カメラの設定については☞P.111「カメラの設定」

15 直前に撮影したデータ

- 直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タッチするとデータの確認などができます。直前に撮影したデータがない場合は、「フォト」アプリのショートカットを表示します。AIライブストーリーで撮影された動画には[AI]が重なって表示されます。

16 撮影モード

- 左右にスライドすると撮影モードを切り替えることができます(モードチェンジャー)。

17 イン／アウトカメラ切替

18 ビデオ(動画)撮影開始

- 動画を撮影します。

フォーカスマークについて

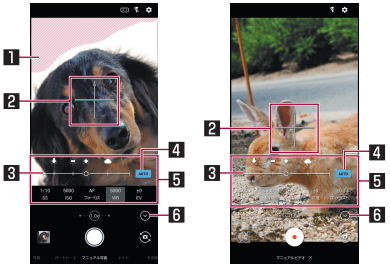
- カメラのフォーカスは、主に被写体の色をもとに対象を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

ズーム倍率について

- 撮影モードによっては、使用できるズーム倍率が制限されます。

■ 撮影画面(マニュアル)

操作方法は撮影画面と同様です。ここでは、撮影画面と異なる操作について説明します。



写真(静止画)撮影画面　ビデオ(動画)撮影画面

1 白とび/黒つぶれ表示

- 白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示します。

2 水準器

- 撮影画面の傾きを確認できます。

3 調整バー

- 各設定をタッチすると表示され、ドラッグすると設定を手動で調整できます。

4 自動調整アイコン

- 各設定をタッチすると表示され、調整の[AUTO]/[MANUAL]を切り替えることができます。
  - [MANUAL]に切り替えた設定には、[M]が表示されます。

5 撮影設定表示エリア

- 表示されるシャッター速度やISO感度、ホワイトバランスなどの各設定をタッチすると、設定を手動で調整できます。
  - 利用中の撮影モードによって、表示される設定は異なります。
  - 隠れている設定がある場合は、左右にスライドすると表示する設定を切り替えることができます。

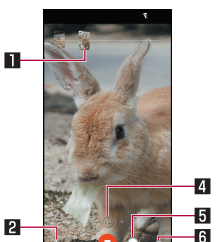
6 設定表示/非表示アイコン

- [⌃]をタッチすると撮影設定表示エリアを表示します。
  [⌄]をタッチすると撮影設定表示エリアを非表示にします。

ISO感度について

- 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画質は粗くなります。

■ ビデオ(動画)撮影中画面



1 撮影された静止画

- 動画撮影中に静止画撮影すると表示されます。
- AIライブシャッターが自動で撮影した場合は、[AI]と表示されます。

2 ショートムービーの作成確定

- ショートムービーの作成が確定すると表示され、点滅します。

3 ビデオ(動画)撮影停止

4 ズーム倍率

- 左端/中央/右端の白丸をタッチすることで、ズーム倍率を切り替えることができます。
- ズーム倍率をタッチすると、ズーム倍率の調整バーが表示されます。調整バーをタッチしたり左右にスライドしたりすることで、倍率を調整できます。
  - 撮影中画面をピンチアウト/ピンチインしても、ズーム倍率を調整できます。

5 写真(静止画)撮影

6 電池残量

7 撮影時間

■ 撮影モードの切替

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを切り替える

- ビデオ:通常の動画を撮影します。撮影設定は自動で調整されます。
- 写真:静止画を撮影します。撮影設定は自動で調整されます。
- ポートレート:近くの被写体にピントを合わせ、背景をぼかした静止画を撮影します。また、AQUOS beauty(アクオスビューティ)機能で被写体の顔を補正することもできます。
- マニュアル写真:静止画を撮影します。撮影設定を手動で調整することができます。
- ナイト:夜景を撮影するのに適した撮影モードです。
  - 撮影中は本端末が動かないように固定して[ ]が表示されているときに撮影することで、よりきれいな夜景を撮影することができます。撮影環境によっては、撮影に数秒かかる場合があります。
- ハイレゾ:8Kサイズの高解像度な静止画を撮影します。
  - 明るいシーンの撮影をおすすめします。
- 8Kビデオ:8Kの高解像度で動画を撮影します。
  - 1回の録画時間は最大1分です。
- タイムラプス:時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影します。

■ スロービデオ：スローモーションの動画を撮影します。
  • 撮影した動画は、「フォト」アプリで確認することができます（☞P.114「スロービデオ動画の再生」）。
■ マニュアルビデオ：通常の動画を撮影します。撮影設定を手動で調整することができます。
■ vHDRビデオ：HDR動画のような明暗差を感じることができる動画を撮影します。
● 表示されていない撮影モードは、[その他]に切り替えると表示されます。

静止画の撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[写真]／[マニュアル写真]に切り替える

3 本端末のアウトカメラを被写体に向ける
● 撮影画面の操作については☞P.106「撮影画面の見かた」
● [QRコード・バーコード認識]がONの場合は、標準カメラでQRコード・バーコードを検出できます。

4 [◯]／▯(+)／▯(−)
● [◯]をロングタッチ、または▯(+)／▯(−)を1秒以上押すと、静止画を連続撮影することができます。
  • 連続撮影した静止画は、保存先設定を[SDカード]に設定している場合でも本体メモリに保存されます。

動画の撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[ビデオ]／[マニュアルビデオ]に切り替える
● [マニュアルビデオ]は、[その他]に切り替えると表示されます。

3 本端末のアウトカメラを被写体に向ける
● 撮影画面の操作については☞P.106「撮影画面の見かた」

4 [●]
● 撮影モードを[ビデオ]に設定している場合は、[AIライブシャッター]をONにして動画撮影すると、自動で静止画を撮影します。
● 動画撮影中に[◯]をタッチ、または▯(+)／▯(−)を押すと静止画の撮影ができます。

5 [■]

カメラの設定

- 利用中の撮影モードなどによっては、機能が非表示またはグレーアウトされて利用できない場合があります。

■ 静止画撮影の設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [⚙]

3 [写真]

4 項目を選ぶ

- ■ 写真サイズ:静止画の撮影サイズを切り替えます。
- ■ RAW保存(マニュアル写真):撮影モードを[マニュアル写真]に設定している場合に、撮影した静止画をRAWでも保存するか設定します。
- ■ レリーズ優先:被写体にフォーカスを合わせているときでも、シャッタータイミングを優先するか設定します。
- ■ オートHDR:逆光などコントラストが強いシーンで、白とび/黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能を自動で有効にするか設定します。
- ■ インテリジェントフレーミング:静止画撮影時に、撮影した被写体や背景の位置や角度などにより、構図補正を自動的に行います。
  - 補正が必要ない場合は、機能は動作しません。
  - 補正された場合は、補正前と補正後の2枚の静止画を保存します。確認方法について詳しくは、「構図補正した静止画の表示」(☞P.113)をご参照ください。
- ■ ガイド線:撮影画面にガイドを表示できます。
- ■ マルチフォーカス表示:複数の小さなフォーカスマークを表示することで、フォーカスが合っている被写体を分かりやすく確認できるようにするか設定します。
- ■ 追尾フォーカス:タッチしてフォーカスを合わせた被写体を追尾するか設定します。
- ■ ヒストグラム表示:ヒストグラムを表示するか設定します。
- ■ 白とび/黒つぶれ表示:撮影モードを[マニュアル写真]に設定している場合に、白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示するか設定します。
- ■ QRコード・バーコード認識:QRコード・バーコードを検出し、対応したアプリを起動する通知を表示するか設定します。QRコード・バーコードの検出方法については☞P.110「静止画の撮影」

■ 動画撮影の設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [⚙]

3 [動画]

4 項目を選ぶ

- ■ 動画サイズ:動画の撮影サイズを切り替えます。
- ■ フレームレート:フレームレートを切り替えます。
- ■ 画質とデータ量:動画圧縮規格を切り替えます。動画圧縮規格によって画質やデータ量が異なります。
- ■ 手ブレ補正:手ぶれを補正するか設定します。
- ■ 音声の録音:音声を録音するか設定します。
- ■ 風切り音低減:風切り音を低減するか設定します。

■ AIライブストーリー：撮影した長時間の動画から、カット数や変化量を増やし、エフェクトやテーマ曲を付けたショートムービーをAIが自動作成します。
- ONにしている場合、撮影した動画とは別にショートムービーが保存されます。保存されたショートムービーは「フォト」アプリで確認することができます（P.114「ショートムービーの再生」）。

■ AIライブシャッター：ONにすると、動画撮影中にAIが人物や犬、猫などを認識したり、構図を判断して、自動で静止画を撮影します。

■ 静止画撮影／動画撮影の共通設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [⚙]

3 [共通]

4 項目を選ぶ

■ フラッシュ表示：フラッシュアイコンを撮影画面の上部に表示するか設定します。
■ セルフタイマー表示：セルフタイマーアイコンを撮影画面の上部に表示するか設定します。
■ 位置情報付加：位置情報を付加するか設定します。
■ 保存先設定：保存先を設定します。
- microSDカード挿入時は、保存先設定が変更可能です。

■ すばやく起動：▯（電源キー）を2回押して「カメラ」アプリを起動するか設定します。
■ カメラスタンバイ：「カメラ」アプリの起動中に画面が消灯した場合、次に画面を点灯したときにロック画面ではなく「カメラ」アプリの画面を表示するか設定します。
■ 省エネファインダー：一定時間何も操作しないと、自動的に待機画面になります。待機画面をタッチすると、再度「カメラ」アプリが表示されます。
■ カメラモード保持：ONにすると、「カメラ」アプリを前回利用していた撮影モードで起動します。OFFのときは、［写真］で起動します。
■ 広角で起動する：「カメラ」アプリを起動したときの画角を広角にするか設定します。
■ 撮影画面の明るさを上げる：「カメラ」アプリ起動中の画面の明るさをさらに明るくするか設定します。
■ ちらつき防止（縞模様を軽減）：ONにすると、蛍光灯によるちらつきを補正します。テレビやパソコンの画面などを撮影する際に有効な設定です。OFFのときは、被写体ぶれや手ぶれの補正を優先します。
- 撮影モードによっては、お使いの地域（東日本：50 Hz、西日本：60 Hz）に応じて周波数を設定できます。

■ 水準器表示：水準器を表示するか設定します。
■ 設定リセット：カメラの設定をリセットします。

フォト

静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます。

1 ホーム画面で[フォト]

2 データを選ぶ

- データをゴミ箱に移動:データをロングタッチ▶[🗑]▶[ゴミ箱に移動]

3 データを確認する

- Dolby Vision™に対応した動画を再生すると、ステータスパネルの通知詳細情報に表示モードの設定が表示されます。お好みの表示モードを選択ください。
- 「フォト」アプリはPlay ストアより更新することができ、最新バージョンでは操作方法が変わることがあります。更新された場合は、フォト画面で画面右上のアカウント アイコンをタッチ▶[ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。
- 不要な静止画や動画はゴミ箱に移動しても、本端末からは削除されていません。ゴミ箱を空にすると本端末から削除できます。

データの複数選択について

- データ一覧画面でデータをロングタッチするとデータ選択画面に切り替わります。他のデータをタッチして複数のデータを選択することができます。

■ ゴミ箱を空にする

1 フォト画面で[ライブラリ]▶[ゴミ箱]

2 [⋮]▶[ゴミ箱を空にする]▶[完全に削除]

構図補正した静止画の表示

「カメラ」アプリで撮影した静止画が[インテリジェントフレーミング]により構図補正された場合、保存された静止画のサムネイルには[▣]が表示されます。補正前と補正後の2枚の静止画を切り替えて確認できます。

1 フォト画面で静止画を選ぶ

- サムネイルを選択して補正前のオリジナル画像と補正後のおすすめ画像を切り替えることができます。
  - 静止画の削除や編集は、それぞれの静止画に対して行うことができます。
  - [バースト]▶[メインの写真に設定]と操作すると、静止画／動画一覧画面のサムネイルに表示する画像を設定できます。
  - 補正後のおすすめ画像を表示中に[おすすめ画像]をタッチすると補正された内容を確認できます。

ショートムービーの再生

AIライブストーリーによって作成された15秒程度のショートムービーを再生します。

- ショートムービーのサムネイルは装飾された状態で表示されます。
- ショートムービーは「パターン」を切り替えて再生することができます。

1 フォト画面でショートムービーを選ぶ

- ショートムービーが再生されます。

2 再生中の動画をタッチ▶[次のパターン]

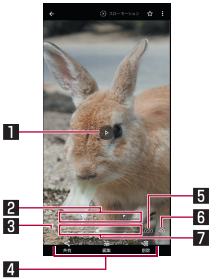
- 次のパターンの動画が再生されます。
- 再生中の動画をタッチすると3種類のパターンが画面下部に表示されます。パターンをタッチするとタッチしたパターンで動画を再生します。
  また、[保存]や[<]などをタッチすると、再生中の動画の保存や共有などをすることができます。

スロービデオ動画の再生

スロービデオで撮影した動画を、なめらかに再生したりスローで再生することができます。スロービデオで撮影した動画のサムネイルには[◎]が表示されます。

- スロービデオで撮影した動画は、「フォト」アプリで再生してください。他のプレーヤーやパソコンなどでは、正しく再生できない場合があります。

1 フォト画面でスロービデオで撮影した動画を選ぶ



1 再生／一時停止

2 スロー再生範囲設定

- [◹]／[◺]をドラッグしてスロー再生する範囲を設定します。

3 再生時間

4 フォトツール

- 「フォト」アプリでデータの共有、編集、削除をします。

5 総再生時間

6 音声ON／OFF

- [🔊]がON、[🔇]がOFFを表します。

7 シークバー

動画のフォーカス再生

撮影した動画をフォーカス再生すると、AIが人や犬、猫などの被写体を認識し、自動でズーム・追尾(拡大表示)します。

- クラウド上にのみ動画を保存している場合、[フォーカス再生]が表示されないことがあります。本端末に保存する場合は、動画再生中に[⋮]▶[ダウンロード]と操作します。

1 フォト画面で動画を選ぶ▶[フォーカス再生]

- 動画再生され、自動で被写体をズーム・追尾(拡大表示)します。
- フォーカス再生時は親画面と子画面が表示されます。
  - 子画面をタッチするたびに、全体表示／拡大表示が切り替わります。
  - 全体表示時に被写体を2回タッチすると、タッチした被写体に対して、フォーカス再生が行われます。
- [保存]▶[確認]と操作すると、フォーカス再生した内容を動画として保存します。

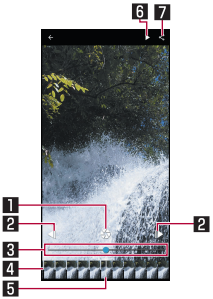
- 再生するタイミングによって、被写体やズーム倍率は異なります。
- 被写体の大きさや距離、スピードなどの条件によりAIが被写体を検出できない場合、被写体を2回タッチしても、対象を指定できません。
- 被写体がいなくても、ズームされる場合があります。
- ズーム倍率は、撮影サイズや被写体との距離などによって、最適な値が設定されます。手動でのズーム操作や倍率変更はできません。
- インカメラで撮影した動画は、フォーカス再生できません。

あとからキャプチャーで編集

動画の中から静止画を切り出して保存することができます。

1 フォト画面で動画を選ぶ

2 [⋮]▶[あとからキャプチャーで編集]



1 静止画切り出し

- タッチすると表示中のフレームを静止画として保存します。

2 コマ戻し／コマ送り

- 1コマ前／先のフレームを表示します。

3 シークバー

- シークバーをドラッグすると表示するフレームを変更できます。

4 サムネイル

- サムネイルをドラッグすると表示するフレームを変更できます。

5 表示位置

- 現在表示しているフレームの位置をサムネイル上で表します。

6 再生／一時停止

7 共有

- タッチすると静止画の切り出しが行われ、保存された静止画を他のアプリで利用することができます。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

- Chromeが起動し、「dメニュー」が表示されます。

- dメニューをご利用になる場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください(☞P.55「主なステータスアイコン一覧」)。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  https://dmarket.docomo.ne.jp/common/about/index.html

Play ストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください(☞P.46「Googleなどのアカウントの設定を行う」)。

1 ホーム画面で[Play ストア]

- ヘルプの表示:画面右上のアカウントアイコンをタッチ▶[ヘルプとフィードバック]

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。

- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlay ストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ

2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき:[インストール]
- アプリの初回購入時は、画面の指示に従ってお支払い方法を設定してください。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時のお支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で画面右上のアカウントアイコンをタッチ▶[ヘルプとフィードバック]をご覧ください。
- ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリに対するお支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroidデバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■ アプリのアンインストール

1 Google Play画面で画面右上のアカウントアイコンをタッチ▶[アプリとデバイスの管理]

2 [管理]

3 アンインストールするアプリを選ぶ

- 未インストールアプリの一覧が表示されているときは、[未インストール]▶[インストール済み]と操作して、インストール済みアプリの一覧を表示してください。

4 [アンインストール]▶[アンインストール]

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントなどを本端末のＩＣカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。
おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ＩＣカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ＩＣカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

※おサイフケータイ対応端末に搭載されたＩＣカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ アプリよりサービスを設定してください。なお、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面で[⊞]▶[おサイフケータイ]

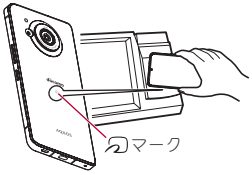
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選ぶ

3 サービスを設定する

- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

4 端末の((マークを読み取り機にかざす



- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 読み取り機との通信は、電源を切っていても利用できます。ただし、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- データセーバー(☞P.138「ネットワークとインターネット」)の設定にかかわらず、おサイフケータイ対応アプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- 本端末の電源を入れたあと、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモード以外での通信において、ご利用のおサイフケータイ対応サービスによっては一部機能がご利用になれない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
  なお、ahamoプランはspモードに対応しておりません。

対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことに注意してください。
  - ■ マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
  - ■ マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
  - ■ マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF

画面消灯中やタッチパネルのロック画面表示中に、NFC／おサイフケータイの機能を自動的にOFFすることができます。

- NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFFは、本端末の画面ロック、SIM カードロックとは異なります。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[接続済みのデバイス]▶[接続の設定]▶[NFC／おサイフケータイ]▶[NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF]

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は複数枚登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリ等で設定を行う必要があります。発行の方法については、各カード会社にお問い合わせください。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページ（https://id-credit.com/index.html）をご覧ください。

radiko+FM

今いるエリアで放送しているラジオ番組をインターネット経由で聴くことができます。また、市販のイヤホンを本端末のイヤホンマイク端子に接続することで、FMラジオ放送を受信することもできます。

- radiko+FMについて詳しくは、radiko+FM画面で[ ]▶[ラジコの楽しみ方]／[ヘルプ]と操作して、内容をご確認ください。

1 ホーム画面で[ ]▶[radiko+FM]

GPS／ナビ

マップを利用して、ストリートビューを表示したり、ルートの検索をしたりできます。また、表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することもできます。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[位置情報を使用]をONに設定する必要があります(☞P.169「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。

- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - かばんや箱の中
  - 端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
  - GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報を使用]をONに設定する必要があります（☞P.169「位置情報」）。
- マップについて詳しくは、マップ画面で画面右上のアカウントアイコンをタッチ▶[ヘルプとフィードバック]▶[ヘルプ]と操作し、内容をご確認ください。

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ▶[マップ]

2 マップを利用する

時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチなどを利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 ホーム画面で[▫▫ ▫▫]▶[時計]▶[アラーム]

2 登録先の時刻をタッチ

- 登録先の追加:[＋]

3 時刻を選ぶ▶[OK]

4 各項目を設定



1 ラベルを追加

- ラベルを入力します。

2 アラーム音

- アラーム音を設定します。

3 バイブレーション

- バイブレータを利用するか設定します。

4 Google アシスタントのルーティン

- アラームを解除したときにGoogle アシスタントが行う動作を設定します。

5 削除

- アラームを削除します。

6 表示切替

7 アラームON／OFF

- アラームの有効／無効を切り替えます。

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[ ]から[ストップ]まで右にスワイプ

- スヌーズの利用:[ ]から[スヌーズ]まで左にスワイプ

ディスプレイの表示中に止める

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にアラーム設定時刻になると、アラーム通知が表示されます。通知を利用してアラームを止めることができます。

1 アラーム鳴動中に[ストップ]

- スヌーズの利用:[スヌーズ]

■ アラーム音量の設定

1 アラーム画面で[ ]▶[設定]

2 アラームの音量欄で音量を調節

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

1 ホーム画面で[ ]▶[時計]▶[時計]

2 [ ]

3 都市名を入力▶都市を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面で[ ]▶[時計]▶[タイマー]

2 時間を入力▶[ ]

- 時間を1分追加:[+1:00]
- カウントダウンの停止:[ ]
- カウントダウンのリセット:[リセット]
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。
  - アラーム音の停止:[ ]
- タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にタイマー設定時刻になると、通知が表示されます。通知の[ストップ]をタッチして、アラームを止めることができます。また、[1分追加]をタッチすると、タッチしてから1分後にアラーム音でお知らせします。

■ 名称の変更

1 タイマー画面で[ラベル]

2 名称を入力▶[OK]

■ タイマーの追加

1 タイマー画面で[ ]

- タイマーの切替:上下にスライド

■ タイマーの削除

1 タイマー画面で[ ]

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して時間を計測します。ラップタイム(経過時間)／スプリットタイム(合計経過時間)も計測できます。

1 ホーム画面で[⋯]▶[時計]▶[ストップウォッチ]

2 [▶]

- ラップタイム／スプリットタイムの計測:[▶]

3 [■]

- 計測結果のリセット:[↺]

- ラップタイム／スプリットタイムを99件まで表示できます。

おやすみ時間

就寝時、起床時に最適な画面表示に自動で切り替えるなど、睡眠時に便利な機能を利用できます。

1 ホーム画面で[⋯]▶[時計]▶[おやすみ時間]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

スケジュール

スケジュールを作成・管理できるアプリです。

1 ホーム画面で[⋯]▶[スケジュール]

2 スケジュールを確認する



1 登録されているスケジュール
2 選択している日付、祝日名
3 音声入力
- 音声入力でmy daizを利用できます。

4 セパレータ
- タッチすると選択している日付のスケジュールを表示します。また、ToDoを設定したスケジュールやメモがある場合、未完了のToDoも表示されます。

5 新規作成

■ スケジュールの設定

1 スケジュール画面で[☰]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- アラーム:アラームについて設定します。
- 起動画面:スケジュールを起動したときの表示方法を設定します。
- 開始曜日:カレンダーの開始曜日を設定します。
- 誕生日表示設定:電話帳に登録されている誕生日をスケジュールに表示するかや表示する場合の色を設定します。
- 週間天気表示設定:一週間の天気をスケジュールに表示するか設定します。
- クラウド設定:クラウドを利用するか設定します。
- 海外利用設定:本端末が海外にあると判断された場合に通信を伴う機能を制限するか設定します。
- 祝日データ更新:最新の祝日データをスケジュールに反映します。
- アプリ内データ全件削除:「スケジュール」アプリ/「メモ」アプリのデータをすべて削除します。[削除実行]をタッチして削除する前に表示される内容をご確認ください。

■ スケジュールの作成

1 スケジュール画面で[⊕]

2 各項目を設定



1 ラベル
- ラベルのアイコンや色を変更します。

2 日時
- 開始、終了日時や繰り返しを設定します。

3 詳細編集
- 場所やアラーム、人などを設定します。

4 アカウント
- 登録するアカウントを設定します。

5 タイトル

3 [保存]

■ スケジュールの削除

1 スケジュール画面で日を選ぶ

2 スケジュールをロングタッチ



3 [1件削除]▶[削除する]

メモ

メモを作成・管理できるアプリです。

1 ホーム画面で[□□□□]▶[メモ]

2 [＋]

3 メモを入力▶[保存]

- メモの作成方法は、スケジュールの作成方法と基本的な部分は同様です。スケジュールについては☞P.126「スケジュール」

エモパー

あらかじめ登録したお客様の情報やお客様の日常の行動に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします。エモパーを使っていくほどに、お客様の本端末の使用状況を理解し、より適切なタイミングで情報をお伝えするようになります。

また、お客様の声※をエモパーが認識して応答することがあります。

さらに、エモパーを使ったメモ機能(エモパーメモ)や、健康応援機能(エモパーヘルスケア)、エモパー連携に対応した家電(AIoT機器)との連携機能などが利用できます。

※[声でアクション]を有効にすると、エモパーが話してから画面が消灯するまでの間のみ音声を認識します(音声が認識される時間は最大6秒間です)。

- エモパーをご利用になる場合は、パケット通信料がかかります。
- 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、現在地を測位する場合があります。現在地を測位するためには、[位置情報を使用]をONに設定する必要があります。[位置情報を使用]がOFFのときは、現在地測位が必要な情報をお伝えできません(☞P.169「位置情報」)。

1 ホーム画面で[エモパー]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定完了後に[⚙]▶[あなたについて]で職場・学校などを設定することをおすすめします。エモパーがお話しする機会や内容のバリエーションが増えることがあります。

- 初期設定が完了している場合はエモパー画面が表示され、エモパーの状態やお客様についての情報、歩数や予定などの日常の記録（約1週間分）が確認できます。

エモパーの設定

1 エモパー画面で[⚙]

- [ ]／[ ]をタッチしてエモパーのON／OFFを切り替えることができます。

2 項目を選ぶ

- COCORO ID：アカウントを設定します。新規登録・ログインすると自動バックアップなど、より便利にご使用いただけます。
- エモパー選択：エモパーやエモパーの名前を設定します。また、サイトからエモパーを追加できます。
- 基本動作について：エモパーの音量やマナーモード中の動作など、基本動作について設定します。
- あなたについて：ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
- エモパーの話題：エモパーがお伝えする情報を設定します。
- エモパーメモ：エモパーメモの利用について設定します。
- 声でアクション：エモパーが話してから画面が消灯するまでの間に話しかけると、エモパーが反応するようにするか設定します。また、話しかけかたの例を確認できます。
- エモパーヘルスケア：エモパーヘルスケアの利用について設定します。
- AIoT機器との連携：エモパー連携に対応したシャープの家電（AIoT機器）との連携について設定します。
- ホームにエモパーを貼り付け：ホーム画面に貼り付けるエモパーのウィジェットについて設定します。
- エモパーへの話しかけ方：公式エモパー情報サイトEMOPARK（エモパーク）の「エモパー使い方ガイド」-「エモパーへの話しかけ方」に接続します。
  - 本端末では「声でエモパーを呼び出し」は非対応です。
- おすすめ機能の紹介：おすすめ機能の簡単な説明と使いかたのデモを確認できます。
- エモパー使い方ガイド：公式エモパー情報サイトEMOPARK（エモパーク）の「エモパー使い方ガイド」に接続します。
- よくある質問（FAQ）：公式エモパー情報サイトEMOPARK（エモパーク）の「よくある質問（FAQ）」に接続します。
- エモパーの記憶：エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータの保存や削除、復元ができます。
- 注意事項：エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

エモパーがお話しするタイミング

- あなたについての[自宅]や[自宅のほかにお話しできる場所]に設定した場所で、ロック画面表示中や画面消灯中に端末を水平に置いたときなどに話します。
- 外出中では、職場や学校の出入りなど特定のタイミングでバイブレータが振動する場合があります。その際には、通話するように端末を耳に当てるとお話しします。また、イヤホンを接続中は、バイブレータが振動せずにイヤホンからお話しします。
- 選択したキャラクターによっては、ロック画面表示中に端末を数回（2秒程度）振ると話します。

エモパーの記憶の引き継ぎかた

エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータは、COCORO MEMBERSなどでバックアップすることで、機種変更の際に引き継ぐことができます。

- COCORO MEMBERSにバックアップする場合はエモパー画面で[⚙]▶[COCORO ID]からアカウントを登録し、[エモパーの記憶]▶「COCORO ID(推奨)」の[自動バックアップ]をONに設定するか、[いますぐバックアップする]を実行してください。
- Google ドライブにバックアップする場合はエモパー画面で[⚙]▶[エモパーの記憶]▶「Googleドライブ」の[⚙]からアカウントを設定し、「Googleドライブ」の[自動バックアップ]をONに設定するか、[いますぐバックアップする]を実行してください。
- 機種変更後のエモパーの初期設定画面で[引き継ぎはコチラ]を選択し、バックアップした方法と同じ方法を選択することで、機種変更前のエモパーを復元することができます。また、エモパー画面で[⚙]▶[エモパーの記憶]▶[記憶を復元する]から、復元操作を行うことができます。

エモパーメモを利用

エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定に合わせてお伝えします。また、エモパーメモを利用してアラームやタイマーを設定したり、エモパーに質問することもできます。

- ロック画面を2回タッチしてから話しかけてください。
- ロック画面では、アイコンや情報などが表示されていないところをタッチしてください。
- 外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。外出先では、エモパーの応答は受話口から聞こえます。
- エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」、「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。
- アラームを設定する際は、「XX時XX分にアラーム」のように話しかけてください。アラームは、「時計」アプリに登録されます。
- タイマーを設定する際は、「XX分タイマー」や「タイマー起動して」のように話しかけてください。「時計」アプリのタイマーが起動します。
- エモパーに質問する際は、「明日の天気を教えて」のように話しかけてください。質問の情報をエモパーがお伝えします。

エモパーヘルスケアを利用

お客様の体重や歩数について、気にかけたり応援したりするお話しで、健康維持やダイエットをサポートします。

- 体重はエモパーメモと同じ手順で話しかけることで覚えます。
  - エモパーに体重を話しかける際は、「今日の体重　XX.Xキロ」のように話しかけてください。
- 株式会社タニタの一部の体組成計と連携することで、体重を覚えることもできます。
  - 体組成計との連携については、エモパー画面で[⚙]▶[エモパーヘルスケア]▶[タニタ体組成計との連携]から設定することができます。画面の指示に従って操作してください。
  - エモパーとの連携に対応する体組成計については、公式エモパー情報サイトEMOPARK（エモパーク）をご覧ください。
- お客様の体重や歩数は、からだメイトで管理されます。

- エモパーの初期設定を行うと[歩数計ON]が有効になります（☞P.132「からだメイト」）。
- エモパーが話しているときに[+]／[−]を押すと音量を調節できます。
- 午前2:00～午前5:00の間は話しません。
- エモパーは日本語にのみ対応しています。
- エモパーがお伝えする情報は、お客様の端末使用状況と正確には合っていない場合があります。
- イヤホンを接続していない場合、ディスプレイを下向きにして端末を置いていると、エモパーは話しません。
- スグ電設定で[発信]を設定している場合、端末を振るとスグ電が動作し、エモパーは話しません。
- 海外で利用するときは、エモパーのお伝えする情報が制限されます。

公式エモパー情報サイトEMOPARK（エモパーク）について

- エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Play ストアからアップデートすることがあります。
  本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する最新の情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK（エモパーク）をご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/

電車の遅延情報について

- エモパーがお伝えする電車の遅延情報は、株式会社レスキューナウが提供する運行情報に基づいています。
- 各路線の運行情報が提供される基準は、次のとおりです。
  - ■ 首都圏JR線は15分、その他の路線は30分以上の遅れ、運転見合わせ等が発生した場合の情報

AIoT機器との連携について

- AIoT機器との連携には、COCORO IDでログインの上、COCORO HOMEアプリなどで同じアカウントに対して機器の登録が必要です。
- エモパーとの連携ができる当社のAIoT機器は各種COCOROサービスに対応した特定の機種に限ります。詳しくは、公式エモパー情報サイトEMOPARK（エモパーク）などでご確認ください。

からだメイト

歩数や体重などを記録することができます。歩数の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます。

1 ホーム画面で[□□□□]▶[からだメイト]

2 [はい]

3 ユーザー情報の各項目を設定▶[歩数計ON]▶[◀]

- お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
  - ユーザー情報の変更については☞P.134「ユーザー情報の変更」
- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、午前0:00にリセットされます。

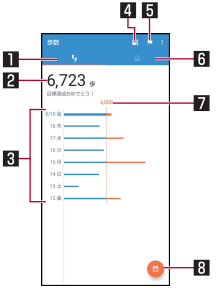
機種変更時のご注意

- からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。

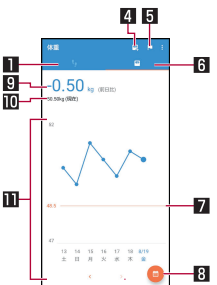
歩数測定時のご注意

- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
  - ■ 端末が不規則に動く場合
    - 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
    - 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
  - ■ 不規則な歩行をした場合
    - すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
    - 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
  - ■ 上下運動や振動の多いところで使用した場合
    - 立ったり座ったりしたとき
    - スポーツを行ったとき
    - 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
    - 乗り物（自転車、自動車、電車、バスなど）に乗って、上下振動や横揺れしているとき
    - スピーカーから音が出ているとき
    - バイブレータが振動しているとき
  - ■ 極端にゆっくり歩いた場合
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。
- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

■ からだメイト画面の見かた



歩数モード画面



体重モード画面

1 歩数モード

2 今日の歩数

3 歩数の履歴

- 日々／月々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日／月の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。

4 体重入力

- タッチすると、日々の体重を入力することができます。
- エモパーを利用すると、音声で体重を入力することもできます。エモパーについては☞P.128「エモパー」

5 目標設定

- タッチすると、歩数や体重の目標を設定することができます。
  - からだメイト画面で[ ]▶[目標設定]でも目標を設定できます。
- 設定した目標の削除：目標の入力画面で[リセット]

6 体重モード

7 目標値

8 表示切替

- 日別／月別の表示を切り替えます。

9 前回との差

10 最新の体重

11 体重の履歴

- 日々／月々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日／月の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。
- 表示する月や週の移動：[〈]／[〉]

■ **ユーザー情報の変更**

1 からだメイト画面で[⋮]▶[ユーザー情報]

2 各項目を設定

■ **からだメイトの停止**

1 からだメイト画面で[⋮]▶[歩数計設定]

2 [歩数計ON]

- [歩数計ON]を無効にすると、からだメイトが停止します。

■ **データリセット**

歩行データや体重データをすべて削除します。

1 からだメイト画面で[⋮]▶[データリセット]▶[はい]

■ **用語説明の確認**

1 からだメイト画面で[⋮]▶[用語の説明]

2 用語を選ぶ

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ・復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- 機種やOS、ファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。
- コピー、バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電池残量が不足しているとコピー、バックアップ、復元が実行できない場合があります。
- ドコモデータコピーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。
コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で[⁂]▶[データコピー]▶[データ移行]

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップ・復元が実行できない場合があります。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 長エネスイッチの動作中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

■ バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1 ホーム画面で[⁂]▶[データコピー]▶[バックアップ＆復元]

- 暗号化設定の画面が表示された場合は、バックアップデータにパスワード設定と暗号化を行うように設定できます。注意事項をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 [バックアップ]▶[バックアップ開始]▶[開始する]

- 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

3 [トップに戻る]

■ 復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で[⁘]▶[データコピー]▶[バックアップ＆復元]

- 暗号化設定の画面が表示された場合は、バックアップデータにパスワード設定と暗号化を行うように設定できます。注意事項をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 [復元]▶[次へ]▶[復元開始]▶[開始する]

- 選択したデータが本端末に復元されます。

3 [トップに戻る]

- 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は[定期バックアップをONにする]と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

■ 電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Googleアカウントに登録された連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で[⁘]▶[データコピー]▶[バックアップ＆復元]

- 暗号化設定の画面が表示された場合は、バックアップデータにパスワード設定と暗号化を行うように設定できます。注意事項をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 [電話帳アカウントコピー]▶コピーする電話帳の[選択]▶[上書き]／[追加]

- コピーした電話帳がdocomoのアカウントに保存されます。

3 [OK]

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で[⊞]▶[設定]と操作して表示されるメニューから、本端末の各種設定を行うことができます。

- 本体設定を表示中に「設定を検索」欄をタッチ▶検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 使用状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

電話番号	nanoSIMカード／eSIMに登録されているお客様の電話番号を確認できます。
ネットワークとインターネット	Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。
接続済みのデバイス	Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。
アプリ	アプリについて設定します。
通知	通知について設定します。
バッテリー	電池の利用状況の確認や設定、長エネスイッチの起動などを行います。
ストレージ	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。
音	着信音・お知らせ音などについて設定します。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
壁紙	ホーム画面やロック画面の壁紙を設定します。
AQUOSトリック	本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えます。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
セキュリティ	セキュリティについて設定します。
プライバシー	権限やアカウント アクティビティ、個人データなどのプライバシーに関する設定を行うことができます。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
緊急情報と緊急通報	緊急時情報や緊急 SOS、緊急速報「エリアメール」などについて設定します。
ドコモのサービス／クラウド	ドコモサービスの設定を行います。
パスワードとアカウント	アカウントの追加や設定、データの同期、アカウントに保存したパスワードなどについて設定します。
Digital Wellbeingと保護者による使用制限	本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。また、本端末の使用制限について設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
システム	画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。
デバイス情報	デバイス情報の確認ができます。
お困りのときは	「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

ネットワークとインターネット

Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。

1 ホーム画面で[□□□]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、SIMの名前などが表示されます。
  - タッチすると、選択したSIMのモバイル ネットワーク設定を行うことができます(☞P.140「モバイル ネットワーク」)。

2 項目を選ぶ

- Wi-Fi:Wi-Fiについては☞P.138「Wi-Fi」
- モバイル ネットワーク:モバイル ネットワークについては☞P.140「モバイル ネットワーク」
- 機内モード:通信を利用する一部の機能(電話、データ通信、Wi-Fi機能、Bluetooth機能、NFC/おサイフケータイの機能、FMラジオ受信など)を使用できないようにします。
- テザリング:テザリングについては☞P.143「テザリング」
- データセーバー:一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制することができます。
  - データセーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、[モバイルデータの無制限利用]から設定することができます。
- VPN:VPNについては☞P.190「VPNの追加」
- プライベート DNS:プライベート DNSの設定をします。
- プロキシ設定:プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。

[機内モード]について

- [SIM カードをロック]が有効の場合は、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。[SIM カードをロック]が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード]がOFFになり、発信を行います。
- [機内モード]がONの場合でも、[Wi-Fi]や[Bluetooth]、[NFC/おサイフケータイ]をONにすることができます。
- [機内モード]をONにすると、FMラジオ放送の受信機能が停止します。航空機内でのFMラジオ機能のご利用はお控えください。
- 他の機器とBluetoothで接続中は、[機内モード]をONにしても[Bluetooth]はOFFになりません。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN(IEEE802.11b/g/n/ax)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

- [Wi-Fi]をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にモバイル ネットワークでの接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。
- Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用する場合は、あらかじめdアカウントを設定しておいてください。ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ドコモのサービス／クラウド]▶[dアカウント設定]から設定することができます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi の使用]をONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
- アクセスポイントを手動で登録:[ネットワークを追加]▶ネットワーク名を入力▶セキュリティを設定▶[保存]
  - 接続するアクセスポイントがQRコード読み取り接続に対応している場合は、[⊞]をタッチし、QRコードを読み取って接続できます。
- [保存済みネットワーク]をタッチすると、本端末に保存されたアクセスポイントを表示します。
- [Wi-Fi データ使用量]をタッチすると、Wi-Fiネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、Wi-Fiネットワークを使用したアプリも確認できます。

- Wi-Fiネットワークに接続すると、[接続済み]と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。
  なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてEnhanced Open、WEP、WPA/WPA2-Personal、WPA3-Personal、WPA/WPA2-Enterprise、WPA3-Enterprise、WPA3-Enterprise 192-bitに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、[⚠]が表示されます。

■ Wi-Fiの設定

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]▶[Wi-Fi 設定]

2 項目を選ぶ

- Wi-Fi を自動的に ON にする:保存済みネットワークの検出時に[Wi-Fi]をONにするか設定します。
- 利用可能なパブリック ネットワークを通知する:パブリックネットワークを検出したときに通知するか設定します。
- 証明書をインストール:証明書をインストールします。
- Wi-Fi Direct:Wi-Fi Directについて設定します。

■ アクセスポイントの設定の削除

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ▶[削除]

■ アクセスポイントの自動接続の設定

設定済みのアクセスポイントのネットワーク圏内に入ったとき、自動的に接続するか設定します。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ

3 [自動接続]をONにする

- [自動接続]をOFFにした場合は、SSIDが見つかっても自動的には接続されなくなります。

モバイル ネットワーク

- モバイル ネットワークの[＋]をタッチすると、eSIMの設定ができます。eSIMの設定については☞P.141「eSIMのSIM情報を設定する」
- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、SIMを選択してください。
- モバイル ネットワーク経由のデータ使用量などが表示されます。
- [✎]をタッチすると、SIMの名前や色(対応アプリで使用)を設定できます。

2 [SIM を使用]をONにする

3 項目を選ぶ

- モバイルデータ通信:モバイルデータ通信に使用するSIMを設定します。
- 通話の設定:通話に使用するSIMを設定します。
- SMS の設定:SMSに使用するSIMを設定します。
- モバイルデータ:モバイル ネットワーク経由でデータにアクセスするか設定します。
- データローミング:データローミングについては☞P.192「データローミング」

■ アプリのデータ使用量：モバイル ネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示したり、モバイル ネットワークを使用したアプリを確認したりできます。
■ データ使用量の警告と制限：データ使用量の警告と制限については☞P.142「データ使用量の警告と制限」
■ MMS メッセージ：[モバイルデータ]がOFFの場合にMMSを送受信するか設定します。
■ 通話時のみデータ：通話時にモバイル ネットワーク経由のデータ通信を許可するか設定します。
■ 通話モード設定：VoLTEを利用するか設定します。
■ 優先ネットワークタイプ：優先ネットワークタイプについては☞P.192「優先ネットワークタイプ」
■ ネットワークを自動的に選択：ネットワークを自動的に選択については☞P.193「通信事業者の設定」
■ ネットワークを選択：ネットワークを選択については☞P.193「通信事業者の設定」
■ アクセス ポイント名：アクセスポイントの設定や確認をします。
■ SIM を消去：eSIMの情報を削除します。

● [SIM を使用]をOFFにしても、モバイル ネットワークを経由しない通信機能（Wi-Fi機能、Bluetooth機能、NFC／おサイフケータイの機能、FMラジオ受信など）はOFFになりません。

[モバイルデータ通信]、[通話の設定]、[SMS の設定]について

● nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合に表示されます。

[アプリのデータ使用量]について

● 表示されるデータ使用量は目安であり、実際の使用量とは異なる場合があります。
■ ahamoプラン以外をご契約のお客様
ご利用のデータ使用量はMy docomoからご確認いただけます。
■ ahamoプランをご契約のお客様
ご利用のデータ使用量はahamoのホームページからご確認いただけます。

[MMS メッセージ]について

● [モバイルデータ]をOFFに設定しているときに表示されます。

[通話時のみデータ]について

● nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、[モバイルデータ]をOFFに設定しているSIMを選択したときに表示されます。

[通話モード設定]について

● 優先ネットワークタイプを[3G／GSM]／[GSM]に設定しているときに表示されます。

[SIM を消去]について

● eSIMを選択したときに表示されます。

■ eSIMのSIM情報を設定する

はじめてeSIMを利用するときは、通信に必要なSIM情報をダウンロードして設定する必要があります。

1 ホーム画面で[□□]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶モバイル ネットワークの[＋]

2 [SIM をダウンロードしますか？]▶[次へ]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ データ使用量の警告と制限

モバイル ネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量などを設定します。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、SIMを選択してください。

2 [データ使用量の警告と制限]

- [モバイルデータの使用サイクル]をタッチすると、月単位の測定開始日を設定できます。
- [データ使用量を警告]をONにすると、データ使用量が設定値に達した場合に通知することができます。値は[警告するデータ使用量]で設定できます。
- [データ使用量を制限]をONにすると、データ使用量が上限に達した場合にデータ通信を停止することができます。上限は[データ上限]で設定できます。
  - データ使用量が上限に達すると、モバイルデータが一時停止中である旨の通知が表示されます。[OK]をタッチすると、次の測定開始日までデータ通信を停止します。[再開]をタッチすると、データ通信を再開します。

■ アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（docomo）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/spmode/

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、SIMを選択してください。

2 [アクセス ポイント名]

- 利用中のアクセスポイントを確認できます。

3 [＋]

4 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]

5 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]

6 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[⋮]▶[保存]

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、SIMを選択してください。

2 [アクセス ポイント名]

3 [⋮]▶[初期設定にリセット]

- spモードにご契約いただいていない場合や、圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やUSBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、USBケーブルで接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器4台の計15台です。
- Bluetooth テザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(☞P.184「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[テザリング]

2 項目を選ぶ

- Wi-Fiテザリング:Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。また、ネットワーク名やセキュリティ、パスワード、AP 周波数帯などを設定したり、他のデバイスが本端末に接続されていないときにテザリングをOFFにするか設定できます。
- USB テザリング:USB テザリングを利用するか設定します。
- Bluetooth テザリング:Bluetooth テザリングを利用するか設定します。
- イーサネット テザリング:イーサネット テザリングを利用するか設定します。

- テザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
  http://www.android.com/tether

[Wi-Fiテザリング]について

- AP 周波数帯で[2.4 GHz + 5 GHz 帯]を選択した場合、5GHz帯が接続可能か確認しているときや、気象レーダーなどを検出したときは、2.4GHz帯で動作します。

[USB テザリング]について

- Windows 8.1／Windows 10／Windows 11以外のOSでの動作は、保証していません。
- USB テザリング中は、本端末のストレージ(本体メモリやmicroSDカード)をパソコンでマウントすることはできません。

接続済みのデバイス

Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[接続済みのデバイス]

- 接続中／接続解除中のBluetooth機器が表示されます。詳しくは☞P.185「Bluetooth機器の管理」

2 項目を選ぶ

- USB：パソコンなどと接続した際のUSB接続の用途について設定します。USB接続については☞P.187「パソコンなどとの接続」
- 新しいデバイスとペア設定：使用可能なBluetooth機器とのペア設定ができます。操作については☞P.184「Bluetooth機能の利用」
- すべて表示：登録済みのBluetooth機器を一覧で表示します。
- 接続の設定：接続の設定については☞P.144「接続の設定」
- Bluetoothコーデック設定：Bluetoothのコーデックについて設定します。

■ 接続の設定

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[接続済みのデバイス]▶[接続の設定]

2 項目を選ぶ

- Bluetooth：Bluetooth機能については☞P.182「Bluetooth®機能」
- NFC／おサイフケータイ：かざしての利用やReader／Writer, P2Pなど、NFC／おサイフケータイの機能について設定します。
- キャスト：キャストについては☞P.189「キャスト」
- 印刷：印刷用アプリ（プラグイン）をインストールして、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。印刷の詳細については☞P.144「印刷用アプリ（プラグイン）の利用」
- Bluetooth で受信したファイル：Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。
- Chromebook：Chromebook™との接続について設定します。
- ニアバイシェア：ニアバイシェアを使用して付近のデバイスとファイルを共有する方法について設定します。
- Android Auto：カーナビなどと接続し、車の画面でアプリを使用するAndroid Auto™について設定します。

■ 印刷用アプリ（プラグイン）の利用

インストールした印刷用アプリ（プラグイン）を設定できます。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ（プラグイン）をインストールしておいてください。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[接続済みのデバイス]▶[接続の設定]▶[印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

アプリ

アプリについて設定します。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[アプリ]

2 項目を選ぶ

- デフォルトのアプリ:デフォルトで起動するアプリを設定します。
- 利用時間:アプリの利用時間を確認したり、アプリごとに使用できる1日の最大時間などを設定したりできます。
- 使用されていないアプリ:数か月使用されていないアプリを表示します。
- 特別なアプリアクセス:システム設定の変更など、特別なアプリアクセスについて設定します。

アプリ情報

アプリの名前やメモリの使用状況、バージョンなどの確認、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[アプリ]

2 [XX 個のアプリをすべて表示]▶アプリを選ぶ

- [最近開いたアプリ]欄に利用するアプリが表示されている場合は、アプリを選択してアプリ情報を確認することもできます。

■ アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにアプリ一覧画面に表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[アプリ]

2 [XX 個のアプリをすべて表示]▶アプリを選ぶ

3 [無効にする]▶[アプリを無効にする]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[アプリ]

2 [XX 個のアプリをすべて表示]▶アプリを選ぶ

3 [有効にする]

通知

通知について設定します。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[通知]

2 項目を選ぶ

- アプリの設定:通知を許可するアプリを設定します。
- 通知履歴:通知を表示したアプリを確認できます。
- 会話:優先度の高い会話や設定を変更した会話を表示します。
- バブル:アプリにフローティングアイコンを表示するバブル機能の使用を許可するか設定します。
- ロック画面の通知を整理:ロック画面で一度見た通知を非表示にして、新しい通知を見やすくするか設定します。ただし、削除できない通知は表示されます。
- デバイスとアプリの通知:通知を読み取れるアプリとデバイスについて設定できます。
- ロック画面上の通知:ロック画面に表示する通知について設定します。
- サイレントモード:サイレントモードについては☞P.151「サイレント モード」
- 緊急速報メール:緊急速報「エリアメール」の設定を行います。緊急速報「エリアメール」については☞P.99「緊急速報「エリアメール」」
- ステータスバーにサイレント通知を表示しない:ステータスバーにサイレント通知のお知らせアイコンを表示するか設定します。
- 通知のスヌーズを許可:通知のスヌーズを許可するか設定します。
- アプリアイコン上の通知ドット:通知がある場合に、アプリアイコンの上に通知ドットを表示するか設定します。
- 拡張通知:通知を表示したアプリの種類や利用状況などに応じて、通知を減らしたりサイレント通知にするか設定します。

バブル機能について

- バブル機能は対応したアプリのみ利用することができます。

バッテリー

電池の利用状況の確認や設定、長エネスイッチの起動などを行います。

1 ホーム画面で[⁘]▶[設定]▶[バッテリー]

- 電池残量や利用状況などが表示されます。

2 項目を選ぶ

- 健康度(health level):内蔵電池の充電能力がお買い上げ時に対してどのくらい残っているか、電池の状態(健康度)を確認できます。
- バッテリー使用量:電池使用量の確認やアプリごとの電池の使用状況を確認できます。
  - アプリをタッチすると、アプリの電池使用量を設定できます。表示されていないアプリを設定する場合は、ホーム画面で[⁘]▶[設定]▶[アプリ]▶[XX 個のアプリをすべて表示]▶アプリを選ぶ▶[バッテリー]と操作してください。
- 長エネスイッチ:長エネスイッチについては☞P.147「長エネスイッチ」
- 自動調整バッテリー:使用頻度の低いアプリの電池使用量を自動調整するか設定します。
- インテリジェント チャージ:インテリジェント チャージについては☞P.148「インテリジェント チャージ」
- バッテリー残量:ステータスバーに電池残量をパーセント表示するか設定します。

[バッテリー使用量]について

- 電池使用量を[制限]に設定すると、バックグラウンドで起動しているアプリの電池の使用が制限されます。アプリが正しく動作しない、通知が遅れるなどの意図しない現象が発生する場合があります。

長エネスイッチ

本端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面で[⁘]▶[設定]▶[バッテリー]▶[長エネスイッチ]

- [長エネスイッチの使用]をタッチすると、電池残量にかかわらず[長エネスイッチ]のON/OFFを設定できます。

2 項目を選ぶ

- スケジュールの設定:[残量に応じて自動で ON]に設定すると、設定した電池残量以下になった場合に、長エネスイッチを自動でONにできます。
- 充電時に OFF にする:充電中に電池残量が90%になった場合に、長エネスイッチを自動でOFFにするか設定します。
- 画面の明るさを最小にする:長エネスイッチがONの場合に、画面の明るさを最小値にするか設定します。

- 充電を開始すると長エネスイッチはOFFになります。

インテリジェントチャージ

充電による電池の劣化を抑える設定をします。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[バッテリー]▶[インテリジェントチャージ]

- ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[インテリジェントチャージ]と操作しても、インテリジェントチャージを設定できます。

2 項目を選ぶ

- ■ 最大充電量を変更:充電中に電池残量が90%付近に達したとき、充電を停止してダイレクト給電に切り替えるか設定します。
- ■ 画面消灯中のみ充電:充電機器を接続中に画面が点灯しているときは、充電を停止してダイレクト給電にするか設定します。
  - 電池残量がかなり減っている場合、画面表示中でも一定量まで充電します。
- ■ 電池の健康度:電池の健康度を確認できます。

- ダイレクト給電中は、充電を停止して充電器から直接電力を供給します。
- ダイレクト給電中も通常通り端末をご利用いただけます。

ストレージ

本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

- 保存データの管理については☞P.180「ファイル操作」

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[ストレージ]

- 本体メモリの使用容量／合計容量などが表示されます。
- microSDカードやUSBメモリを取り付けている場合は、[このデバイス]が表示されます。タッチすると、microSDカードやUSBメモリの使用容量／合計容量などを表示できます。
- microSDカードやUSBメモリのマウント解除:[このデバイス]▶microSDカード／USBメモリを選ぶ▶[⋮]▶[取り出し]
- microSDカードやUSBメモリをマウント:[このデバイス]▶microSDカード／USBメモリを選ぶ▶[⋮]▶[マウント]

microSDカード／USBメモリのフォーマット

microSDカードやUSBメモリを初期化します。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[ストレージ]

2 [このデバイス]▶microSDカード／USBメモリを選ぶ

3 [⋮]▶[フォーマット]▶[SDカードをフォーマット]／[USBドライブをフォーマット]

4 [完了]

- 初期化を行うと、microSDカードやUSBメモリの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

音

着信音・お知らせ音などについて設定します。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[音]

2 項目を選ぶ

- メディアの音量：メディア音（音楽や動画など）の音量を設定します。
- 通話の音量：通話中の音量を設定します。
- 着信音と通知の音量：着信音と通知の音量を設定します。
- アラームの音量：アラームの音量を設定します。
- サラウンドプラス：本端末を横表示にしたときに、音の広がりを向上させるか設定します。
- イコライザー：音楽や動画などの音を調整します。
- サイレント モード：サイレント モードについては☞P.151「サイレント モード」
- 着信音：着信音を設定します。
- メディア：メディア プレーヤーのコントローラーをステータスパネルに表示したままにするかなどメディアについて設定します。
- 着信時のバイブレーション：着信時のバイブレータの動作について設定します。
- 着信音ミュート用のショートカット：[電源キー長押しでアプリ起動]（☞P.174「ジェスチャー」）がOFFのときに、▯（電源キー）と▯(+)を同時に押して、マナーモードを設定できるようにします。
  - [バイブレーション]を選択するとマナーモード（バイブ）に、[ミュート]を選択するとマナーモード（ミュート）に設定されるようになります。

■ デフォルトの通知音:お知らせ音を設定します。
■ デフォルトのアラーム音:アラーム音を設定します。
■ ダイヤルパッドの操作音:ダイヤル音の有無を設定します。
■ 画面ロックの音:タッチパネルのロック/ロック解除時の操作音の有無を設定します。
■ 充電時の音とバイブレーション:充電を開始したときの音とバイブレーションの有無を設定します。
■ タッチ操作音:メニューなどをタッチしたときの操作音の有無を設定します。
■ タップ操作時のバイブ:ナビゲーションバーなどに表示されるキーをタッチしたときにバイブレータを動作させるか設定します。

マナーモード

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

● マナーモードやサイレント モード設定中も、次の音は鳴ります。
  ■ 静止画撮影時のシャッター音
  ■ 動画撮影時の開始音/停止音
● 伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します(☞P.86「通話音声・伝言メモ」)。

1 音量(+)/音量(−)▶[マナーOFF]/[バイブ]/[ミュート]▶設定項目を選ぶ

● 設定項目は次の通りです。
  ■ マナーOFF:マナーモードをOFFに設定します。
  ■ バイブ:着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。
  ■ ミュート:着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。

■ サイレント モード

端末で鳴る音などについて、より詳細に設定します。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[音]▶[サイレント モード]

- [今すぐ ON にする]／[今すぐ OFF にする]をタッチすると、[スケジュール]／[クイック設定の持続時間]で設定した内容にかかわらず、[サイレント モード]のON／OFFを切り替えられます。

2 項目を選ぶ

- 人物:着信やメッセージを受信した場合に、通知を許可する連絡先を設定します。
- アプリ:通知を許可するアプリを設定します。アプリの通知を許可していなくても、[人物]で設定した連絡先からの通知は届きます。
- アラームとその他の割り込み:音を出す動作を設定します。
- スケジュール:[サイレント モード]のON／OFFが自動的に切り替わるルールを設定します。
- クイック設定の持続時間:[今すぐ ON にする]をタッチしてから、[サイレント モード]がOFFになるまでの期間を設定します。
- 通知の表示オプション:通知の動作について設定します。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- 明るさのレベル:明るさ調整バーをドラッグして画面の明るさを調整します。
- 明るさの自動調節:画面の明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
- ロック画面:ロック画面については☞P.153「ロック画面」
- 画面消灯(スリープ):画面の点灯時間を設定します。
- 画面消灯中の充電表示:充電中に画面消灯しているときに、電池残量や充電情報を画面に表示するか設定します。
- ダークモード:黒基調の画面になるダークモードの利用について設定します。
- 壁紙に合わせた色設定:ロック画面、ホーム画面の壁紙に合わせて、ボタンやスクロールバーなどの色を自動的に変更するか設定します。
- 文字フォント設定:文字のサイズやフォントについて設定します。
- 表示サイズ:画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- コンテンツ表示設定:インカメラの横も含め画面全体にアプリや壁紙などのコンテンツを表示するか設定します。
- 基本設定:ディスプレイに表示する基本の画質を設定します。
- HDR動画:HDR動画を再生するときの画質を設定します。

■ バーチャルHDR：標準動画をHDR動画のような画質にするか設定します。
■ リラックスビュー：リラックスビューについては☞P.153「リラックスビュー」
■ アウトドアビュー：明るい日差しの下で見やすい画質にするか設定します。
■ 画面の色温度：画面の色合いを自動調整するか設定します。
■ はっきりビュー：文字や地図が見えづらいときに画面をはっきり表示するか設定します。
■ なめらかハイスピード表示：アプリをなめらかに表示するか設定します。追加で動画をよりなめらかにするか設定します。
■ 画面の自動回転：端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。詳しくは☞P.51「縦／横表示」
■ グローブモード：手袋をしたままで画面をタッチして操作できるようにするか設定します。
■ スクリーンセーバー：スクリーンセーバーの種類や起動するタイミングを設定します。

[明るさのレベル]について

- ディスプレイの明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[画面消灯(スリープ)]について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[文字フォント設定]について

- Google Playなどでダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

[なめらかハイスピード表示]について

- アプリによっては効果が得られないことがあります。その場合は、設定をOFFにしてください。また、電池残量や端末温度によっても、効果が得られない場合があります。
- 一定以上の高い画質の動画や一部の著作権保護された動画は非対応です。
- アプリを起動したまま設定を変更すると、正常に動作しなくなることがあります。その場合は、一度アプリを終了してください。

[グローブモード]について

- 手袋の素材によってはタッチ操作ができない場合があります。
- 手袋をしていないときや風呂場でご利用になるときは、[グローブモード]をOFFにしてください。

ロック画面

ロック画面の表示や画面消灯中の動作について設定します。

● 画面ロックを[なし]以外に設定しているときに利用できます。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[ディスプレイ]▶[ロック画面]

2 項目を選ぶ

■ プライバシー:タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。

■ ロック画面の通知を整理:ロック画面で一度見た通知を非表示にするか設定します。

■ ロック画面にテキストを追加:タッチパネルのロック画面に表示するメッセージを設定します。

■ ウォレットを表示:画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているときに、ロックを解除しないでウォレットを表示するかなどを設定します。

■ デバイス コントロールを表示:画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているときに、ロックを解除しないでデバイス コントロールを表示するか設定します。

■ 時計表示 ON:画面消灯中でも日時や通知アイコンなどの情報を一定時間表示するか設定します。

■ 画面OFF時にタップして指紋センサーと時計を表示:画面消灯中に画面をタッチして、指紋センサーと時計を表示するか設定します。

■ 画面OFF時でも指紋センサーに触れるとロックを解除:画面消灯中でも指紋認証によるロック解除ができるようにするか設定します。

■ 通知時にスリープ状態から復帰:通知が届いた場合に画面を点灯させるか設定します。

[プライバシー]について

● [通知は表示するがプライベートな内容はロック解除後にのみ表示する]を選択すると、ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。

• [通知は表示するがプライベートな内容はロック解除後にのみ表示する]は、画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているときに表示されます。

[ロック画面の通知を整理]について

● 削除できない通知は非表示になりません。また、この機能によってステータスパネルの通知詳細情報が消去されることはありません。

[画面OFF時でも指紋センサーに触れるとロックを解除]について

● 2本指認証を[すべての画面で2本指認証を使用する](☞P.167「2本指認証」)に設定した場合は、[画面OFF時でも指紋センサーに触れるとロックを解除]を設定できません。

リラックスビュー

目に優しい画質の利用について設定します。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[ディスプレイ]▶[リラックスビュー]

● [リラックスビューを使用]をタッチすると[リラックスビュー]のON/OFFを設定できます。

2 項目を選ぶ

- 黄味の強さ：[リラックスビュー]がONの場合の黄味の強さを調整します。
- スケジュール：特定の時間帯に[リラックスビュー]をONにするか設定します。[指定した時間に ON]に設定すると[開始時間]や[終了時間]を設定できます。

● [リラックスビュー]をONにしていても、カメラ利用時は画面が通常の画質で表示されます。
ただし、撮影画面からフォトの起動や直前に撮影した静止画／動画の表示を行った場合、画面はリラックスビューの画質で表示されます。

壁紙

ホーム画面やロック画面の壁紙を設定します。

1 ホーム画面で[⁘]▶[設定]▶[壁紙]

2 壁紙タイプを選ぶ

● 以降は画面の指示に従って操作してください。

AQUOSトリック

本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。

1 ホーム画面で[⁘]▶[設定]▶[AQUOSトリック]

2 項目を選ぶ

- リッチカラーテクノロジーモバイル：用途に合わせた最適な画質に設定する機能がまとめられています。各機能については☞P.151「ディスプレイ」
- なめらかハイスピード表示：なめらかハイスピード表示については☞P.151「ディスプレイ」
- ロック・ホームフォトシャッフル：ロック・ホームフォトシャッフルについては☞P.155「ロック・ホームフォトシャッフル」
- 指紋センサーとPayトリガー：指紋センサーとPayトリガーについては☞P.165「指紋認証」
- スクロールオート：スクロールオートについては☞P.155「スクロールオート」
- Clip Now：Clip Nowについては☞P.156「Clip Now」
- ゲーミングメニュー：ゲーミングメニューについては☞P.157「ゲーミングメニュー」
- クイック操作：クイック操作については☞P.159「クイック操作」
- AQUOS Home：利用するホームアプリを「AQUOS Home」に切り替えたり、AQUOS Homeの設定を行ったりします。AQUOS Homeについて詳しくは☞P.71「AQUOS Home」

■ S-Shoin：ソフトウェアキーボードを「S-Shoin」に切り替えます。
- ご利用になる場合は、あらかじめインストールしておく必要があります。[S-Shoinをダウンロード]をタッチし、画面の指示に従って操作してください。

■ かんたんモード：利用するホームアプリを「AQUOSかんたんホーム」に切り替えたり、フォントサイズを特大に設定するなど、見やすい画面に設定する機能がまとめられています。
- [まとめてONにする]をタッチすると、個別設定を一括でONに設定することができます。

■ Bright Keep：Bright Keepについては☞P.159「Bright Keep」
■ テザリングオート：テザリングオートについては☞P.160「テザリングオート」
■ インテリジェントチャージ：インテリジェントチャージについては☞P.148「インテリジェントチャージ」
■ ロボクル設定：ロボクル設定については☞P.160「ロボクル設定」

ロック・ホームフォトシャッフル

ロック画面／ホーム画面の壁紙がランダムに切り替わるよう設定できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[ロック・ホームフォトシャッフル]

■ ロックフォトシャッフル：ロック画面の壁紙をランダムに切り替えるか設定します。
■ ホームフォトシャッフル：ホーム画面の壁紙をランダムに切り替えるか設定します。
■ シャッフル間隔の設定：壁紙が切り替わる間隔を設定します。
■ 選択した画像を確認：壁紙として表示される画像の一覧が表示され、壁紙に使用する画像を個別に設定できます。
● [画像を選択]欄には、壁紙に使用できる画像が保存されたフォルダが表示されます。各フォルダをタッチすると、フォルダ毎／画像毎に壁紙として使用する画像を選択できます。

スクロールオート

表示中のサイトなどの画面を上下方向に自動でスクロールできます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[スクロールオート]

2 項目を選ぶ

- ON／OFF設定：スクロールオートを利用するか設定します。
- 対象アプリ設定：スクロールオートを動作させるアプリを設定します。
- ステータスバーへの通知：対象アプリが起動しているときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
- 2本指でもスクロールオート：2本の指で画面をスワイプすることで、スクロールオートを動作させるか設定します。

■ 画面の自動スクロール

1 スクロールする方向に画面をドラッグ▶表示された矢印に指を合わせ、指を離す

- 指を離すとスクロールを開始します。
- [2本指でもスクロールオート]がONの場合、[↑]／[↓]が表示されるまで2本の指でスクロールする方向に画面をドラッグしても、スクロールオートが動作します。
- 約5分間動作するとスクロールを停止します。
- スクロール速度の調整：[＋]／[－]
- スクロールの一時停止／再開：[⏸]／[▶]
- スクロールの停止：画面をタッチ
- スクロールオートの設定：[⚙]

- 画面をドラッグする速度が速すぎると、矢印が表示されません。
- 画面の位置によっては、指を離しても自動スクロールしない場合があります。

Clip Now

画面右上／左上から画面中心に向かってスワイプすることで表示中の画面を画像（スクリーンショット）として撮影できます。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[Clip Now]

2 項目を選ぶ

- Clip Now：Clip Nowを使用するか設定します。
- 使い方ガイド：Clip Nowについての説明を表示します。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

■ スクリーンショットの利用

1 保存したい画面をディスプレイに表示▶画面右上／左上をロングタッチ

- バイブレータが動作し、画面右上／左上を中心に円が表示されます。

2 画面中心に向かってスワイプして、指を離す

ゲーミングメニュー

ゲーム起動中の画面表示や動作などについて設定できます。

1 ホーム画面で[⁘]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[ゲーミングメニュー]

2 項目を選ぶ

- ゲーム画質:ゲームに最適な画質にするか設定します。
- パフォーマンス:登録したゲームの表示解像度について設定します。
- メニューを表示:登録したゲームの起動中、ゲーミングメニューのフローティングアイコンを表示するか設定します。フローティングアイコンをタッチして表示されるメニューについて詳しくは☞P.158「フローティングアイコンから表示するメニュー」
- 使い方ガイド:フローティングアイコンから表示するメニューの使いかたを表示します。
- 検索設定:フローティングアイコンから表示するメニューでゲームに関する情報を検索する際のキーワードについて設定します。
  - 「ゲーム名　キーワード」で検索します。
- インテリジェントチャージ:インテリジェントチャージについては☞P.148「インテリジェントチャージ」
- 登録ゲーム設定:インストールされている対象アプリを一覧表示します。アプリ利用時にゲーミングメニューの設定を反映するか設定します。登録(ON)したアプリは、[ゲーム個別設定]欄に表示されます。
- インストール時に通知:アプリをインストールしたときに[登録ゲーム設定]に遷移する通知を表示するか設定します。
- よくあるご質問:シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
- Elite Gaming:Elite Gamingの案内が表示されます。

[パフォーマンス]について

- 設定を適用すると、起動中のゲームが自動的に終了する場合があります。

■ 個別設定

[登録ゲーム設定]で登録(ON)したアプリは、[ゲーム個別設定]欄に表示されます。表示されているアプリをタッチすると、アプリごとの個別設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[⁘]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[ゲーミングメニュー]

2 アプリを選ぶ

3 項目を選ぶ

- 動作ブロック:ゲーム起動中に意図しない操作が行われないよう、無効化する動作を選択します。
- ゲーム起動中の通知をブロック:ゲーム起動中に表示される通知をブロックするか設定します。
- ゲーム起動中の電話着信をブロック:ゲーム起動中に表示される電話の着信通知をブロックするか設定します。
- エッジコントロール:タッチに反応しない範囲を画面の上下左右に設定します。
  - タッチに反応しない範囲はフローティングアイコンから表示するメニューで変更できます。
- なめらかハイスピード表示:なめらかハイスピード表示については☞P.151「ディスプレイ」

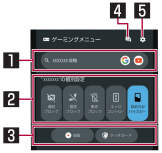
■ フローティングアイコンから表示するメニュー

[登録ゲーム設定]で登録(ON)したアプリを起動中に表示されるゲーミングメニューのフローティングアイコンをタッチすると、ゲーム画面の録画や攻略サイトの検索などができるメニューが表示されます。

1 登録したアプリの画面で右下に[ ]が表示されたアプリアイコンをタッチ

- メニューが表示されます。

2 メニューを利用する



1 検索

- [検索設定]で設定したキーワードでゲームに関する情報を検索します。

2 個別設定

- [通知ブロック]:[ゲーム起動中の通知をブロック]のON／OFFを切り替えます。
- [着信ブロック]:[ゲーム起動中の電話着信をブロック]のON／OFFを切り替えます。
- [動作ブロック]:[動作ブロック]のON／OFFを切り替えます。
- [エッジコントロール]:[エッジコントロール]のON／OFFを切り替えます。また、タッチに反応しない範囲を変更することもできます。
- [なめらかハイスピード表示]:[なめらかハイスピード表示]のON／OFFを切り替えます。なめらかハイスピード表示について詳しくはP.151「ディスプレイ」

3 ツール

- [録画]:ゲーム画面を録画します。
- [タッチガード]:タッチパネルで操作できないように設定します。
  - タッチガードを解除する場合は、[ ]を[ ]までドラッグします。

4 FAQ

- シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」内を「(ゲーム名)+不具合」のキーワードで検索します。

5 設定

- ゲーミングメニューの設定ページへ遷移します。

- バブル機能がOFFの場合は、登録したゲームを起動中でもゲーミングメニューのフローティングアイコンは表示されません。バブルの[アプリにバブルの表示を許可]をONに設定してください(P.146「通知」)。

クイック操作

(電源キー)を押したときの動作や端末の操作方法について設定します。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[クイック操作]

2 項目を選ぶ

- 長押しでアプリ起動:(電源キー)を長押しして起動するアプリを選択します。
  - OFFにすると、電源メニューの表示方法が(電源キー)の長押しに変更されます。
- 2回押しでカメラの起動:(電源キー)を2回押して「カメラ」アプリを起動するか設定します。
- システム ナビゲーション:本端末の操作方法を設定します。ジェスチャー ナビゲーションについては☞P.174「システム ナビゲーションを変更する」、3 ボタン ナビゲーションについては☞P.50「ナビゲーションバー」

Bright Keep

本端末を持ち上げたときや手に持っているときのディスプレイ表示について設定します。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[Bright Keep]

2 項目を選ぶ

- 持つと画面点灯:ディスプレイの表示が消えている場合、本端末を持ち上げて静止したときに、ディスプレイを表示させるか設定します。
- 持っている間は表示をキープ:本端末を手に持っているときはディスプレイの表示が消えないようにするか設定します。
- ホーム画面では早めに暗くする:ホーム画面を表示したまま本端末を一定時間操作せず水平に置いていたとき、ディスプレイを微点灯にするか設定します。微点灯中に本端末を持ち上げると画面は点灯します。
- ホーム画面以外では表示をキープ:ホーム画面以外の画面を表示したまま本端末を水平に置いている間は、操作を行わなくてもディスプレイの表示が約15分間は消えないようにするか設定します。

[持つと画面点灯]について

- お買い上げ時はONになっています。
- 次の場合などは、ディスプレイが表示されないことがあります。
  - 本端末を持ったまま動いている場合(乗車中)
  - 持ち上げる前や持ち上げたあとに、本端末を動かし続けている場合
  - 垂直または水平に持ち上げた場合

[持っている間は表示をキープ]について

- 持っている間は表示をキープを設定し、本端末を手に持っていても、本端末の静止状態が続いた場合や、一定時間何も操作していない場合はディスプレイの表示が消える場合があります。

テザリングオート

設定した場所や電池残量をもとに、Wi-FiテザリングのON／OFFを自動で切り替える設定をします。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[テザリングオート]

2 項目を選ぶ

- テザリングオート：テザリングオートを利用するか設定します。
- 場所の設定：Wi-Fiテザリングの ON／OFFを自動で切り替える場所を設定します。
  - 場所は5件まで設定できます。
- テザリングがONになる時：設定した場所にいるときにWi-Fiテザリングを ONにするか、いないときにONにするかを設定します。
- 充電中のみON：テザリングオートによるWi-Fiテザリングの自動ONを、本端末の充電中のみ動作させるか設定します。
- 自動OFF：テザリングオートによるWi-Fiテザリングの動作中、設定した電池残量以下になった場合に、Wi-Fiテザリングを自動でOFFにできます。
- Wi-Fiテザリングの詳細設定：Wi-Fiテザリングを手動でONにしたり、Wi-Fiテザリングの設定を行ったりします。Wi-Fiテザリングについて詳しくは☞P.143「テザリング」

ロボクル設定

ロボクル（市販品）に端末を接続すると、画面点灯時や充電開始、着信、アラームなどに合わせてロボクルが回転し、お客様の方を向きます。また、状況に合わせてエモパーがお話しします。ロボクルはエモパーと連動し、エモパー動作時にはお客様の方を向いてお話しします。

- エモパーをONにすると、より多くの場面でエモパーに連動してロボクルが動作します。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[ロボクル設定]

2 項目を選ぶ

- ロボクルの動作：本端末をロボクルで充電しているときに、ロボクルを動作させるか設定します。
- ロボクルの詳しい情報はこちら：シャープのサイトに接続し、ロボクルについての詳しい情報を確認できます。

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

- 使用状況などにより、表示される項目が異なる場合があります。その他の項目については、画面の指示に従って操作してください。

1 ホーム画面で[□□]▶[設定]▶[ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- テキストと表示:文字の大きさや太さ、画面の色や表示について設定します。
- さらに輝度を下げる:本端末で設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くするか設定します。
- ダークモード:黒基調の画面になるダークモードの利用について設定します。
- 拡大:画面を拡大するショートカットと拡大の方法について設定します。
- タイミングの管理:ロングタッチを検出する間隔やメッセージの表示時間など操作のタイミングについて設定します。
- システム操作:システム ナビゲーションや画面の回転方法など本端末の操作について設定します。
  - [電源ボタンで通話を終了]をONにすると、▯(電源キー)で通話を終了できます。
- バイブレーションと触覚フィードバックの強さ:着信時や通知時、タッチ操作時にバイブレータを動作させるか設定します。
- 字幕の設定:字幕の表示について設定します。
- 補聴器:市販の補聴器との接続について設定します。
- 音声の調整:音声再生時のチャンネルや左右の音量バランスについて設定します。
- ユーザー補助機能のショートカット:ユーザー補助機能にすばやくアクセスするショートカットについて設定します。
- テキスト読み上げの設定:端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

[電源ボタンで通話を終了]について

- [画面消灯(スリープ)](☞P.151「ディスプレイ」)の設定に従ってディスプレイの表示が消えた場合は、▯(電源キー)を押すとディスプレイが表示されます。ディスプレイ表示中に▯(電源キー)を押すと、通話が終了します。

[補聴器]について

- [Bluetooth を使用](☞P.184「Bluetooth機能の利用」)がONのときに表示されます。

セキュリティ

セキュリティについて設定します。

1 ホーム画面で[□□]▶[設定]▶[セキュリティ]

2 項目を選ぶ

- Google Play プロテクト:アプリや本端末に不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
- デバイスを探す:Googleアカウントによる遠隔操作で、本端末の位置情報を検出したり、タッチパネルのロックや[全データを消去(出荷時リセット)]を実行できるようにするか設定します。
- セキュリティ アップデート:ソフトウェアアップデートを行います。ソフトウェアアップデートについては☞P.210「ソフトウェアアップデート」
- Google Play システム アップデート:Googleのシステムアップデートを確認します。
- 画面ロック:タッチパネルのロック解除方法やタッチパネルのロック動作について設定します。
- 顔認証:顔認証に使う顔を登録します。顔を登録すると、画面ロックを顔認証でも解除できるようになります。顔認証については☞P.164「顔認証」
- 指紋:指紋認証に使う指の指紋を登録します。指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。指紋認証については☞P.165「指紋認証」
- Smart Lock:画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているとき、信頼できる場所や信頼できるデバイスなどを確認した場合は、タッチパネルのロックをスワイプで解除するように設定します。
- デバイス管理アプリ:アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
- SIM カードロック:SIM カードロックについては☞P.48「PINコードを設定する」
- 暗号化と認証情報:スマートフォンの暗号化の状態を確認したり、認証情報について設定します。
- 信頼エージェント:タッチパネルのロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
- アプリ固定:選択したアプリの画面以外が表示できないようにします。画面の固定/解除の方法については☞P.57「アプリ使用履歴」
- SIM の削除の確認:eSIMの情報を消去する前に本人確認を行うか設定します。

[画面ロック]について

- 設定項目は次のとおりです。
  - なし:タッチパネルのロック画面を表示しません。
  - スワイプ:画面を上にスワイプしてロックを解除するように設定します。
  - パターン:4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
  - PIN:4～16桁の数字を設定します。
  - パスワード:4～16桁の英数字と半角記号を設定します。
    - 一部の半角記号は利用できません。
- 画面ロックを[パターン]/[PIN]/[パスワード]に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。

- 画面ロックを[パターン]／[PIN]／[パスワード]に設定している場合、(電源キー)＋(+)を押したときに表示されるメニューに、[ロックダウン]が表示されます。[ロックダウン]をタッチすると、一時的にSmart Lockや指紋認証、顔認証によるロック解除を無効にし、ロック画面に通知が表示されなくなります。
- 顔を登録している場合は顔認証でも解除することができます。
  - 顔認証に3回連続して失敗すると、顔認証によるロック解除ができなくなります。画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- 指紋を登録している場合は指紋認証でも解除することができます。
  - 指紋認証に5回連続して失敗すると、一定時間指紋によるロック解除ができなくなります。しばらくしてから再度操作するか、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- [パターン]／[PIN]／[パスワード]の入力を間違えると、間違えた回数に応じて一定時間ロック解除ができなくなります。
  - ■ 5回連続：30秒間
  - ■ 10回連続：30秒間

  10回連続して間違えた場合、それ以降に間違えるごとに30秒間入力ができません。ロックを解除すると、カウントはリセットされます。
- 画面ロックの[⚙]をタッチすると、次の項目を設定することができます。画面ロックの設定によって、表示される項目は異なります。
  - ■ パターンを表示する：パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
  - ■ 画面消灯後からロックまでの時間：タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
  - ■ 電源ボタンですぐにロックする：(電源キー)を押してディスプレイの表示を消したときに、[画面消灯後からロックまでの時間]で設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするか設定します。
- [パターン]／[PIN]／[パスワード]を忘れた場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

[暗号化と認証情報]について

- 証明書を削除した場合、[信頼できる認証情報]からは証明書の参照ができなくなりますが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。
- [認証ストレージの消去]をタッチすると、VPNの設定も削除されます。

顔認証

顔認証は、所有者の顔を認識する認証機能です。
タッチパネルのロック解除などを行うことができます。

■ 顔認証機能利用時のご注意

- 顔認証を最適な形で実現するために、顔の登録時に以下の点に注意してください。
  - 明るい場所で顔を登録してください。ただし逆光となる場所では顔を登録しないでください。
  - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないでください。
  - 顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、頭を動かしたり、目を閉じたりしないようにしてください。
- ロック画面で顔認証を行う際は、以下の点に注意してください。
  - 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がる場合があります。
  - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
  - 自分に似た人やモノでもロック解除されてしまう場合があります。

■ 顔の登録

顔認証に使う顔データを登録します。

- 顔は1件のみ登録できます。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しておいてください(☞P.162「セキュリティ」)。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[顔認証]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 [次へ]

- [持ち上げると画面点灯する機能を有効にする]を有効にして顔を登録すると、[持つと画面点灯]がONになります(☞P.159「Bright Keep」)。

3 内容を確認▶[OK]

- はじめて利用するときは、カメラのアクセス許可についての確認画面が表示されます。[アプリの使用時のみ]を設定してください。

4 登録する顔を画面に表示する

5 顔認証のタイミングを選ぶ▶[OK]

- [見るだけですぐ]を選択すると、タッチパネルのロック画面で顔認証を行います。
- [画面の表示(時計や通知など)を見てから]を選択すると、タッチパネルのロック画面で画面を上にスワイプしたあとの画面で顔認証を行います。

- 画面ロックを[なし]か[スワイプ]に設定すると、登録した顔が削除されますので、ご注意ください。

■ 顔認証の管理

顔を登録済みの場合に顔データの削除などができます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[顔認証]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 顔認証を管理する

- 登録した顔データの削除:[顔データの削除]▶[はい]
  - 削除後、[顔データの登録]をタッチすると、顔データを登録することができます。
- 顔認証のタイミングの変更:顔認証のタイミングを選択
- 顔認証について確認:[⋮]▶[顔認証とは]
- 注意事項の確認:[⋮]▶[注意事項]

■ 顔認証機能の利用

1 設定した顔認証のタイミングの画面でディスプレイを見る

指紋認証

指紋認証は、指紋センサーを指でタッチして行う認証機能です。タッチパネルのロック解除などを行うことができます。

■ 指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋認証は、指紋画像の特徴情報を利用して認証を行います。指紋画像の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能(指紋センサーを正しく指でタッチした際に指紋が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - ■ お風呂上がりなどで指がふやけている
  - ■ 指が乾燥している
  - ■ 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
  - ■ 指が泥や油で汚れている
  - ■ 指が汗などで濡れている
  - ■ 手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
  - ■ 指の表面が磨耗して指紋が薄い
  - ■ 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - ■ 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本端末を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障、破損の原因となることがあります。また、センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなど先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指を離すのが早すぎると、正常に認識できないことがあります。指紋が認証されてから、指を離してください。
- 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。
- 指紋を登録または認証する際は、画面をしっかりと押してください。
- 画面保護フィルムを装着していたり、画面内の指紋センサー部分が汚れていると、ロック解除ができない場合があります。
- 画面保護フィルムを装着する場合は、指紋センサーに対応したフィルムをご利用ください。
  また、画面保護フィルムを装着した状態で指紋を登録してください。
- 指紋の認証中は、画面の明るさと色設定が若干変わることがあります。

■ 指紋の登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。
- 読み取りに失敗する場合は、指を変えることで認証性能が改善されることがあります。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しておいてください(☞P.162「セキュリティ」)。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[指紋]

- ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[指紋センサーとPayトリガー]でも指紋を設定できます。
- 登録済みの指紋が2件以上ある場合は、[2本指認証]をONにすることで2本の指を組み合わせた指紋認証を使用できます(☞P.167「2本指認証」)。

2 [指紋登録]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

3 [同意する]

4 指紋センサーを指の腹でタッチ

- 指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。
  - 指紋認証ができない場合は、画面ロックで設定した方法でロックを解除します。

5 [完了]

- 続けて別の指紋を登録する場合は、[別の指紋を登録]を選択してください。

- 画面ロックを[なし]か[スワイプ]に設定すると、登録した指紋が削除されますので、ご注意ください。

■ 指紋の管理

指紋の追加や削除、登録名の変更ができます。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[指紋]

- ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[指紋センサーとPayトリガー]でも指紋を設定できます。
- 登録済みの指紋が2件以上ある場合は、[2本指認証]をONにすることで2本の指を組み合わせた指紋認証を使用できます(☞P.167「2本指認証」)。

2 [指紋登録]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

3 指紋を管理する

- 指紋を追加:[指紋を追加]▶画面の指示に従って操作
- 登録名の変更:登録済みの指紋をタッチ▶名前を入力▶[OK]
- 登録した指紋の確認:指紋センサーを指の腹でタッチ
  - 登録した指紋がハイライト表示されます。
- 登録した指紋の削除:登録済みの指紋の[🗑]▶[削除]

■ 指紋認証機能の利用

1 タッチパネルのロック画面／指紋の認証画面で指紋センサーを指の腹でタッチ

- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、再度操作してください。

■ 2本指認証

2本の指を組み合わせた指紋認証ができます。

- あらかじめ2件以上の指紋を登録しておいてください。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[指紋]

- ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[指紋センサーとPayトリガー]でも2本指認証を設定できます。

2 [2本指認証]をONにする

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- [2本指認証]をタッチすると、2本指認証を使用する画面を設定できます。

3 [設定する]

- 2本指認証を[すべての画面で2本指認証を使用する]に設定した場合は、[画面OFF時でも指紋センサーに触れるとロックを解除](☞P.153「ロック画面」)／[画面消灯中にセンサーに触れるとロックを解除](☞P.168「画面消灯中にセンサーに触れるとロックを解除」)を設定できません。

■ Payトリガー

指紋による画面ロックの解除時に、指紋センサーをロングタッチして設定したアプリを起動することができます。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[指紋センサーとPayトリガー]

2 [Payトリガー]をONにする

- [Payトリガー]をタッチすると起動する機能を変更したり、複数のアプリを登録したフォルダを表示するか設定したりできます。

■ 画面消灯中にタップで指紋センサーを表示

画面消灯中に画面をタッチして、指紋センサーを表示できます。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[指紋センサーとPayトリガー]

2 [画面消灯中にタップで指紋センサーを表示]をONにする

■ 画面消灯中にセンサーに触れるとロックを解除

画面消灯中でも指紋認証によるロック解除ができます。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[AQUOSトリック]▶[指紋センサーとPayトリガー]

2 [画面消灯中にセンサーに触れるとロックを解除]をONにする

- 2本指認証を[すべての画面で2本指認証を使用する]（☞P.167「2本指認証」）に設定した場合は、[画面消灯中にセンサーに触れるとロックを解除]を設定できません。

プライバシー

権限やアカウントアクティビティ、個人データなどのプライバシーに関する設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[プライバシー]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[位置情報]

2 [位置情報を使用]をONにする

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[設定する]を選択してください。
- [最近のアクセス]がある場合は、アプリをタッチすると位置情報の権限などを確認できます。
  - [すべて表示]をタッチすると一覧が表示されます。

3 項目を選ぶ

- アプリへの位置情報の利用許可:位置情報の利用を許可するアプリを設定します。
- 位置情報サービス:ロケーション履歴や現在地の共有機能などGoogleの位置情報サービスや、その他の位置情報サービスについて設定します。
  - Googleの位置情報サービスの利用には、Googleアカウントの登録が必要です。

- 現在地を測位するためには、[位置情報を使用]をONに設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

緊急情報と緊急通報

緊急時情報や緊急 SOS、緊急速報「エリアメール」などについて設定します。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[緊急情報と緊急通報]

2 項目を選ぶ

- 緊急時情報:医療に関する情報や緊急連絡先を登録できます。
- 緊急 SOS:[⏻](電源キー)をすばやく5回以上押すことで、設定した緊急通報先に自動で発信する緊急 SOS機能について設定します。
- 緊急位置情報サービス:緊急位置情報サービスを利用するか設定します。
- 緊急速報メール:緊急速報「エリアメール」の設定を行います。緊急速報「エリアメール」については☞P.99「緊急速報「エリアメール」」

ドコモのサービス／クラウド

ドコモサービスの設定を行います。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ドコモのサービス／クラウド]

2 項目を選ぶ

- dアカウント設定：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
- ドコモアプリデータバックアップ：各アプリのデータバックアップ／復元の設定やデータがバックアップされたアプリの一覧を確認します。
- ドコモアプリ管理：ドコモが提供するアプリのアップデートなどについて設定します。
- おすすめアプリ：おすすめアプリの設定や過去に受信した通知の確認ができます。
- おすすめ使い方ヒント：おすすめ使い方ヒントの設定や過去に表示されたヒントの確認ができます。
- スグアプ設定：スマホを振るなどの直感操作で、スグにアプリの起動や電話の操作ができます（☞P.59「スグアプ」）。
- ドコモ位置情報：イマドコサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
- 端末情報送信：端末情報をドコモが管理するサーバへ送信するか設定します。
- 会員情報／プロフィール情報設定：ドコモサービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を確認したり、変更したりできます。
- ドコモ初期設定：ドコモサービスの初期設定を行います。
- USBデバッグ切替：ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。
- オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

- ドコモのサービス／クラウドに表示されるアプリの中には無効にすることができるものがあり、無効にされたアプリは、ドコモのサービス／クラウドには表示されなくなる場合があります。
- ドコモ提供のアプリを新しくダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドに表示される場合があります。

パスワードとアカウント

アカウントの追加や設定、データの同期、アカウントに保存したパスワードなどについて設定します。

- Googleなどのアカウントの設定については☞P.46「Google などのアカウントの設定を行う」

データの同期

本端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、本端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

自動同期するとき

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[パスワードとアカウント]

2 [アプリデータを自動的に同期する]▶[OK]

- 同期する項目の設定：アカウントを選ぶ▶[アカウントの同期]▶項目を選ぶ

- 本体メモリの電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

手動同期するとき

- [アプリデータを自動的に同期する]がOFFのときは、選択した項目を手動で同期できます。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[パスワードとアカウント]

2 アカウントを選ぶ▶[アカウントの同期]

3 同期する項目を選ぶ

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。また、本端末の使用制限について設定します。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[Digital Wellbeing と保護者による使用制限]

- Digital Wellbeing ツールが展開されていない場合は、[データを表示]をタッチして項目を表示してください。
- 端末の使用制限について設定する場合は、[保護者による使用制限を設定する]をタッチし、画面の指示に従って操作してください。

2 項目を選ぶ

- ダッシュボード:端末の利用時間や受信した通知の数などを確認できます。また、アプリの利用時間に制限を設けることができます。
- おやすみ時間モード:指定した時間に画面をグレースケールにしたり、サイレント モードを設定したりします。
- フォーカス モード:アプリを一時停止できます。
- 通知を管理:アプリごとに通知を許可するか設定します。
- サイレント モード:サイレント モードについては☞P.151「サイレント モード」
- 前方注意:歩きながらの本端末の使用をやめるよう促す機能について設定します。
- アプリの一覧にアイコンを表示:アプリ一覧画面にDigital Wellbeing と保護者による使用制限のアイコンを表示するか設定します。

Google™

Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[Google]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

システム

画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。

1 ホーム画面で[⁘]▶[設定]▶[システム]

2 項目を選ぶ

- 言語と入力:言語と入力については☞P.173「言語と入力」
- ジェスチャー:ジェスチャーについては☞P.174「ジェスチャー」
- 日付と時刻:日付と時刻については☞P.175「日付と時刻」
- バックアップ:Googleアカウントを利用して、アプリのデータや本端末の設定などを自動的にバックアップするか設定します。
- システム アップデート:ソフトウェアアップデートを行います。ソフトウェアアップデートについては☞P.210「ソフトウェアアップデート」
- データ引継:データ引継については☞P.176「データ引継」
- リセット オプション:リセット オプションについては☞P.177「リセット オプション」
- ハードウェアに関するフィードバック:ハードウェアに関するフィードバックを行うか設定します。
- 電源メニュー:電源メニューを表示します。

言語と入力

画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面で[⁘]▶[設定]▶[システム]▶[言語と入力]

2 項目を選ぶ

- 言語:表示言語を選択します。
- 画面キーボード:ソフトウェアキーボードについて設定します。
- 物理キーボード:Bluetoothなどで接続したキーボードについて設定します。
- スペルチェック:スペルチェックについて設定します。
- 単語リスト:任意の単語を単語リストに登録します。
- ポインタの速度:ポインタの速度を設定します。
- テキスト読み上げの設定:端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

[スペルチェック]について

- 日本語には対応しておりません。

ジェスチャー

(電源キー)を押したときの動作など、端末の操作について設定します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[システム]▶[ジェスチャー]

2 項目を選ぶ

- カメラをすばやく起動:(電源キー)を2回押して「カメラ」アプリを起動するか設定します。
- システム ナビゲーション:本端末の操作方法を設定します。ジェスチャー ナビゲーションについては☞P.174「システム ナビゲーションを変更する」、3 ボタン ナビゲーションについては☞P.50「ナビゲーションバー」
- 片手モード:ジェスチャー操作やユーザー補助ボタンを利用して画面を下方向に縮小したり、通知を表示したりできます。
- 画面OFF時にタップして指紋センサーと時計を表示:画面OFF時にタップして指紋センサーと時計を表示については☞P.153「ロック画面」
- 電源キー長押しでアプリ起動:(電源キー)を長押ししたときに起動するアプリを設定します。
  - OFFにすると、電源メニューの表示方法が(電源キー)の長押しに変更されます。
- 着信音のミュート:[電源キー長押しでアプリ起動]がOFFのときに、(電源キー)と(+)を同時に押して、マナーモードを設定できるようにします。
  - [バイブレーション]を選択するとマナーモード(バイブ)に、[ミュート]を選択するとマナーモード(ミュート)に設定されるようになります。

■ システム ナビゲーションを変更する

本端末の操作方法を変更できます。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[システム]▶[ジェスチャー]▶[システム ナビゲーション]

2 [ジェスチャー ナビゲーション]

- ナビゲーションバーは非表示になります。

● お買い上げ時は[3 ボタン ナビゲーション]に設定されています。

ジェスチャー操作

ホーム画面の表示やアプリの切り替えなどの操作を画面のスワイプで行うことができます。

動作	操作
ホーム画面の表示	画面下端から画面中央へ向けてスワイプ
1つ前の画面に戻る	画面右端／画面左端から画面中央へ向けてスワイプし、画面に[〈]が表示されたら指を離す
アプリ使用履歴画面の表示	画面下端から画面中央へ向けてスワイプし、指を止めたあと離す
アシスタントアプリの起動	画面右下／左下から画面中央へ向けてスワイプ ● 起動するアプリについては☞P.51「アシスト機能の利用」
1つ前に使用していたアプリを表示	画面下端から右にスワイプ

● ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[システム]▶[ジェスチャー]▶[システム ナビゲーション]▶[ジェスチャー ナビゲーション]の[⚙]をタッチすると、アシスタントアプリを起動するジェスチャーのON／OFFを切り替えたり、1つ前の画面に戻るジェスチャーの感度を設定したりできます。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[システム]▶[日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- ■ 日時を自動的に設定：日時を自動的に補正するか設定します。
- ■ 日付：日付を手動で設定します。
- ■ 時刻：時刻を手動で設定します。
- ■ タイムゾーンを自動的に設定：ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- ■ タイムゾーンの設定に位置情報を使用：位置情報に基づいてタイムゾーンを自動で補正するか設定します。
- ■ タイムゾーン：タイムゾーンを手動で設定します。
- ■ 言語 / 地域で一般的な形式を使用する：ユーザーの言語／地域の標準に合わせ、時刻の表示形式を自動的に切り替えるか設定します。
- ■ 24時間表示：12時間制／24時間制を手動で切り替えます。

[日時を自動的に設定]をONにしたとき

- ● 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- ● 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- ● 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

データ引継

別のAndroid端末からBluetooth機能を利用して電話帳データを取り込んだり、従来の携帯電話からmicroSDカードを経由してデータを取り込んだりできます。

- 取り込むことができるデータは次のとおりです。
  - 電話帳
  - SMS※
  - カレンダー※
  - メモ帳※
  - ユーザー辞書／学習辞書(S-Shoin)※
  - エモパー※

  ※microSDカード経由で取り込み可能です。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

■ Bluetooth経由で電話帳データを取り込み

1 ホーム画面で[▫▫▫▫]▶[設定]▶[システム]▶[データ引継]

2 [データ取り込み]▶[Bluetooth経由で電話帳データを取り込み]

3 [次へ]

4 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする▶[次へ]

- 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。

5 取り込み元の端末を選ぶ

6 [開始]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。
- 連絡先へのアクセス許可を有効にするなど、取り込み元の端末で操作が必要な場合は行ってください。

7 [次へ]

8 [追加登録]／[削除して登録]▶[OK]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

9 [OK]

■ SDカード経由でデータを取り込み

1 ホーム画面で[▫▫▫▫]▶[設定]▶[システム]▶[データ引継]

2 [データ取り込み]▶[SDカード経由でデータを取り込み]

3 [取り込む]

4 取り込むデータカテゴリを選ぶ▶取り込むバックアップファイルを選ぶ▶[追加登録]／[削除して登録]

- データの保存や機内モードの設定に関する確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

5 [完了]

- 電池残量が少ないときは取り込みできません。
- ユーザー辞書／学習辞書(S-Shoin)、エモパーは追加登録できません。[追加登録]を選択しても、既存のデータが削除されますので、ご注意ください。

■ バックアップファイルの設定・管理

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[システム]▶[データ引継]

2 [⋮]▶[設定]

3 項目を選ぶ

- ■ バックアップファイルの整理:保存されているバックアップデータを削除できます。
- ■ 電話帳画像バックアップ:電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
- ■ 結果画面閲覧:最新のバックアップファイルの保存／取り込みの結果を表示します。

リセット オプション

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[システム]▶[リセット オプション]

2 項目を選ぶ

- ■ Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット:Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetoothに関する設定をすべてリセットします。
- ■ アプリの設定をリセット:アプリに設定した内容をリセットします。
- ■ ダウンロードされた eSIM を消去:eSIMの情報を削除します。
- ■ 全データを消去(出荷時リセット):本体メモリ内のすべてのデータをリセットします。

[Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット]について

- [ダウンロードされた eSIM を消去]を有効にすると、eSIMの情報も同時に消去されます。

[全データを消去(出荷時リセット)]について

- [SDカード内データを消去]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。
- [ダウンロードされた eSIM を消去]を有効にすると、eSIMの情報も同時に消去されます。
- 消去されるデータは次のとおりです。
  - ■ 作成、保存、登録したデータ
  - ■ システムやアプリのデータ、設定値
  - ■ ダウンロードしたアプリ
  - ■ Googleアカウント

デバイス情報

デバイス情報の確認ができます。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[デバイス情報]

2 項目を選ぶ

- デバイス名:デバイス名を変更できます。
- 電話番号(SIM スロット 1)/(SIMスロット 2):電話番号を確認できます。
- 法的情報:著作権情報や利用規約などを確認できます。
- 規制ラベル:技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- 電池の状態:電池の状態を確認できます。
- SIM ステータス(SIM スロット1)/(SIM スロット 2):SIMの情報を確認できます。
- モデル:モデル名やシリアル番号などを確認できます。
- IMEI(SIM スロット 1)/(SIM スロット 2):IMEI情報を確認できます。
- Android バージョン:Android バージョンなどを確認できます。
- IP アドレス:IPアドレスを確認できます。
- Wi-Fi MAC アドレス:Wi-Fi MACアドレスを確認できます。
- デバイスの Wi-Fi MAC アドレス:デバイスのWi-Fi MACアドレスを確認できます。
- Bluetoothアドレス:Bluetoothアドレスを確認できます。
- 稼働時間:端末の稼働時間を確認できます。
- ビルド番号:ビルド番号を確認できます。

お困りのときは

「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[お困りのときは]

2 項目を選ぶ

- よくあるご質問:シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
- 設定項目を検索:検索入力欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 使いこなしガイド:My AQUOSの「スマホの便利な使い方」を確認できます。
- アプリでのカメラ読み取り精度を向上:ONにした場合、一部アプリでバーコードや文字などの情報を読み取るときの精度が改善する可能性があります。
  - 読み取り終了後は、設定をOFFに戻してください。
- セルフチェック:症状や機能を選択して、端末の診断を行います。セルフチェックの詳細については☞P.179「セルフチェック」
- 電源メニュー:電源メニューを表示します。

■ セルフチェック

1 ホーム画面で[⁞⁞]▶[設定]▶[お困りのときは]▶[セルフチェック]

- セーフモードで再起動:[⋮]▶[セーフモードで再起動]▶[OK]

2 [診断する]

3 [症状から選ぶ]／[診断したい箇所を選ぶ]

- [ストレージを確保する]をタッチすると、アプリが一時的に使用しているキャッシュを削除して、空き容量を確保します。
- [よくあるご質問]をタッチすると、シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。

4 項目を選ぶ

- [診断したい箇所を選ぶ]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[?]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止:[スキップ]▶[診断中止]
- 診断項目のスキップ:[スキップ]▶[スキップ]
- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

7 [診断を終了する]

ファイル管理

ストレージ構成

■ 本体メモリ(内部ストレージ)

本端末内にデータを保存できます。

- 本体メモリのストレージ名とパスは次のとおりです。
  - ストレージ名:内部ストレージ
  - パス:/storage/emulated/0
- お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。
  - 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
Audiobooks	オーディオブックなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画や動画が保存されます。
Documents	テキストデータなどが保存されます。
Download	Chromeでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
Recordings	録音されたデータなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

■ microSDカード(外部ストレージ)

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- microSDカードについてはP.39「microSDカード」

ファイル操作

本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理(フォルダの作成やフォルダ/ファイルの名称変更、削除、移動、コピーなど)ができます。また、データを削除して本体メモリの空き容量を増やすことができます。

- ここでは、「Files」での操作について説明します。

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ▶[Files]

2 [見る]

- 最近使用したファイル、カテゴリ、ストレージ デバイスなどが表示されます。
- microSDカードを取り付けている場合は、ストレージ デバイスに[SD カード]が表示されます。

3 ストレージ デバイスからストレージを選ぶ

- データ一覧画面が表示されます。

■ フォルダを作成

1 データー覧画面で[⋮]▶[新しいフォルダを追加]

2 フォルダ名を入力▶[フォルダを作成]

■ フォルダ名／ファイル名を変更

1 データー覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ

2 [⋮]▶[名前を変更]

3 フォルダ名／ファイル名を入力▶[OK]

■ フォルダ／ファイルを削除

1 データー覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ

2 [⋮]▶[完全に削除]▶[削除]

■ フォルダ／ファイルを移動／コピー

1 データー覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ

2 [⋮]▶[移動]／[コピー]

3 移動先／コピー先で[ここに移動]／[ここにコピー]

■ ファイルを検索

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ▶[Files]

2 [見る]

3 [🔍]

4 検索するキーワードを入力▶[🔍]

■ 本体メモリの空き容量を増やす

不要なデータや使用していないアプリなどを削除して、本体メモリの空き容量を増やすことができます。

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ▶[Files]

2 [削除]

3 空き容量を増やす方法を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

データ通信

Bluetooth®機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 対応バージョンや出力については☞P.216「主な仕様」

■ 対応プロファイル(対応サービス)

- プロファイルとは、Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。本端末は次のプロファイルに対応しています。
  - HSP:Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)※1
  - HFP:Hands Free Profile(ハンズフリープロファイル)※2
  - A2DP:Advanced Audio Distribution Profile(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)※3
  - AVRCP:Audio/Video Remote Control Profile(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)※3
  - HID:Human Interface Device Profile(ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル)※4
  - OPP:Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)※5
  - SPP:Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)※6
  - PBAP:Phone Book Access Profile(フォンブックアクセスプロファイル)※7
  - PAN:Personal Area Networking Profile(パーソナルエリアネットワークプロファイル)※8
  - HOGP:HID Over GATT Profile(エイチアイディーオーバーガットプロファイル)※9

※1 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。

※2 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。

※3 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。

※4 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。

※5 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。

※6 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。

※7 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。

※8 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetooth テザリングを行うこともできます。

※9 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ■ 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ■ 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
  - ■ 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - ■ Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - ■ 電車内
  - ■ 航空機内
  - ■ 病院内
  - ■ 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ■ ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n/ax）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[接続済みのデバイス]▶[接続の設定]▶[Bluetooth]

2 [Bluetooth を使用]をONにする

3 [新しいデバイスとペア設定]

4 Bluetooth機器を選ぶ▶[ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- [Bluetooth]をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、本体設定の[接続済みのデバイス]を表示しておいてください。

- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求／接続要求

2 ペア設定画面で[ペアする]

- ステータスバーに[ ]が表示された場合はステータスバーを下にドラッグ▶[ペアに設定して接続]▶[ペア設定する]と操作してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の管理

1 ホーム画面で[⋮⋮]▶[設定]▶[接続済みのデバイス]

- 接続中／接続解除中のBluetooth機器が表示されます。
  - [すべて表示]をタッチすると、接続解除中のBluetooth機器の一覧が表示されます。

2 Bluetooth機器を選ぶ

- [⚙]が表示されている場合は、[⚙]をタッチしてください。

3 Bluetooth機器を管理する

- 利用する機能をタッチして、ON／OFFを切り替えることができます。
- 名称変更：[✎]▶名前を入力▶[名前を変更]
- 接続／接続解除：[接続]／[接続を解除]
- 登録解除：[削除]▶[このデバイスとのペア設定を解除]

■ 本端末の名称変更

相手のBluetooth機器に表示される本端末の名称を変更できます。

- [Bluetooth]をONにしてから設定してください。

1 ホーム画面で[⋮⋮]▶[設定]▶[接続済みのデバイス]▶[接続の設定]▶[Bluetooth]

2 [デバイス名]

3 名前を入力▶[名前を変更]

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例：静止画のとき

1 ホーム画面で[フォト]

2 送信する静止画をロングタッチ

3 [<]▶アプリで共有の[その他]▶[Bluetooth]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

4 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

1 送信側のBluetooth機器からデータ送信

2 ステータスバーを下にドラッグ▶着信通知の[承諾]

3 ステータスバーを下にドラッグ▶受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ＩＣカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

- Reader／Writer, P2P機能の設定については☞P.144「接続の設定」

外部機器接続

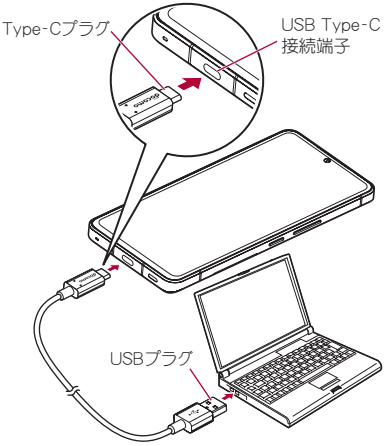
パソコンなどとの接続

本端末とパソコンなどを接続することで、本端末または相手機を充電したり、本体メモリまたはmicroSDカードのデータを転送したりできます。
USBケーブル A to C 02(別売)を使って接続する場合は、次の操作を行います。

1 USBケーブル A to C 02のType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

2 USBケーブル A to C 02のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む

- 本端末にUSBの設定画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして、USB接続の使用方法についての通知を選んでください。



パソコンと接続する場合

3 [USB の制御元]でデバイス側を選ぶ

- 接続済みのデバイス:接続済みの相手端末がデバイスになります。
- このデバイス:本端末がデバイスになります。

- 接続する相手機によっては[このデバイス]から[接続済みのデバイス]に切り替えることができません。この場合、デバイス側は本端末に設定されます。
  - [接続済みのデバイス]を選択してデバイス側を切り替えることができる相手機はRole Swap対応機器です。Role Swap対応機器を市販の両プラグがType CのUSBケーブルで接続した場合に切り替えることができます。この場合、相手機をホスト／本端末をデバイスにして相手機から本端末のストレージ(本体メモリまたはmicroSDカード)のデータを操作したり、本端末をホスト／相手機をデバイスにして本端末から相手機のストレージのデータを操作できます。

4 [USB の接続用途]でUSB接続の使用方法を選ぶ

- ファイル転送 / Android Auto:MTP対応の相手機と本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。また、Android Auto対応機器と接続する場合に使用します。
- USB テザリング:USB テザリングについては☞P.143「テザリング」
- MIDI:端末をMIDI入力に使用します。
- PTP:PTP対応の相手機と本体メモリまたはmicroSDカードの間で静止画、動画を転送します。
- 充電:端末の充電のみ利用できます。
- [USB の制御元]で[このデバイス](本端末がデバイス)の場合に設定できます。
  [接続済みのデバイス]に設定している場合は、相手機(相手機側で[このデバイス]に設定)で操作してください。

5 利用が終わったら、USBケーブル A to C 02を取り外す

- 本端末に対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 一度に大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- データのやりとりをしているときは、USBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- Windows 8.1／Windows 10／Windows 11以外のOSでの動作は、保証していません。

Role Swap対応機器を接続した場合の充電について

- USBの設定画面で[接続デバイスの充電]をONに設定すると相手機を充電することができます。

本端末に保存された動画の転送について

- USBの設定画面で[動画を AVC に変換]をONに設定すると、本端末に保存された動画を転送するときに、動画の形式を自動でH.264(AVC)形式に変換することができます。

USB3.1対応のUSBケーブルでの接続について

- お買い上げ時は、USB2.0規格になっています。
  USBの設定画面で[USB3.1で接続する]を有効にすると、USBのデータ通信速度が向上しますが、使用環境によっては、データ通信の接続が途中で不安定になることがあります。

プリントサービスによる印刷／保存

印刷用アプリ（プラグイン）を利用して画像を印刷したり、PDF形式で保存したりできます。

例：フォトを利用するとき

1 フォトの画像表示画面で[⋮]▶[印刷]

2 各項目を設定

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルをUSB Type-C接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください（P.148「ストレージ」）。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

キャスト

キャスト対応のテレビなどに端末の画面と音声を出力します。

- 接続機器側の操作については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面で[⋮⋮]▶[設定]▶[接続済みのデバイス]▶[接続の設定]▶[キャスト]

2 接続する機器を選ぶ

- キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン（[ ]など）が表示される場合があります。
- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、出力ができない場合があります。
- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- 出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどを障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご利用ください。
- Miracast®機器との接続には対応していません。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[VPN]▶[＋]

2 各項目を設定▶[保存]

VPNの接続

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[VPN]

2 接続するVPNを選ぶ

3 VPNの接続情報を入力▶[接続]

VPNの切断

1 ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[VPN]▶画面の指示に従って操作

海外利用

海外滞在中に本端末で電話をかけたり、国際ローミング時やネットワークサービスなどについて設定することができます。

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。国際ローミング(WORLD WING)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/world/roaming/

対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信※	○	○	○	○

※ローミング時にパケット通信を利用するには、[データローミング]をONにしてください(☞P.192「データローミング」)。

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、ステータスパネルで確認できます(☞P.56「ステータスパネルの利用」)。

海外でご利用になる前に

■ ご出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ahamoプランでご利用になる場合、WORLD WINGのお申し込みは不要で廃止はできません。

充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

料金について

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は、日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。また、ahamoプランでご利用になる際は、必ずahamoのホームページで詳細をご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

■ 事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、[遠隔操作設定]を開始にする必要があります。渡航先で[遠隔操作設定]を行うこともできます。日本国内から☞P.89「ネットワークサービス」、海外から☞P.197「ネットワークサービス(海外)」
- 設定/解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

■ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者/ネットワークに接続されます。

接続について

[ネットワークを自動的に選択]をONに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します(☞P.193「通信事業者の設定」)。

海外で利用するための設定

データローミング

海外でパケット通信を行うためには、[データローミング]をONにする必要があります。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、SIMを選択してください。

2 [データローミング]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

優先ネットワークタイプ

使用するネットワークを設定します。

1 ホーム画面で[⊞]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、SIMを選択してください。

2 [優先ネットワークタイプ]

3 項目を選ぶ

- 5G／4G／3G／GSM：5G／4G(LTE)／3G／GSM／GPRSネットワークを利用します。
- 4G／3G／GSM：4G(LTE)／3G／GSM／GPRSネットワークを利用します。
- 3G／GSM：3G／GSM／GPRSネットワークを利用します。
- GSM：GSM／GPRSネットワークを利用します。

通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で[⁙]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合は、SIMを選択してください。

2 [ネットワークを自動的に選択]をOFFにする

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。

3 通信事業者のネットワークを選ぶ

- 設定後、別の通信事業者のネットワークを選ぶ場合は[ネットワークを選択]をタッチし、通信事業者のネットワークを選びます。

[ネットワークを自動的に選択]について

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、[モバイルデータ]をOFFにし(☞P.140「モバイル ネットワーク」)、再度操作してください。
- 自動でネットワークを切り替える場合は、ONに設定してください。

日付と時刻

日付と時刻の[日時を自動的に設定]、[タイムゾーンを自動的に設定]をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については☞P.175「日付と時刻」

お問い合わせ

- 本端末やnanoSIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。
- ahamoプランをご利用の場合、ahamoのホームページからお問い合わせください。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国・地域へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国・地域へ簡単に国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で[ ]▶[ ]

2 「+」(「0」をロングタッチ)▶国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 [音声通話]

4 通話が終了したら[ ]

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国から他の国・地域へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- あらかじめ[ダイヤルアシスト]をONに設定する必要があります(☞P.197「ダイヤルアシスト」)。
- あらかじめ相手先の電話番号を電話帳に登録しておいてください(☞P.90「電話帳の登録」)。
  - 一般電話の場合は、地域番号(市外局番)も含めて登録する必要があります。
- 地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

1 ホーム画面で[ ]▶[ ]

2 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力します。
- 入力した電話番号に一致する連絡先が候補として表示されます。

3 電話をかける連絡先の[ ]

- 画面下部の[音声電話]をタッチすると、国際ダイヤルアシストは機能しません。

4 通話が終了したら[ ]

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で[ ]▶[ ]

2 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力します。

3 [音声通話]

4 通話が終了したら[ ]

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。
  +(「0」をロングタッチ)-81(日本の国番号)-先頭の「0」を除いた電話番号

滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国・地域からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」(日本の国番号)をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80、70)-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[📞]

2 [⋮]▶[設定]▶[通話アカウント]▶SIMを選ぶ

3 [ネットワークサービス・海外設定]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

4 [海外設定]

5 項目を選ぶ

- ローミング時着信規制:国際ローミング中に着信を規制することができます。
- ローミング着信通知:国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- ローミングガイダンス:国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
- ネットワークサービス:滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。ネットワークサービスについては☞P.197「ネットワークサービス(海外)」

ダイヤルアシスト

渡航先から発信する際、国番号の候補を自動的に追加する国際ダイヤルアシストについて設定します。

1 ホーム画面で[ ]

2 [ ]▶[設定]

3 [ダイヤルアシスト]

4 項目を選ぶ

- ダイヤルアシスト：国際ダイヤルアシストを利用するか設定します。
- デフォルトの居住国：国際ダイヤルアシストで自動的に追加される国番号を選択します。

ネットワークサービス(海外)

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、[遠隔操作設定]を開始にする必要があります(☞P.89「ネットワークサービス」)。
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[ ]

2 [ ]▶[設定]▶[通話アカウント]▶SIMを選ぶ

3 [ネットワークサービス・海外設定]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

4 [海外設定]

5 [ネットワークサービス]

6 目的のサービスを選ぶ

- 遠隔操作(有料)：遠隔操作を開始するか設定します。
- 番号通知お願いサービス(有料)：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。
- ローミング着信通知(有料)：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- ローミングガイダンス(有料)：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
- 留守番電話サービス(有料)：電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします(お申し込み必要)。
- 転送でんわサービス(有料)：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます(お申し込み必要)。

7 画面の指示に従って操作

8 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

海外でパケット通信を利用した場合

- [データローミング]をOFFに設定してください(☞P.192「データローミング」)。

帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- 優先ネットワークタイプを[5G／4G／3G／GSM]に設定してください(☞P.192「優先ネットワークタイプ」)。
- [ネットワークを自動的に選択]をONに設定してください(☞P.193「通信事業者の設定」)。

付録

試供品

クイックスイッチアダプター

付属のクイックスイッチアダプター(試供品)を本端末のUSB Type-C接続端子に接続することで、以前のスマートフォンと本端末をケーブルで接続して、簡単にデータを引き継ぐことができます。

- はじめて本端末の電源を入れたときに表示される初期設定画面の「アプリとデータのコピー」で、画面の指示に従ってスマートフォン同士を接続し、データの引き継ぎを行ってください。
  - あらかじめWi-Fiまたはモバイル ネットワークに接続しておいてください。
  - クイックスイッチアダプターを利用したデータ引き継ぎについて詳しくは、次のサイトをご確認ください。
    http://k-tai.sharp.co.jp/support/datacopy/pdf/easy_data_copy.pdf

■ データの引き継ぎ方法

データの引き継ぎを始める前に

- データの引き継ぎに必要なものは次の通りです。
  - ■ 本端末
  - ■ クイックスイッチアダプター
  - ■ 以前のスマートフォン
  - ■ 以前のスマートフォンで使用していたUSBケーブル

データの引き継ぎかた

データの引き継ぎは、はじめてスマートフォンの電源を入れたときに表示される初期設定画面から行います。

- あらかじめ両方のスマートフォンを十分に充電しておいてください。
- iPhone®からデータを引き継ぐ場合は、あらかじめiMessage®とFaceTime®をOFFにしてください。
- iPhoneのデータが暗号化されている場合は、iTunes®のパスワードが必要です。
- 初期設定の完了後にデータの引き継ぎを行うこともできます。詳しくは、左記のサイトをご確認ください。

1 本端末の電源を入れる

2 言語を選ぶ▶[開始]



3 接続するネットワークを選ぶ

- 画面の指示に従って、Wi-Fiまたはモバイル ネットワークに接続してください。



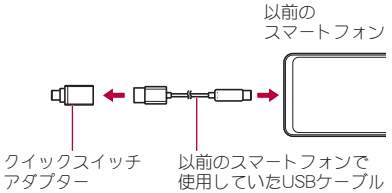
4 [次へ]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

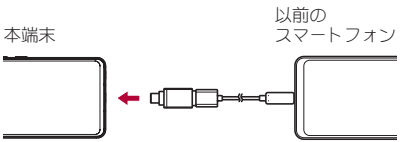


■ **クイックスイッチアダプターの接続方法**

1 以前のスマートフォンで使用していたUSBケーブルのUSB Type-Aプラグを、クイックスイッチアダプターのUSB Type-A接続端子に差し込み、以前のスマートフォンに接続



2 クイックスイッチアダプターのUSB Type-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に差し込む



- **クイックスイッチアダプターは、データの引き継ぎ以外の用途（充電など）には使用しないでください。**

SIM取り出しツール

nanoSIMカードの取り付け／取り外しを行うときに使用します。

- SIM取り出しツールの使いかたについては☞P.28「nanoSIMカードトレイの取り外し／取り付けかた」

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（☞P.210「ソフトウェアアップデート」）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

■ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。☞P.41「充電」
画面が動かない、電源が切れない	• (電源キー)+(+)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。 • バイブレータが動作したあとに指を離すと、電源が切れます。 • 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。
ソフトウェアアップデートに失敗する(画面が動かない、再起動を繰り返す)	• アップデート実施後、ホーム画面まで起動できていない状態であれば、以前のソフトウェアに戻すことで、本端末を復旧できる場合があります。☞P.212「注意事項」

■ 充電

症状	チェック項目
充電ができない	• アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリーソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと本端末が正しくセットされていますか。☞P.42「ACアダプタで充電」 • ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。☞P.42「ACアダプタで充電」 • USBケーブル A to C 02(別売)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 • ワイヤレスチャージャーをご使用の場合、本端末のワイヤレス充電位置とワイヤレスチャージャーの位置を正しく合わせていますか。ワイヤレス充電位置については☞P.34「各部の名称と機能」 • 本端末にカバー(市販品)などを取り付けている場合は取り外してください。また、本端末とワイヤレスチャージャーの間に金属などの異物が挟まっている場合は取り除いたうえで、充電位置を正しく合わせて置き直してください。☞P.43「ワイヤレス充電時のご注意」

症状	チェック項目
充電ができない	• 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。☞P.41「充電時のご注意」 • インテリジェントチャージの[最大充電量を変更]や[画面消灯中のみ充電]をONに設定していませんか。☞P.148「インテリジェントチャージ」 • NTTドコモが指定したアダプタで充電していますか。指定したアダプタで充電しても充電ができない場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

■ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。☞P.41「充電時のご注意」

症状	チェック項目
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 圏外が続く場所では電源を切るか、機内モードを設定してください。☞P.44「電源を切る」、P.138「ネットワークとインターネット」 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞P.216「主な仕様」 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、内蔵電池の交換時期です。 内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」(☞P.213)をご確認ください。 • 使用していないアプリは終了してください。☞P.57「アプリ使用履歴」 • 使用していない無線機能はOFFにしてください。☞P.138「Wi-Fi」、P.184「Bluetooth機能の利用」 • 長エネスイッチを利用すると、電池の消費を抑えることができます。☞P.147「長エネスイッチ」

症状	チェック項目
タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	• 端末の電源が切れていませんか。☞P.44「電源を入れる」
タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い	• 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。☞P.148「ストレージ」
nanoSIMカードが認識しない	• nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。☞P.37「SIMについて」
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日時を自動的に設定]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。☞P.175「日付と時刻」
端末動作が不安定	• お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード※で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	• 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。☞P.145「アプリの有効」 • アプリの動作に必要な権限を設定していますか。☞P.62「アプリの権限を設定する」 • アプリの電池使用量を[制限]に設定していませんか。☞P.147「バッテリー」

※セーフモードとはお買い上げ時に近い状態で起動させる機能です。

- セーフモードの起動方法
  電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でタッチパネルのロック画面が表示されるまで[](−)を押し続けてください。
  ※電源を入れた状態で[](電源キー)+[](+)▶[電源を切る]をロングタッチ▶[OK]と操作しても、セーフモードで再起動ができます。
  また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。☞P.179「セルフチェック」
  ※セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。
  ※セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- ウィジェットによっては消去される場合があります。
- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■ 通話

症状	チェック項目
発信ができない	• 機内モードを設定していませんか。☞P.138「ネットワークとインターネット」
着信音が鳴らない	• 着信音と通知の音量を最小にしていませんか。☞P.149「音」 • 機内モード、マナーモードを設定していませんか。☞P.138「ネットワークとインターネット」、P.150「マナーモード」 • 着信拒否を設定していませんか。☞P.88「着信拒否の設定」 • 通話音声・伝言メモの応答時間設定を「0秒」にしていませんか。☞P.86「通話音声・伝言メモ」 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。☞P.89「ネットワークサービス」
通話ができない（場所を移動しても[ ]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• nanoSIMカードを入れ直すか、電源を入れ直してください。☞P.37「SIMについて」、P.44「電源を入れる／切る」 • eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの設定については☞P.141「eSIMのSIM情報を設定する」 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[ ]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 着信拒否など着信制限を設定していませんか。☞P.88「着信拒否の設定」 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	• 画面の点灯時間を短く設定していませんか。☞P.151「ディスプレイ」 • ディスプレイの明るさを変更していませんか。☞P.151「ディスプレイ」 • [明るさの自動調節]をONに設定していませんか。ONにしている場合は、周囲の明るさによって変わります。☞P.151「ディスプレイ」 • [長エネスイッチ]をONに設定していませんか。☞P.147「長エネスイッチ」

■ 音声

症状	チェック項目
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 通話音量を変更していませんか。☞P.84「通話音量調節」

■ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	• パスワードとアカウントの設定でGmailが自動的に同期しないように設定していませんか。☞P.171「データの同期」

■ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.104「カメラをご利用になる前に」
モバイルライト点灯時に撮影した静止画や動画が白っぽくなる	• カメラのレンズ周辺にケースやカバー、指などがあると、モバイルライトの光が反射して撮影した静止画や動画に悪影響を与える場合があります。

■ おサイフケータイ

症状	チェック項目
おサイフケータイが使えない	• おまかせロックを設定すると、おサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • [NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF]を設定していませんか。☞P.121「NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF」 • 本端末の((マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。☞P.34「各部の名称と機能」、P.121「対向機にかざす際の注意事項」

■ 海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない(電波マークが表示されている場合)	• 「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込みをされていますか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込み状況をご確認ください。☞P.191「国際ローミング(WORLD WING)の概要」
海外で本端末が使えない([ ]が表示されている場合)	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。☞P.191「国際ローミング(WORLD WING)の概要」 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。優先ネットワークタイプを[5G／4G／3G／GSM]に設定してください。[ネットワークを自動的に選択]をONに設定してください。☞P.192「優先ネットワークタイプ」、P.193「通信事業者の設定」 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。☞P.44「電源を入れる／切る」
海外でデータ通信ができない	• [データローミング]をONにしてください。☞P.192「データローミング」
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	• USB HUBや変換プラグを使用していませんか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。 ☞P.187「パソコンなどとの接続」 • USB接続の用途を正しく設定していますか。☞P.187「パソコンなどとの接続」
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを取り付け直してください。☞P.39「microSDカード」
画像が正しく表示されない	• 画像データが壊れている場合は黒色の画面が表示されるなどして、画像が正しく表示されません。

■ Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	• Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。☞P.184「Bluetooth機能の利用」
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。☞P.44「電源を入れる／切る」

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
SIM カードなし-通信サービスはありません	• nanoSIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.37「SIMについて」 • eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの設定については☞P.141「eSIMのSIM情報を設定する」
xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした	• 何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に表示されます。
空き容量わずか	• 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
応答が無いため接続が中断されました	• メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信し直してください。
サーバーエラー 送信できませんでした	
接続エラー 送信できませんでした	
送信先サーバーが対応しておりません	
通信エラー しばらくたってから送り直してください	
このコンテンツを再生する権限がありません	• 有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に表示されます。
試行回数が上限を超えました。指紋認証センサーを無効にしました。	• 指紋認証に5回失敗したあと、しばらくたってから指紋認証を行う操作をして合計20回失敗した場合に表示されます。指紋認証ではロックを解除できなくなりますので、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
しばらくお待ちください(音声サービス)	• 音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
しばらくお待ちください(データサービス)	• パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。
所定の回数以上間違えました。しばらくしてからもう一度お試しください。	• 指紋認証に5回失敗した場合に表示されます。状況に応じて、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
認識されませんでした	• 指紋の読み取りに失敗した場合に表示されます。
もう少し長く押してください	
モバイルネットワークが利用できません。	• 有効な優先ネットワークタイプに設定されているかご確認ください。☞P.192「優先ネットワークタイプ」
ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。	• 再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに表示されます。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデート※とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。
ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。
※本端末ではシステム アップデートと表示されます。

- Android OSバージョンアップ
  Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質等が向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- 新機能追加
  プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- 品質改善
  プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- セキュリティパッチの更新
  セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ ご利用条件

- アクセスポイント（APN）をdocomoに設定し、docomoをモバイルデータ通信の優先設定にした場合、本アップデートにおいて通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。

ソフトウェアアップデートを行う

■ 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
  本端末のステータスバーから通知を選択し、更新を開始します。
- 定期的に表示される画面から
  本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。
- 本体設定から
  ホーム画面で[⋯]▶[設定]▶[システム]▶[システム アップデート]と操作し、更新を開始します。
  ※アップデートが不要な場合、[お使いのシステムは最新の状態です]と表示されます。

■ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。
詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステム アップデートを進めてください。
  ※通信料金が発生すると表示される場合がありますが、アクセスポイント（APN）をdocomoに設定し、docomoをモバイルデータ通信の優先設定にした場合、本アップデートにおいて通信料金は発生しません。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。[今すぐ再起動]を選択すると、すぐに本端末が再起動します。[2:00以降に再起動]を選択すると、夜間に自動で再起動されます。
  ※再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内に[後で行う]をタッチしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

■ 注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデートには再起動が伴い、その間は電話の発着信を含めすべて機能をご利用いただけません。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、画面が動かなくなったり、再起動を繰り返すなどで、ホーム画面まで起動できない場合は、以前のソフトウェアに戻すことで、本端末を復旧できる場合があります。

《復旧操作手順》

① ▯（電源キー）＋▯(＋)を8秒程度押す
② バイブレータの動作開始後もそのまま押し続け、バイブレータ動作終了後すぐに電源キーから指を離す（電源が切れます）
③ ▯(＋)＋▯(－)＋▯（電源キー）を同時に長押し（この後バイブレータが2回動作します）
④ 2回目のバイブレータが動作（長押しから約5秒後）したら、バイブレータ動作中にキーから指を離す

※以前のソフトウェアで本端末が起動し、ホーム画面が表示されます。
※上記の操作を行っても復旧できない場合は、ご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。

- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - 必要な電池残量がないとき
  - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
  - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切ったりしないでください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- クイックスイッチアダプター、SIM取り出しツールは無料修理保証の対象外となります。
- クイックスイッチアダプター、SIM取り出しツールは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。
※お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

■ 無料修理規定

1. 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
   (1)改造(ソフトウェアの改造も含む)による故障、損傷。

(2)落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
(3)火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
(4)本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
(5)本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
(6)ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。

3. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
4. 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではございません。
5. お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
6. 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。
7. 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

＜販売元＞
株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。

■ 修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付いたします。
お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。
修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。
お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - ■ 火災・けが・故障の原因となります。
  - ■ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ■ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

主な仕様

■ 本体

品名			SH-52C
サイズ			高さ：約161mm、幅：約77mm、厚さ：約9.3mm
重量			約208g
ディスプレイ	サイズ		約6.6インチ
	種類		Pro IGZO OLED 有機EL
	解像度 （ピクセル数 横×縦）		WUXGA+（1260×2730）
内蔵メモリ			RAM：12G/バイト ROM：256G/バイト※1
バッテリー容量	バッテリー容量		5000mAh
	ワット時定格値		19Wh
連続待受時間（静止時） ※2※3※4	4G（LTE）		約460時間
連続通話時間 ※4※5	4G（LTE）	LTE（VoLTE）	約1910分
		LTE（VoLTE（HD+））	約1750分
充電時間※6			ACアダプタ 08：約100分

無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax準拠（IEEE802.11n/ax対応周波数帯：2.4GHz／5GHz）
	MIMO対応	○（2x2MIMO）
	MU-MIMO（クライアント）対応	○
	MIMO対応規格	IEEE802.11n/ax（2.4GHz） IEEE802.11n/ac/ax（5GHz）
	MU-MIMO（クライアント）対応規格	IEEE802.11ac/ax
Bluetooth※7	バージョン	5.2
	出力	Bluetooth標準規格 BR/EDR: Power Class1、LE: Power Class1.5
	対応プロファイル※8／コーデック	HSP（1.2）、HFP（1.8）※9、A2DP（1.3）※10、AVRCP（1.6）、HID（1.0）、OPP（1.2）、SPP（1.2）、PBAP（1.2）、PAN（PAN-NAP）（1.0）、PAN（PANU）（1.0）、HOGP（1.0）
イヤホンマイク端子	端子径	3.5mmイヤホンジャック
	極数	4極

カメラ	撮像素子	種類	標準カメラ：裏面照射型CMOS※11 インカメラ：裏面照射積層型CMOS※11
		サイズ	標準カメラ：1/1インチ インカメラ：1/3.0インチ
	有効画素数		標準カメラ：約4720万画素 インカメラ：約1260万画素
	記録ファイル形式※12	動画	MP4
		静止画	JPEG、RAW
	動画1件あたりの最大録画時間		制限なし※13
	ズーム（デジタル）	動画	アウトカメラ：最大約6.0倍 インカメラ：最大約8.0倍
		静止画	アウトカメラ：最大約6.0倍 インカメラ：最大約8.0倍
動画再生	対応コーデック		H.263、H.264、H.265、VP8、VP9、MPEG-4
音楽再生	対応コーデック		AAC LC、AAC+、enhanced AAC+、enhanced low delay AAC、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM/WAVE、Opus
マルチリンガル機能	表示言語		☞P.218「表示言語」
	入力言語		-
伝言メモ	保存可能件数		最大50件
	1件あたりの最大録音可能時間		最大60分

※1　メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」（☞P.148）をご参照ください。

※2　連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※3　連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※4　各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。

※5　連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※6　PPS（Programmable Power Supply）に対応しています。

※7　Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。

※8　Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

※9　音声コーデックmSBC（16kHz）、CVSD、aptX Voiceに対応しています。

※10　音声コーデックaptX、aptX HD、aptX Adaptive、SBC、AAC、LDACに対応しています。

※11　CMOS（complementary metal-oxide semiconductor：相補型金属酸化膜半導体）とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。

※12　「カメラ」利用時の仕様です（☞P.104「カメラについて」）。

※13 動画サイズがフルHDの場合の撮影時間です。動画撮影時間は保存先に設定したストレージの空き容量により異なります。

■ 表示言語

日本語、繁体中国語、広東語(簡体)、簡体中国語、広東語(繁体)、アフリカーンス語、アゲム語、アカン語、イナリ・サーミ語、アストゥリアス語、アゼルバイジャン語(ラテン文字)、バンバラ語、スンダ語、セブアノ語、ボスニア語(ラテン文字)、ブルトン語、バサ語、カタロニア語、チェコ語、マコンデ語、ショナ語、ウェールズ語、デンマーク語、北サーミ語、ドイツ語、ルオ語、低地ソルブ語、ドゥアラ語、ヨルバ語、エストニア語、グシイ語、英語、スペイン語、バスク語、エウェ語、エウォンド語、フィリピノ語、フェロー語、フランス語、フリジア語、フリウリ語、アイルランド語、マン島語、スコットランド・ゲール語、ガリシア語、キクユ語、ハウサ語、ベナ語、高地ソルブ語、クロアチア語、ハワイ語、ベンバ語、イボ語、ルンディ語、インドネシア語、インターリングア、サング語、北ンデベレ語、ズールー語、アイスランド語、イタリア語、ジャワ語、ジョラ＝フォニィ語、カーボベルデ・クレオール語、カコ語、グリーンランド語、カレンジン語、コーンウォール語、ナマ語、エンブ語、ロンボ語、カンバ語、マチャメ語、メル語、キニアルワンダ語、アス語、ルワ語、サンブル語、サンバー語、スワヒリ語、タイタ語、テソ語、ランギ語、ケルン語、コイラ・チーニ語、コイラボロ・センニ語、モーリシャス・クレオール語、ヴンジョ語、ラコタ語、ラトビア語、トンガ語、ルクセンブルク語、リトアニア語、リンガラ語、ガンダ語、ルヒヤ語、マサイ語、ハンガリー語、マクア・ミート語、マダガスカル語、マルタ語、マレー語、メタ語、ナイジェリア・ピジン語、ンゴンバ語、オランダ語、ノルウェー語(ブークモール)、ノルウェー語(ニーノシュク)、ヤンベン語、ウズベク語(ラテン文字)、ソガ語、オロモ語、ポーランド語、ポルトガル語、フラ語(ラテン文字)、パフィア語、ルーマニア語、チガ語、ロマンシュ語、ケチュア語、ニャンコレ語、サンゴ語、スイスドイツ語、セナ語、アルバニア語、ンジエムブーン語、スロバキア語、スロベニア語、ソマリ語、セルビア語(ラテン文字)、フィンランド語、スウェーデン語、中央アトラス・タマジクト語、カビル語、タサワク語、マオリ語、ヌエル語、ベトナム語、ルバ・カタンガ語、トルコ語、トルクメン語、ヴァリス語、ウォロフ語、ザルマ語、ギリシャ語、アゼルバイジャン語(キリル文字)、ベラルーシ語、ボスニア語(キリル文字)、ブルガリア語、オセット語、キルギス語、カザフ語、マケドニア語、モンゴル語、チェチェン語、ロシア語、サハ語、セルビア語(キリル文字)、タタール語、タジク語、ウズベク語(キリル文字)、ウクライナ語、ジョージア語、アルメニア語、ヘブライ語、ウイグル語、ウルドゥー語、ウズベク語(アラビア文字)、パシュトゥー語、パンジャブ語(アラビア文字)、シンド語(アラビア文字)、アラビア語、ペルシア語、マーザンダラーン語、標準モロッコ タマジクト語、アムハラ語、コンカニ語、ドーグリー語、ネパール語、ボド語、マラーティー語、マイティリー語、サンスクリット語、シンド語(デーバナーガリー文字)、ヒンディー語、アッサム語、ベンガル語、マニプリ語、パンジャブ語(グルムキー文字)、グジャラート語、オリヤー語、タミル語、テルグ語、カンナダ語、マラヤーラム語、シンハラ語、タイ語、ラオ語、チベット語、ゾンカ語、ミャンマー語、クメール語、サンターリー語、チェロキー語、フラ語(Adlm)、韓国語、四川イ語

■ クイックスイッチアダプター

サイズ	高さ:約32mm、幅:約15mm、厚さ:約7.2mm
重量	約4.6g

■ SIM取り出しツール

長さ	約28mm
重量	約0.8g

携帯電話機の電波防護への適合性について

この機種SH-52Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)を遵守するよう設計されています。この技術基準は、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)や米国電気電子学会(IEEE)電磁界安全に係る国際委員会(ICES)が定める電波防護許容値との整合性を考慮しつつ国が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate、6GHz以下の周波数の場合)および電力密度(PD: Power Density、6GHzを超える周波数の場合)で定めており、携帯電話機に対するSAR、PDの許容値はそれぞれ2 W/kg、2 mW/cm^{2}です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が1以下であれば、許容値を満足しています。

この携帯電話機の総合照射比は、側頭部における最大値:0.872(※2)、身体に装着した場合の最大値:0.515(※3)となっています(※4)。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SAR、PDはより小さい値となります。個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準に適合していることを確認しています。
世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones
携帯電話機の電波防護について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
ドコモのホームページ
https://www.docomo.ne.jp/product/sar/
シャープ株式会社のホームページ
http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/

※1　技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2　5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※3　5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※4　この携帯電話機の総合照射比を算出するために使用した値は、側頭部:SAR 1.744 W/kg、PD 0 mW/cm^2、身体装着時:SAR 0.305 W/kg、PD 0.726 mW/cm^{2}です。

Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Phones

This model SH-52C mobile phone complies with the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves (※1). These technical regulations are consistent with the limits of human exposure to radio waves established by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the International Committee on Electromagnetic Safety (ICES) in the IEEE. The permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations set out the limits of exposure to radio waves as the SAR (Specific Absorption Rate, for up to 6 GHz) and the PD (Power Density, for above 6 GHz), and the limits for the SAR and the PD for mobile phones are 2 W/kg and 2 mW/cm^2, respectively. If mobile phone supports simultaneous transmission of the frequency bands which should be evaluated in the SAR and PD, the technical regulations require that the Total Exposure Ratio (TER) should be used to indicate its compliance. The TER of less than or equal to 1 indicates the mobile phone satisfies the limits.

The TER for this mobile phone when tested for use near the head is 0.872 (※2), and that when worn on the body is 0.515 (※3) (※4). There may be slight differences of the SAR and PD values in individual product, but they all satisfy the limits. The actual values of SAR and PD of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations.

The World Health Organization has stated that “a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding protection against human exposure to radio waves.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.docomo.ne.jp/english/product/sar/
SHARP Corporation Website:
http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/ (in Japanese only)

※1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.

※2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.

※3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.

※4 The SAR and PD values used for obtaining TER for this mobile phone are: SAR of 1.744 W/kg and PD of 0 mW/cm^2 for use near the head, and SAR of 0.305 W/kg and PD of 0.726 mW/cm^2 when worn on the body.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.18 W/kg※ and when worn on the body is 1.23 W/kg※.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Regulatory information

In some countries/regions including Europe※, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.
Please check the local laws and regulations beforehand.

※Belgium [BE], Bulgaria [BG], Czech Republic [CZ], Denmark [DK], Germany [DE], Estonia [EE], Ireland [IE], Greece [EL], Spain [ES], France [FR], Croatia [HR], Italy [IT], Cyprus [CY], Latvia [LV], Lithuania [LT], Luxembourg [LU], Hungary [HU], Malta [MT], Netherlands [NL], Austria [AT], Poland [PL], Portugal [PT], Romania [RO], Slovenia [SI], Slovakia [SK], Finland [FI], Sweden [SE] and United Kingdom (Northern Ireland) [UK (NI)], Switzerland [CH], Liechtenstein [LI], Iceland [IS], Norway [NO].

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-52C is in compliance with Directive 2014/53/EU.
The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
https://jp.sharp/k-tai/

Manufacturer's Address:
SHARP CORPORATION,
1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

● Description of accessories

Headset, Handsfree	To receive FM broadcasting, connect the headset cable to the Φ3.5 audio jack

● Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD VIII	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 7	Tx 2502.5 to 2567.5 MHz Rx 2622.5 to 2687.5 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz
LTE Band 20	Tx 834.5 to 859.5 MHz Rx 793.5 to 818.5 MHz
LTE Band 38	Tx 2572.5 to 2617.5 MHz Rx 2572.5 to 2617.5 MHz

LTE Band 40	Tx 2302.5 to 2397.5 MHz Rx 2302.5 to 2397.5 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 2422 to 2462 MHz (BW: 40 MHz)
WLAN 5 GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW: 80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW: 80 MHz) W52/W53: Tx/Rx 5250 MHz (BW: 160 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW: 80 MHz) Tx/Rx 5570 MHz (BW: 160 MHz)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1 (1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1 (1561.098 MHz) GPS: Rx L5 (1176.450 MHz) Galileo: Rx E5a (1176.450 MHz)

● **Maximum transmit power**

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD VIII	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 7	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 20	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 38	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 40	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+11.0 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+15.0 dBm
WLAN 5 GHz	+15.0 dBm
NFC	0 dBμA/m at 10 m

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.35 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.61 W/kg.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid on FCC ID APYHRO00314.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0.

FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & the Regulatory labels under the Settings menu.

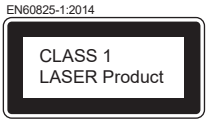
CAUTION

Use only optional parts specified by NTT DOCOMO.
May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than the specified one, or if the manufacturer, distributor or specification of the device is unclear.

Do not throw the handset into a fire or heat it.
May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Do not dispose of the handset in ordinary garbage.
May cause fires, burns, bodily injury, etc. It may also cause damage to the environment. Take the unnecessary handset to a sales outlet such as a docomo Shop or follow the instructions by a local institution that handles used handsets.

Laser (proximity sensor)
Do not stare into proximity sensor.
May temporarily affect eyesight, leading to accidents.




To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.
Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 35% and 85%.
Refer to the following for details on using it at a bathroom.
☞P.27“SH-52Cが有する防水／防塵性能でできること”

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes. Especially when you use it for young children, keep sufficient distance from them.

Do not use mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents, etc.

■ Bluetooth function

- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc.

Inquiries

General Inquiries <docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

0120-005-250 (toll free)

※Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish.

※Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 151 (toll free)

※Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

※Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 113 (toll free)

※Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

※Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or check the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website and contact.
- For online repair acceptance service, refer to DOCOMO website.
  NTT DOCOMO website:
  https://www.docomo.ne.jp/english/

Inquiries from overseas (In case of loss, theft, unconnected, etc.)

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

Display “+” on the screen	-81-3-6832-6600 (toll free)

(to enter “+”, touch and hold “0”.)

※You can call using international call access code instead of “+”.

From land-line phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6832-6600 (charges apply)

※You are charged a call fee to Japan.

※For international call access codes, refer to DOCOMO website.

- Please confirm the phone number before you dial.
- If you lose your handset or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the handset.
- If the handset you purchased is damaged, bring your handset to a repair service specified by DOCOMO after returning to Japan.

ahamo Subscribers

For Inquiries about Repair

ahamo website:

https://ahamo.com/ (in Japanese only)

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「WCDMA」、「FOMA」、「dメニュー」、「dマーケット」、「dアカウント」、「d払い」、「おサイフケータイ」、「my daiz」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「おまかせロック」、「エリアメール」、「イマドコサーチ」、「マチキャラ」、「spモード」、「Xi／クロッシィ」、「eトリセツ」、「dフォト」、「危険です、歩きスマホ。」、「はなして翻訳」、「マイマガジン」、「スグ電」、「オフィスリンク」、「スグアプ」、「ahamo」、「iD」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「ドコモ留守電」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴ、「はなして翻訳」ロゴ、「dカード」ロゴ、「d払い」ロゴ、「dフォト」ロゴ、「スマホマナーマーク」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
  文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- USB Type-C®はUSB Implementers Forumの登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。FeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Direct®、Miracast®、Wi-Fi Protected Access®（WPA）はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- WPA2™、WPA3™、Wi-Fi Enhanced Open™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。
  利用条件は利用規約（ディズニー）をご覧ください。
- FacebookおよびFacebookロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- ラジコ／radikoおよびradikoロゴは株式会社radikoの登録商標です。
- iPhone、iMessage、FaceTime、iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。™ and © 2022 Apple Inc. All rights reserved.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (https://www.openssl.org)
  この製品には OpenSSL Toolkit における使用のためにOpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
  この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ Mを搭載しています。
  「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
  Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
  aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- Qualcomm and Snapdragon are trademarks of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
  Snapdragon Elite Gaming™ is a trademark of Qualcomm Incorporated.



- Snapdragon Sound is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
  Snapdragon and Snapdragon Sound are trademarks or registered trademarks of Qualcomm Incorporated.
- LDACおよびLDACロゴはソニー株式会社の商標です。

LDAC

- 本製品の音声合成ソフトウェアにはHOYA株式会社のVoiceTextを使用しています。VoiceTextは、Voiceware社の登録商標です。

- 本製品で使用しているクラウド音声認識技術は、フェアリーデバイセズ株式会社のmimi® powered by NICTを使用しています。
- mimi®はフェアリーデバイセズ株式会社の登録商標です。
- Dolby®、ドルビー、Dolby Vision及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。
  ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  非公開機密著作物。著作権 2013-2022 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- Google、Google ロゴ、Android、Google Home、Google Home ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Chromebook、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、YouTube Music ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google 検索、Google 検索 ロゴ、Google Lens、Google Lens ロゴ、Google フォト™、Google フォト ロゴ、Google アシスタント、Google アシスタント ロゴ、Google TV、Google TV ロゴ、Google Pay、Google Pay ロゴ、Google One、Google One ロゴ、Google ニュース、Google ニュース ロゴ、Files ロゴ、Android Autoは、Google LLC の商標です。
- 「AQUOS／アクオス」、「AQUOS Home」、「AQUOSかんたんホーム」、「AQUOS beauty」、「AQUOSトリック」、「Bright Keep」、「あとからキャプチャー」、「インテリジェントフレーミング」、「AIライブシャッター」、「AIライブストーリー」、「ロボクル／ROBOQUL」、「エモパー／emopa」、「エモパーメモ」、「エモパーヘルスケア」、「エモパーク／emopark」、「バーチャルHDR」、「エスショイン／S-Shoin」、「クリップナウ／Clip Now」、「ロックフォトシャッフル」、「長エネスイッチ」、「リッチカラーテクノロジーモバイル／Rich color technology Mobile」、「リラックスビュー／RelaxView」、「なめらかハイスピード表示」、「はっきりビュー」、「アウトドアビュー」、「からだメイト」、「楽ともリンク」、「Payトリガー」、「インテリジェントチャージ」、「AQUOS」ロゴはシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
  - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
  - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  https://www.mpegla.comをご参照ください。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10（Home、Pro、Enterprise、Education）の略です。
  - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
  - Windows 11は、Microsoft® Windows® 11（Home、Pro、Enterprise、Education）の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で［□□］▶［設定］▶［デバイス情報］▶［法的情報］▶［サードパーティ ライセンス］をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License（MPL）に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/

索引

名前から探す

あ

アイコンの見かた 54
相手からの電話のかけかた 196
アウトドアビュー 152
明るさの自動調節 151
明るさのレベル 151
空き容量確認 87
アクセス ポイント名..... 141
新しいデバイスとペア設定 144
新しい連絡先のデフォルト アカウント 92
あとからキャプチャーで編集 115
あなたについて 129
アプリ
　設定 145
　マナーモード 151
アプリアイコン上の通知ドット 146
アプリ一覧 74
アプリ一覧画面 68
アプリ固定 162
アプリ情報 145
アプリ使用履歴 57
アプリでのカメラ読み取り精度を向上 178
アプリ内データ全件削除 127
アプリの一覧にアイコンを表示 172
アプリの権限を設定する 62
アプリの購入 118
アプリの設定 146
アプリの設定をリセット 177
アプリのデータ使用量 141
アプリへの位置情報の利用許可 169
アラーム
　スケジュールの設定 127
　時計 124
アラームとその他の割り込み 151
アラームの音量 149
暗号化と認証情報 162
安全確認 102
安全上のご注意(必ずお守りください) 7
イーサネット テザリング..... 143
イコライザー 149
位置情報 169
位置情報サービス 169
位置情報付加 112
印刷 144
インストール時に通知 157
インテリジェントチャージ 148
インテリジェントフレーミング 111
インポート 92
ウォレットを表示 153
英語ガイダンス 89
エクスポート 92
エッジコントロール 157
エモバー 128
エモバー選択 129
エモバー使い方ガイド 129
エモバーの記憶 129

エモパーの話題 129
エモパーへの話しかけ方 129
エモパーヘルスケア 129
エモパーメモ 129
遠隔操作設定 89
遠隔操作(有料) 197
応答 60
応答時間設定 87
応答メッセージ確認 87
オートHDR 111
オープンソースライセンス 170
お困りのときは 178
おサイフケータイ 119
「おサイフケータイ対応サービス」の利用 120
おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって 119
お支払い方法 102
おすすめアプリ 170
おすすめアプリ設定 67
おすすめアプリを利用 68
おすすめ機能 6
おすすめ機能の紹介 129
おすすめ使い方ヒント 170
おすすめのアプリを表示 73
音 149
お問い合わせ 194
音とバイブレーション 87
オフィスリンク設定 88
主な仕様 216
おやすみ時間 126
おやすみ時間モード 172
音声の調整 161
音声の録音 111

か

会員情報／プロフィール情報設定 170
海外でご利用になる前に 191
海外で利用可能なサービス 191
海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける 195
海外利用設定
　スケジュールの設定 127
　電話帳を設定 92
開始曜日 127
ガイド線 111
会話 146
顔認証 164
拡大 161
拡張通知 146
各部の名称と機能 34
画質とデータ量 111
風切り音低減 111
片手モード 174
稼働時間 178
壁紙 154
壁紙設定 67
壁紙に合わせた色設定 151
壁紙の設定 73
カメラスタンバイ 112
カメラについて 104
カメラの設定 111
カメラモード保持 112
カメラをご利用になる前に 104
カメラをすばやく起動 174
画面OFF時でも指紋センサーに触れるとロックを解除 ... 153

画面OFF時にタップして指紋センサーと時計を表示 153
画面キーボード 173
画面消灯(スリープ) 151
画面消灯中にセンサーに触れるとロックを解除 168
画面消灯中にタップで指紋センサーを表示 168
画面消灯中の充電表示 151
画面消灯中のみ充電 148
画面上のタップも記録する 52
画面の明るさを最小にする 147
画面の色温度 152
画面の自動回転 152
画面表示/アイコン 54
画面ロック 162
画面ロックの音 150
からだメイト 132
かんたんモード 155
帰国後の確認 198
規制ラベル 178
起動画面 127
機内モード 138
機能のショートカットの利用 73
機能利用中の操作 50
基本設定 151
基本操作 49
基本動作について 129
黄味の強さ 154
キャスト 189
キャッチホン 89
共有 92
緊急 SOS 169
緊急位置情報サービス 169
緊急時情報 169
緊急情報と緊急通報 169
緊急速報「エリアメール」 99
緊急速報「エリアメール」を受信する 99
緊急速報メール
　緊急情報と緊急通報 169
　通知 146
緊急通報 81
クイックスイッチアダプター 199
クイック設定の持続時間 151
クイック操作 159
クイック返信 87
クラウド設定 127
クラウドメニュー 92
グローブモード 152
携帯電話機の電波防護への適合性について 219
ゲーミングメニュー 157
ゲーム画質 157
ゲーム起動中の通知をブロック 157
ゲーム起動中の電話着信をブロック 157
結果画面閲覧 177
言語
　Chromeの設定 103
　言語と入力 173
健康度(health level) 147
言語 / 地域で一般的な形式を使用する 175
言語と入力 173
検索エンジン 102
検索設定 157
広角で起動する 112
公共モード(電源OFF)設定 89
公式アカウント 98
公式アカウント機能を利用する 98

公衆電話着信拒否 88
構図補正した静止画の表示 113
声でアクション 129
国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける 195
国際電話(WORLD CALL) 82
国際ローミング(WORLD WING)の概要 191
国際ローミングの設定 196
このデバイス 187
コンテンツ表示設定 151

さ

最大充電量を変更 148
サイトの設定 103
サイトの表示 100
サイレント モード 151
削除
　通話履歴の利用 85
　電話帳 92
撮影画面の明るさを上げる 112
撮影画面の見かた 106
サラウンドプラス 149
さらに輝度を下げる 161
ジェスチャー 174
時刻 175
システム 173
システム アップデート 173
システム操作 161
システム ナビゲーション
　クイック操作 159
　ジェスチャー 174
自動OFF 160
自動調整バッテリー 147
字幕の設定 161
指紋 162
指紋認証 165
写真 109
写真サイズ 111
写真や動画 98
シャッフル間隔の設定 155
週間天気表示設定 127
住所やその他の情報 102
充電
　ご使用前の準備 41
　パソコンなどとの接続 188
充電時に OFF にする 147
充電時の音とバイブレーション 150
充電中のみON 160
周辺のスポット 87
祝日データ更新 127
省エネファインダー 112
消音・拒否 60
使用されていないアプリ 145
証明書をインストール 140
ショートカットを作成 92
ショートムービーの再生 114
初期設定 45
白とび／黒つぶれ表示 111
人物 151
信頼エージェント 162
水準器表示 112
スグアプ 59
スグアプ設定 170

スグ電設定 60
スクリーンショットの撮影 52
スクリーンセーバー 152
スクリーン レコード 52
スクロールオート 155
スケジュール
　サイレント モード 151
　スケジュール 126
　リラックスビュー 154
スケジュールの設定 147
ステータスバーにサイレント通知を表示しない 146
ステータスバーへの通知 156
ステータスパネルの利用 56
ストップウォッチ 126
ストレージ 148
ストレージ構成 180
すばやく起動 112
すべて表示 144
スペルチェック 173
スレッドを削除する 98
スロービデオ 110
スロービデオ動画の再生 114
静止画の撮影 110
世界時計 125
セキュリティ 162
セキュリティ アップデート 162
接続済みのデバイス
　接続済みのデバイス 144
　パソコンなどとの接続 187
切断 60
設定項目を検索 178
設定メニュー 137
設定リセット 112
セルフタイマー表示 112
セルフチェック 178
選択した画像を確認 155
全データを消去(出荷時リセット) 177
前方注意 172
その他 98
ソフトウェアアップデート 210

た

ダークモード
　ディスプレイ 151
　ユーザー補助 161
対向機にかざす際の注意事項 121
滞在国外(日本含む)に電話をかける 194
滞在国内に電話をかける 195
滞在先で電話を受ける 196
対象アプリ設定 156
タイマー 125
タイミングの管理 161
タイムゾーン 175
タイムゾーンの設定に位置情報を使用 175
タイムゾーンを自動的に設定 175
タイムラプス 109
ダイヤルアシスト 197
ダイヤルパッドの操作音 150
ダウンロード 103
ダウンロードされた eSIM を消去 177
ダッシュボード 172
タッチ操作音 150

タッチパネルの操作 49
タップ操作時のバイブ 150
単語リスト 173
誕生日表示設定 127
端末情報送信 170
知的財産権について 229
着信音 149
着信音と通知の音量 149
着信音のミュート 174
着信音ミュート用のショートカット 149
着信音を設定 92
着信拒否の設定 88
着信時のバイブレーション 149
着信通知 89
注意事項 129
長エネスイッチ 147
ちらつき防止(縞模様を軽減) 112
追尾フォーカス 111
通信事業者の設定 193
通知
Chromeの設定 102
通知 146
＋メッセージの設定を変更する 98
通知時にスリープ状態から復帰 153
通知ドット
AQUOS Home 73
docomo LIVE UX 67
通知ドットに件数表示 73
通知のスヌーズを許可 146
通知の表示オプション 151
通知不可能着信拒否 88
通知履歴 146
通知を管理 172
通話アカウント 88
通話音声・伝言メモ 86
通話音声・伝言メモの設定 87
通話時のみデータ 141
通話設定／その他 87
通話中の操作 83
通話の音量 149
通話の設定 140
通話モード設定 141
通話履歴 84
通話履歴の利用 85
使い方ガイド
Clip Now 156
ゲーミングメニュー 157
使いこなしガイド 178
ディスプレイ 151
データ移行 135
データ使用量の警告と制限 142
データセーバー 138
データの同期 171
データ引継 176
データローミング 192
テーマ 102
テーマカラー・背景 98
テキストと表示 161
テキスト読み上げの設定
言語と入力 173
ユーザー補助 161
テザリング 143
テザリングオート 160
テザリングがONになる時 160

デバイス管理アプリ 162
デバイス コントロールを表示 153
デバイス情報 178
デバイスとアプリの通知 146
デバイスの Wi-Fi MAC アドレス 178
デバイス名 178
デバイスを探す 162
デフォルトのアプリ 145
デフォルトのアラーム音 150
デフォルトの居住国 197
デフォルトの通知音 150
手ブレ補正 111
電源キー長押しでアプリ起動 174
電源メニュー
　お困りのときは 178
　システム 173
電源を入れる／切る 44
伝言メモ設定 87
転送でんわサービス 89
転送でんわサービス(有料) 197
電池の健康度 148
電池の状態 178
電話帳 90
電話帳画像バックアップ 177
電話帳の確認／利用 91
電話帳の登録 90
電話帳を設定 92
電話について 79
電話番号 178
電話番号をコピー 85
電話を受ける 82
電話をかける 79
動画サイズ 111
動画の撮影 110
動画のフォーカス再生 115
同期を有効にする 102
統合 92
動作ブロック 157
登録外着信拒否 88
登録ゲーム設定 157
特別なアプリアクセス 145
時計 124
時計表示 ON 153
ドコモアプリ管理 170
ドコモアプリデータバックアップ 170
ドコモ位置情報 170
ドコモ初期設定 170
ドコモデータコピー 134
ドコモのサービス／クラウド 170
ドコモメール 93
トップページ 102
トラブルシューティング(FAQ) 201
取り扱い上のご注意 19

な

ナイト 109
長押しでアプリ起動 159
なめらかハイスピード表示 152
ニアバイシェア 144
日時を自動的に設定 175
ネットワークサービス
　国際ローミングの設定 196

通話設定／その他 89
ネットワークサービス(海外) 197
ネットワークとインターネット 138

は

バーチャルHDR 152
ハードウェアに関するフィードバック 173
バイブレーションと触覚フィードバックの強さ 161
ハイレゾ 109
場所の設定 160
パスワード 102
パスワードとアカウント 171
パソコンなどとの接続 187
はっきりビュー 152
バックアップ 173
バックアップファイルの整理 177
バックアップ・復元 135
発信 60
発信先 88
発信者番号通知 89
発信者番号の通知 87
発信前に電話番号を編集 85
発着信情報 ／ 迷惑電話 87
バッテリー 147
バッテリー残量 147
バッテリー使用量 147
パフォーマンス 157
バブル 146
番号指定拒否 92
番号通知お願いサービス 89
番号通知お願いサービス(有料) 197
番号を追加 88
ヒストグラム表示 111
非通知着信拒否 88
日付 175
日付と時刻
　海外で利用するための設定 193
　システム 175
ビデオ 109
表示オプション 87
表示サイズ 151
表示する連絡先 92
ビルド番号 178
ファイル操作 180
ファイル転送 / Android Auto 188
フォーカス モード 172
フォト 113
ふせるだけでサイレント モード 87
ブックマーク 103
プッシュ信号の入力 80
物理キーボード 173
プライバシー
　設定 168
　＋メッセージの設定を変更する 98
　ロック画面 153
プライバシーとセキュリティ 102
プライベート DNS 138
＋メッセージ 93
＋メッセージの設定を変更する 98
フラッシュ表示 112
フリガナ(名前) 92
プリント サービスによる印刷／保存 189

フレームレート 111
プロキシ設定 138
ブロックして迷惑電話として報告 85
ブロック中の電話番号 87
ヘルプ 67
ポインタの速度 173
防水／防塵性能 27
法的情報 178
ポートレート 109
ホームアプリの情報 70
ホーム画面以外では表示をキープ 159
ホーム画面では早めに暗くする 159
ホーム画面にアプリのアイコンを追加
AQUOS Home 73
docomo LIVE UX 67
ホーム画面の回転を許可 73
ホーム画面の管理
AQUOS Home 72
docomo LIVE UX 66
ホーム画面の設定 73
ホーム画面の見かた 65
ホーム切替 64
ホーム設定アイコン 67
ホームにエモパーを貼り付け 129
ホームの使い方 67
ホームフォトシャッフル 155
保証とアフターサービス 213
保存先設定 112
補聴器 161
保留 84
本端末で利用する暗証番号について 47
本端末のご利用について 5

ま

マイマガジン 69
マイマガジン起動設定 67
マチキャラ設定 67
マップ 123
マナーモード 150
マニュアル写真 109
マニュアルビデオ 110
マルチウィンドウ 58
マルチフォーカス表示 111
迷惑電話ストップサービス 89
メールの表示 99
メッセージ 98
メッセージを削除する 97
メッセージを送信する 95
メッセージを転送する 97
メッセージを読む 97
メディア 149
メディアの音量 149
メニューを表示 157
メモ 128
目次 2
文字入力 53
文字フォント設定 151
持っている間は表示をキープ 159
持つと画面点灯 159
モデル 178
モバイルデータ 140
モバイルデータ通信 140
モバイル ネットワーク 140

や

ユーザー情報 92
ユーザー補助 161
ユーザー補助機能 103
ユーザー補助機能のショートカット 161
優先ネットワークタイプ 192
輸出管理規制 229
よくあるご質問
　お困りのときは 178
　ゲーミングメニュー 157
よくある質問(FAQ) 129

ら

ライトモード 103
リセット オプション 177
リッチカラーテクノロジーモバイル 154
利用可能なパブリック ネットワークを通知する 140
利用時間 145
利用状況レポート設定 92
リラックスビュー 153
履歴 103
留守番電話 87
留守番電話サービス 89
留守番電話サービス(有料) 197
レリーズ優先 111
ローミングガイダンス 196
ローミングガイダンス(有料) 197
ローミング時スグ電無効 60
ローミング時着信規制 196
ローミング着信通知 196
ローミング着信通知(有料) 197
録音 52
ロック画面 153
ロック画面上の通知 146
ロック画面にテキストを追加 153
ロック画面の通知を整理
　通知 146
　ロック画面 153
ロックフォトシャッフル 155
ロック・ホームフォトシャッフル 155
ロボクル設定 160
ロボクルの詳しい情報はこちら 160
ロボクルの動作 160

わ

ワイヤレスチャージャーで充電 43

英数字

ACアダプタで充電 42
AIoT機器との連携 129
AIライブシャッター 112
AIライブストーリー 112
Android Auto 144
Android バージョン 178
AQUOS Home
　AQUOSトリック 154
　ホーム画面 71
AQUOS Homeの見かた 71

AQUOSトリック 154
Bluetoothアドレス 178
Bluetooth機能 182
Bluetooth機能の利用 184
Bluetoothコーデック設定 144
Bluetooth通信送受信 185
Bluetooth テザリング 143
Bluetooth で受信したファイル 144
Bright Keep 159
Chrome 100
Chromebook 144
Chrome について 103
Chromeの設定 102
Clip Now 156
COCORO ID 129
DCアダプタで充電 43
Digital Wellbeing と保護者による使用制限 172
docomo LIVE UX 64
dアカウント設定
　電話帳を設定 92
　ドコモのサービス／クラウド 170
dアカウントの設定を行う 47
dマーケット 117
dメニュー 117
Elite Gaming 157
eSIM 38
eSIMのSIM情報を設定する 141
Gboard 53
Gmail 99
Google 172
Google Play システム アップデート 162
Google Play プロテクト 162
Google アプリの表示 73
Google検索の表示 73
Googleなどのアカウントの設定を行う 46
Google のサービス 102
GPS機能の利用 122
GPS／ナビ 122
GSM 193
HDR動画 151
iDアプリ 121
IMEI 178
IP アドレス 178
microSDカード 39
microSDカード／USBメモリのフォーマット 149
MIDI 188
MMS メッセージ 141
my daiz NOW 70
my daiz NOW表示設定 67
nanoSIMカード 37
NFC／おサイフケータイ 144
NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF 121
NFC通信 186
ON／OFF設定 156
Payトリガー 168
PINコードを設定する 48
PINコードを変更する 48
PINロックの解除 48
Play ストア 117
PTP 188
QRコード・バーコード認識 111
radiko+FM 122
RAW保存（マニュアル写真） 111
SIM ステータス 178

SIM取り出しツール 201
SIMについて 37
SIM の削除の確認 162
SIM を消去 141
Smart Lock 162
SMS の設定 140
S-Shoin 155
USB 144
USBケーブルで充電 44
USB テザリング 143
USBデバッグ切替 170
USBホスト機能 189
vHDRビデオ 110
VPNの接続 190
VPNの切断 190
VPNの追加 190
Wi-Fi 138
Wi-Fi Direct 140
Wi-Fi MAC アドレス 178
Wi-Fiテザリング 143
Wi-Fiテザリングの詳細設定 160
Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット 177
Wi-Fi を自動的に ON にする 140
WORLD CALL 82
WORLD WING 191
2回押しでカメラの起動 159
2本指でもスクロールオート 156
2本指認証 167
3G／GSM 193
4G／3G／GSM 193
5G／4G／3G／GSM 193
8Kビデオ 109
24時間表示 175

目的から探す

基本操作

電源を入れる 44
画面ロックを解除する 44
マナーモードにする 150
ホーム画面の見かた 65
ホーム画面にショートカットやウィジェットを追加する ...66
文字を入力する 53
nanoSIMカードを取り付ける／取り外す 37
microSDカードを取り付ける／取り外す 39
電池の消耗を抑える 147

電話

電話をかける 79
電話を受ける 82
相手の音声を大きくする 84
電話帳に登録する 90
電話帳に登録した相手に電話をかける 91
電話の履歴を確認する 84
留守番電話(伝言メモ)を設定する／聞く 86
着信音、通知音の種類や音量を設定する 149
着信を拒否する 88

メール

SMS(+メッセージ)を使う 93
Gmailを使う 99
ドコモメールを使う 93
緊急速報エリアメールを使う 99

インターネット

ホームページを見る 100
ブックマーク(お気に入り)を登録する 103

Wi-Fi

自宅や公共のWi-Fiに接続する 138
Wi-Fiのみで利用する(モバイル ネットワークのデータ通信を利用しない) 140

カメラ

写真を撮影する 110
動画を撮影する 110
撮影した写真／動画を見る 113
撮影した写真／動画の保存先を設定する 112
バーコード(QRコード)を読み取る 110

便利な機能

便利な機能が知りたい 154
Googleマップで目的地までの道のりを調べる 123
スケジュールを登録／確認する 126
おサイフケータイで買い物をする 119
おサイフケータイをロックする 121
歩数計を使う 132
エモバーを使う 128

スクリーンショットを撮影する 52
画面が暗くなるまでの時間を変更する 151
目覚まし(アラーム)をセットする 124
本体やmicroSDカードのデータを確認する 148
テザリングを設定する 143
ディスプレイの照明を明るくする 151

バックアップ

連絡先やメールのバックアップをする 134
データを引き継ぐ 176

故障

故障かな？と思ったら 201
お問い合わせ先 H4
端末を初期化する 177

その他

スペックを確認する 216
アプリをアンインストールする 66
USBケーブルを利用してパソコンからデータを送る..... 187

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ **劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合**

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ **レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■ **街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

プライバシーに配慮しましょう

■ **カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。**

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ **スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。**

■ **スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。**

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

- **マナーモード(☞P.150「マナーモード」)**
  本端末から鳴る音を消します。
  ※ただし、カメラのシャッター音は消せません。
- **公共モード(電源OFF)(☞P.89「ネットワークサービス」)**
  電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。
- **バイブ(☞P.149「音」)**
  電話がかかってきたことを、振動で知らせます。
- **伝言メモ(☞P.86「通話音声・伝言メモ」)**
  電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス(☞P.89「ネットワークサービス」)、転送でんわサービス(☞P.89「ネットワークサービス」)などのオプションサービスが利用できます。



ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象:携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ(自社・他社製品を問わず回収)

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から　　dメニュー▶My docomo
パソコンから　　My docomo（https://www.docomo.ne.jp/mydocomo/）

●システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
●「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合

「＋」を画面表示　**-81-3-6832-6600（無料）**

（「＋」は「0」をロングタッチします。）
※「＋」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号　**-81-3-6832-6600（有料）**

※日本向け通話料がかかります。
※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱拠点へご持参ください。

総合お問い合わせ先
<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの)151(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00　(年中無休)

故障お問い合わせ･修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの)113(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
●オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。
ドコモのホームページ　https://www.docomo.ne.jp/

ahamoプランをご契約のお客様

■故障等のお問い合わせ

ahamoのホームページ　https://ahamo.com/

試供品のお問い合わせ先

シャープ　データ通信サポートセンター

TEL 050-5846-5411

受付時間　平日　10:00～17:00
(土･日･祝日および所定の休日を除く)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●試供品については、本書内でご確認ください。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　シャープ株式会社

危険です、歩きスマホ。

キケン！水ぬれ充電

あぶない！電池への衝撃

Li-ion00

'22.7(1版)
22G RK251①